

MultImpact750/560 N1153-025

ラインプリンタ

ユーザーズマニュアル



このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示

プリンタを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。このユーザーズマニュアルには製品のどこが危険か、どのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。

また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

 警告	<u>人が死亡する、または重傷</u> を負うおそれがあることを示します。
 注意	<u>火傷やけがのおそれ、および物的損害</u> の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起 注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	<u>毒性の物質による被害</u> のおそれがあることを示します。		<u>火傷</u> を負うおそれがあることを示します。		<u>けが</u> をするおそれがあることを示します。
	<u>指などがはさまれる</u> おそれがあることを示します。		<u>発煙または発火</u> のおそれがあることを示します。		<u>感電</u> のおそれがあることを示します。
	特定しない一般的な <u>注意・警告</u> を示します。				

行為の禁止 行為の禁止は「⊘」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンタを分解・修理・改造しないでください。 <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。 <u>感電</u> のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。 <u>感電</u> や <u>火傷</u> などの <u>傷害</u> のおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。 <u>感電</u> や <u>発火</u> のおそれがあります。		特定しない一般的な行為の禁止を示します。		

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。



プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災のおそれがあります。

本文中で使用する記号の意味

このユーザズマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記 号	内 容
 重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンタが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
 チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンタが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、MultilImpactは、日本電気株式会社の登録商標です。

PrinterSignalStationはNECソリューションイノベータ株式会社の登録商標です。

IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
4. プリンタの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウェアによってはサポートされない場合があります。
5. 運用した結果の影響については3項および4項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびはNECのプリンタをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

MultilImpact 750/560・N1153-025は最高700行／分（高速モード時）の高速印刷を実現し、最大8枚綴りの複写伝票に印刷可能（濃度3選択時）なプリンタです。

本書の概要

安全にお使いいただくために

プリンタを安全にお使いいただくためにあらかじめ知っておいていただきたい注意事項について説明しています。

1章 プリンタの設置

プリンタを設置し、プリンタケーブルでコンピュータとつなぐまでの手順を説明しています。また、用紙のセット方法、インクリボンのセット方法についても説明しています。

2章 プリンタを使いこなそう

操作パネル上のスイッチやランプの機能について説明しています。また操作パネルを使ってプリンタが持っている様々な便利機能を使用環境に応じて変更する方法について説明しています。

3章 オプション

プリンタの機能をさらに活用していただくため、豊富に用意されたオプション品について説明しています。

4章 日常の保守

プリンタをいつも良好に使用していただくためのお手入れの仕方について記載しています。また、交換用インクリボン（黒）およびリボンサブカセットの交換方法やプリンタを運搬するときの準備についても記載しています。

5章 故障かな？と思ったら

プリンタが思うように動作しなかったり、印刷の状態が悪くなかったりしたときは、この章をお読みください。

付録

プリンタの仕様、用紙の規格、用紙の設計に関する注意事項、印刷範囲、初期状態に関する情報を記載しています。

MultilImpact 750/560・N1153-025の特長

MultilImpact 750/560・N1153-025の主な特長を簡単に説明します。

- **高速印刷^{*1} — 最高700行／分の高速印刷を実現 —**

漢字／英数カナモードで標準印刷で毎分560行（610行）、高品位印刷で毎分410行（440行）、高速印刷で毎分670行（700行）の印刷が可能です。

- **高複写力^{*2} — 最大8枚綴りの複写伝票に印刷可能 —**

普通紙の連続紙（帳票用紙）のほかに、タック紙、複写式の用紙が印刷可能です。印刷濃度を3種類設定でき、最大8枚綴り（オリジナル＋7枚）の複写伝票に印刷が可能です。

- **アウトラインフォント印刷**

明朝体、ゴシック体の拡大文字を輪郭のなめらかな美しいアウトラインフォントで印刷が可能です。

- **多彩なフォント内蔵**

英数カナ文字（1バイト系文字）は標準フォントのほかにイタリック、クーリエ、ゴシック、およびOCR-B相当を内蔵しています。

- **バーコードが印刷可能**

NW-7、JAN、CODE 39、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、郵便カスタムバーコードを印刷できます。

- **節電機能**

電源ONにしたまま約5分間印刷を行わないと自動的に節電機能が働き、消費電力を抑えることができます。

- **各種ネットワークOSに対応**

MultilImpact 750/560は標準で100BASE-TX、10BASE-Tに対応。
N1153-025はオプションで100BASE-TX、10BASE-Tに対応。

- **リモートパネル^{*3}**

プリンタの各種設定をコンピューターの画面上で行うことができます。
リモートパネルによるプリンタの設定機能は、ネットワーク上のプリンタであっても区別なく使用できます。リモートパネルの詳細は、プリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているソフトウェアマニュアルおよびオンラインマニュアルを参照してください。

- **PrinterSignalStation^{*3}**

プリンタの状態（用紙なし、エラーなど）や印刷の進行状況を確認することができます。
PrinterSignalStationの詳細は、プリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているソフトウェアマニュアルおよびオンラインマニュアルを参照してください。

*1 「付 録」（87 ページ）参照、（ ） 内は 1 枚綴り用紙の場合

*2 「用紙規格」（96 ページ）参照

*3 MultilImpact 750/560 のみサポート。

目 次

安全にかかわる表示.....	ii
はじめに.....	v
本書の概要.....	v
Multimarket 750/560・N1153-025の特長.....	vi

安全にお使いいただくために 1

警告ラベルについて.....	1
安全上のご注意.....	3
正しく動作させるために.....	7

ユーザーサポートについて 9

1章 プリンタの設置 13

1 付属品を確認する.....	14
2 設置に必要なスペースを用意する.....	16
設置してはいけない場所.....	17
3 ペーパースタック部の設定をする.....	18
4 吸気用フィルタの取り付けとプリンタの設置.....	19
5 各部の名称を確認する.....	20
6 インクリボン（黒）・リボンカートリッジを 取り付ける.....	23
7 電源コードを接続する.....	26
8 用紙をセットする.....	28
用紙について.....	28
用紙のセット方法.....	29
印刷に関する注意.....	32
9 テスト印刷を行う.....	33
10 コンピュータに接続する.....	34
11 ネットワークに接続する.....	36
LAN ケーブルの取り付け.....	36
コンフィグレーション印刷による動作確認.....	38
12 ソフトウェアをインストールする.....	38
プリンタの廃棄とインクリボンの処理について.....	39
プリンタを廃棄する.....	39
インクリボンの処理について.....	39
プリンタを運搬するときは.....	40

2章 プリンタを使いこなそう 41

操作パネル.....	41
ランプ.....	42
スイッチ.....	43
液晶ディスプレイ.....	44
知っている便利な機能.....	45
テスト印刷.....	45
受信データのHEX ダンプ.....	46
強制リセット.....	46
プリンタの設定を変更する.....	47
Multimarket 750/560のメニューモード機能.....	47
メニューモードでパラメータを表示・ 変更する.....	47
各機能項目の説明.....	49
N1153-025のメニューモード機能.....	50
N1153-001 互換モードでパラメータを表示・ 変更する.....	50
各機能項目の説明.....	52
N5263-71A/N7860-03A 互換モードで パラメータを変更する.....	53

各機能項目の説明.....	55
N1153-025 の内部設定を変更する.....	56
メモリスイッチ設定モード.....	57
メモリスイッチの変更方法.....	59
メモリスイッチの機能.....	59
設定内容をリセットする.....	61
設定内容を印刷する.....	62
Multimarket 750/560.....	62
N1153-025.....	62

3章 オプション 63

オプション・消耗品の紹介.....	63
Multimarket 750/560 用.....	63
オプション.....	63
消耗品.....	64
N1153-025 用.....	65
オプション.....	65
消耗品.....	65
ネットワークプリンタ接続ボードの取り付け.....	66
取り付け.....	66
コンフィグレーション印刷による動作確認.....	68
イメージ処理機構の取り付け.....	69

4章 日常の保守 71

清掃.....	71
交換用インクリボン（黒）・リボンサブカセットの 交換.....	73
リボンセパレータの点検.....	78

5章 故障かな？と思ったら 79

印刷がおかしいときは.....	79
リボン交換表示.....	80
エラー表示.....	81
有寿命部品表示.....	81
上位装置からのエラーメッセージ.....	82
紙づまりのときは.....	83
インクリボンづまりのときは.....	85

付 録 87

仕様.....	87
Multimarket 750/560.....	87
N1153-025.....	90
文字構造（基本ドット構成）.....	94
用紙規格.....	96
用紙設計に関する注意事項.....	97
連続紙に関する注意.....	97
タック紙（ラベルシール）に関する注意.....	100
封筒用紙の規格.....	103
印刷範囲.....	105
初期状態.....	106

索引.....	107
---------	-----



安全にお使い いただくために

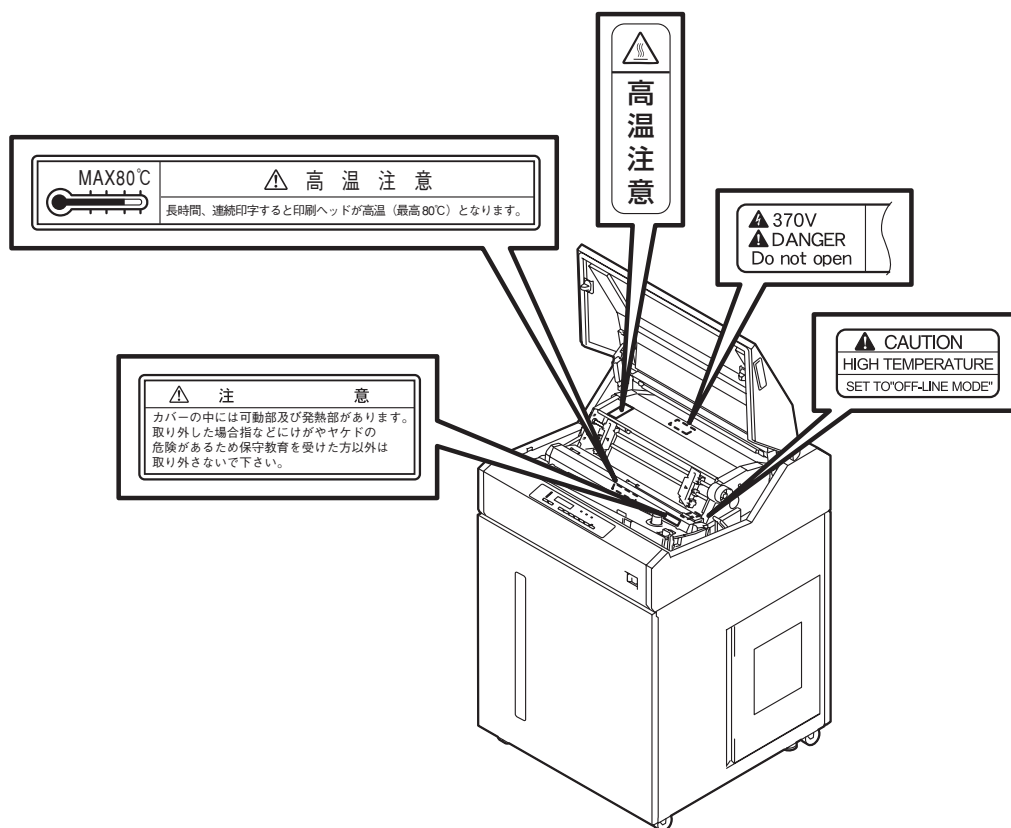
ここでは、ラインプリンタMultiImpact 750/560・N1153-025を安全にお使いいただくために必要な情報を記載しています。お使いになる前にお読みになり、この内容を理解した上でお使いください。

警告ラベルについて

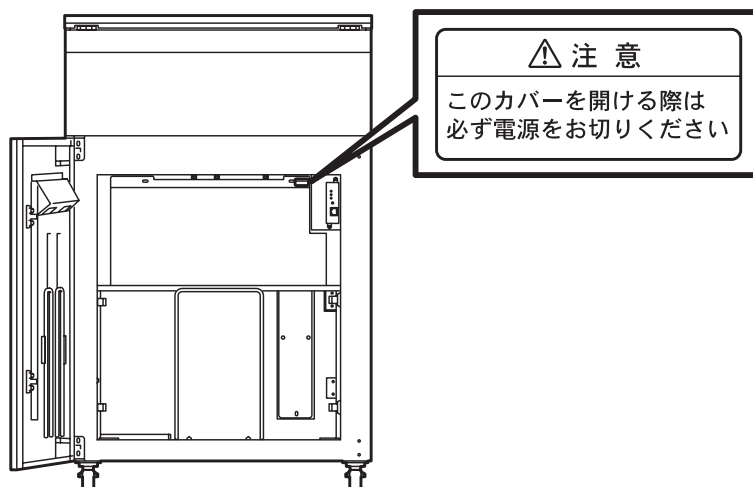
ラインプリンタMultiImpact 750/560・N1153-025を安全にお使いいただくために、プリンタ内の危険性を秘める部品および周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンタを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できない場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口までご連絡ください。

これらの警告内容については、次の項目「安全上のご注意」で説明しますが、本書内の該当する操作手順中でも随時説明しています。



プリンタ前面



プリンタ背面

警告ラベルの位置

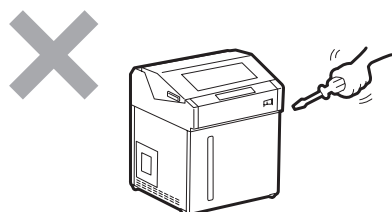
安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンタを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンタをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示について」を参照してください。

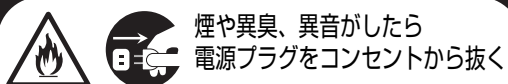
警告



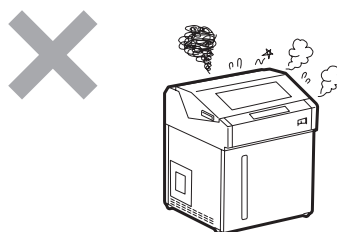
分解・修理・改造は
しない



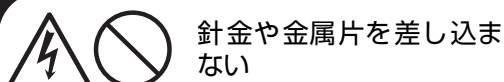
マニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンタが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。



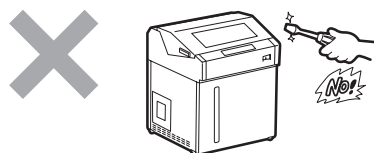
煙や異臭、異音がしたら
電源プラグをコンセントから抜く



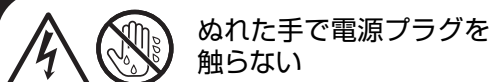
万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFF（○側）にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。



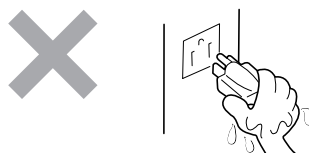
針金や金属片を差し込ま
ない



通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。



ぬれた手で電源プラグを
触らない

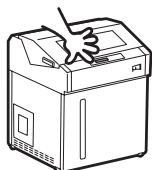


ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

⚠ 注意



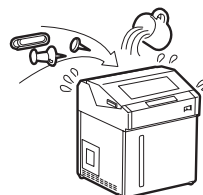
壊れた液晶ディスプレイ
には触らない



壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して医師に相談してください。



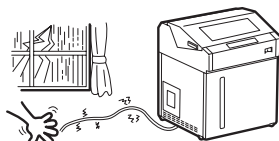
プリンタ内に
異物を入れない



プリンタ内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源スイッチをOFF（「○」側）にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。（もし取り除けない場合は、分解したりしないで買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口ご連絡してください。）



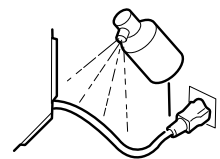
雷が鳴りだしたら
プリンタに触らない



火災・感電の原因となります。雷が発生しそうときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また、雷が鳴りだしたらケーブル類も含めてプリンタには触らないでください。



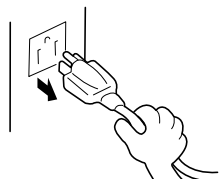
電源コードに薬品類
をかけない



電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。



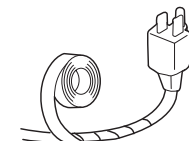
電源コードを抜くときは
電源コードを引っ張らない



電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。



損傷した電源コードは
使わない

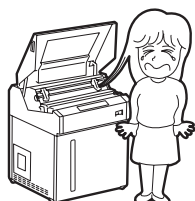


電源コードが破損した場合はビニールテープなどで補修して使用しないでください。ビニールテープなどで補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードと取り替えてください。

⚠ 注意



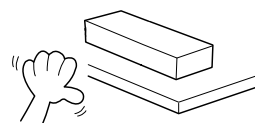
巻き込み注意



プリンタの動作中は用紙挿入口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。



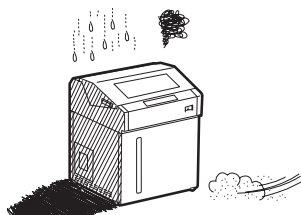
目や口にインクを入れない



インクリボンのインクを目や口に入れないでください。インクが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。特にお子様の手の届かないところに保管し、お子様が触れないようにしてください。



直射日光の当たるところには置かない



プリンタを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンタが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。



腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない

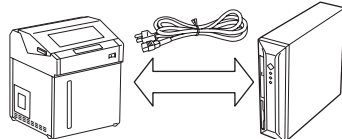


- 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置しないでください。
- 装置内部のプリント基板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口に相談してください。



専用電源コードを転用しない



添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。また、電源は指定された電圧、電流のコンセントをお使いください。



不安定な場所に置かない



プリンタを不安定な場所には置かないでください。プリンタが破損するおそれがあるばかりでなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

⚠ 注意



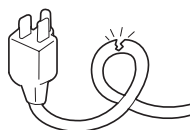
電源コードを
たこ足配線にしない



コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。



電源コードは曲げたりねじったりしない



電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステーブルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。



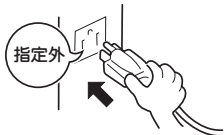
専用電源コード以外は使わない



プリンタに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。



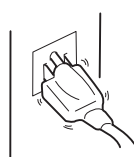
100V以外のコンセントに
差し込まない



電源は指定された電圧、電流のコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。



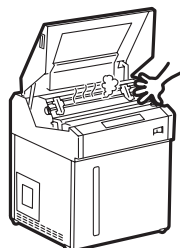
電源プラグを中途半端に
差し込まない



電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまつたまま、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となることがあります。



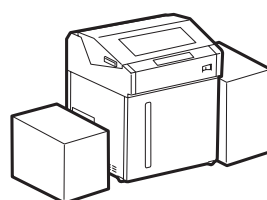
連続印刷後はプリンタ
内部に触れない



長時間印刷した後は、印刷ハンマが高温になっていますので、印刷ハンマおよびリボンセパレータなどプリンタ内部には手を触れないでください。



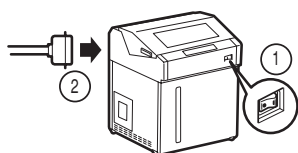
通気孔をふさがない



プリンタの左側面には通気孔があります。プリンタを壁につけたり物を置いたりして、通気孔をふさがないようにしてください。内部の温度が上がり、プリンタが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

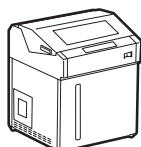
正しく動作させるために

プリンタを正しく動作させるために、次に示す注意事項を守ってください。

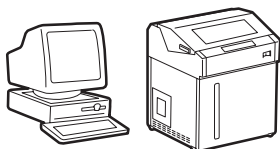


プリンタケーブルやオプションの取り付け、取り外しを行う前に電源スイッチをOFF（「○」側）にしてください。電源が入ったまま行くと誤動作するようになったり、故障したりすることがあります。

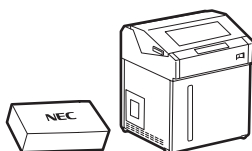
Check!



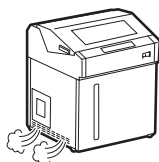
用意したプリンタケーブルがお客様のコンピュータに合っていることを確認してください。（プリンタケーブルについては、67ページを参照してください。）



ご使用になる各OS環境に合った方法でコンピュータ側からプリンタを指定してください。（各OS別の指定方法についてはソフトウェアマニュアルを参照してください。）



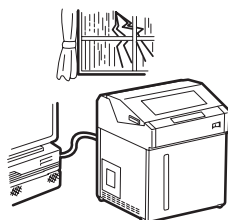
インクリボンやオプションは専用のものをお使いください。専用以外のものは、たとえ取り付けることができても正常に動作しないばかりか、プリンタ本体が故障することがあります。（詳しくは、「3章 オプション」（63ページ）をお読みください。）



プリンタの周りに物を置いてプリンタの通気孔をふさがないでください。また通気孔の横に物を置かないでください。プリンタ内の温度が異常に高くなり、正しく動作しなくなることがあります。



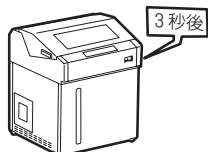
定期的にプリンタを清掃してください。（清掃の内容は「4章 日常の保守」（71ページ）で説明しています。）定期的な清掃は印刷品位を保つだけでなく、さまざまな故障の発生を未然に防ぐ効果もあります。



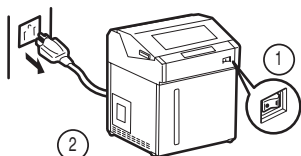
落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として交流無停電電源装置等を使用することをお勧めします。



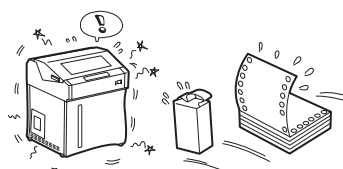
清掃するときにシンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤は使わないでください。材質のいたみや変色の原因になります。



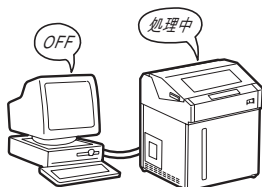
接続したプリンタの電源スイッチを一度OFF（「○」側）にしてから再びON（「|」側）にする場合は、3秒以上たってからにしてください。



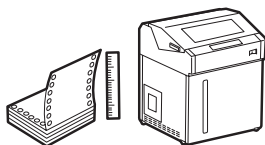
電源コードの抜き差しは、必ずプリンタの電源スイッチをOFF（「○」側）にしてから、プラグ部分を持って行ってください。



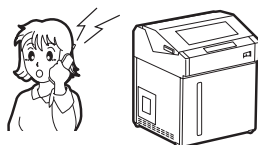
印刷ハンマやプラテンを傷つけないよう、必ず用紙とインクリボンをセットした状態で印刷してください。



プリンタに未処理データが残っている状態で上位装置の電源をOFF（「○」側）にすると、未処理データがクリアされますので注意してください。



印刷する用紙が規格に合っていることを確認してください。（用紙の種類については1章の「**8** 用紙をセットする」（28ページ）に、規格については付録の「用紙規格」（96ページ）で説明しています。）良質な用紙を使うことは印刷品位を高めるだけでなく、紙づまりなどの発生を抑える効果もあります。



携帯電話および、PHSをプリンタの近くで使用しないでください。プリンタが誤動作するおそれがあります。



ユーザーサポート について

お買い求めになられたMultImpact 750/560およびN1153-025のそれぞれの製品に提供されるサポートの内容について説明します。

保証について

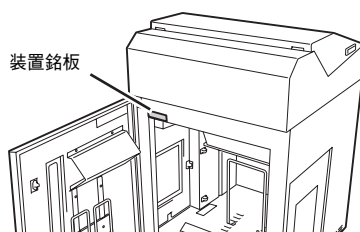
プリンタには「保証書」が付いています。「保証書」はプリンタをお買い求めの販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理いたします。詳細については「保証書」をご覧ください。

保証期間後の保守サービスについては、プリンタをお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口へお問い合わせください。



チェック

本体の背面に製品の型式、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名が明記された装置銘板が貼ってあります（右図参照）。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また装置銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一プリンタが保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



修理を依頼される前に

「故障かな？」と思ったら、修理を依頼される前に以下の手順を実行してください。

- ① 電源コードおよびプリンタケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。
- ② 定期的な清掃を行っていたか、またインクリボンなどの消耗品の交換は確実に行われていたかを確認してください。
- ③ 「5章 故障かな？と思ったら」（79ページ）をご覧ください。該当する症状があれば、記載されている処置を行ってください。

以上の処置を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご連絡ください。その際に液晶ディスプレイのアラーム表示もお知らせください。故障時の液晶ディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。

なお保証期間中の修理は、「保証書」を添えてお申し出ください。出張修理対象品ですので、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご連絡くだされば修理に伺います。

重要

海外でのご使用について

本プリンタは日本国内仕様のため、海外でのご使用になる場合はNECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

プリンタの寿命について

本プリンタの製品寿命は使用年数5年またはソウチカウンタで約40,320カウントのいずれかに到達したときです。

有寿命部品について

プリンタの機能・性能を維持するために、交換^{*1}を必要とする部品があり、これを「有寿命部品（有償）」と呼びます。有寿命部品（有償）の推奨交換周期（交換の目安）^{*2}は、印刷行数（ラインカウント数）によって設定されています。本製品の有寿命部品（有償）と、その推奨交換周期（交換の目安）は次のとおりです。

部品名	推奨交換周期（交換の目安） ラインカウント数	液晶ディスプレイの表示 【部品番号】 【部品名】
トラクタL	14,000	0 1 トラクタL
トラクタR	14,000	0 2 トラクタR
ハンマキコウブ	21,000	0 3 ハンマキコウブ
ハンマケーブル	14,000	0 4 ハンマケーブル
リボンセパレータ	7,000	0 5 リボンセパレータ
フリクションプレート	14,000	0 6 フリクションプレート
プラテン	21,000	0 7 プラテン
タイミングベルト	28,000	0 8 タイミングベルト

補修用部品について

プリンタの補修用部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。

情報サービスについて

またNEC製品に関する最新情報を、下記で提供しています。

インターネットの Web ページ	NECコーポレートサイト（ http://jpn.nec.com/ ）
---------------------	---

* 1 有寿命部品（有償）の交換は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にて依頼してください。

* 2 各寿命部品（有償）の推奨交換周期（交換の目安）は、15×11 インチ用紙（坪量64g/m²の1枚綴りの連続紙）を使用し、1行にANK文字136桁、22℃、55%の温湿度環境で連続印刷した場合の印刷行数（ラインカウント数）です。実際の印刷可能行数（ラインカウント数）は、用紙サイズ、用紙種類、使用環境など使用条件により変動し、推奨交換周期（交換の目安）と大きく異なることがあります。



1章 プリンタの設置

この章では、プリンタを設置し、印刷の準備が整うまでの手順について説明しています。

- ① 付属品を確認する
↓
- ② 設置に必要なスペースを用意する
↓
- ③ ペーバスタッカ部の設定をする
↓
- ④ 吸気用フィルタの取り付けとプリンタの設置
↓
- ⑤ 各部の名称を確認する
↓
- ⑥ インクリボン（黒）・リボンカートリッジを取り付ける
↓
- ⑦ 電源コードを接続する
↓
- ⑧ 用紙をセットする
↓
- ⑨ テスト印刷を行う
↓
- ⑩ コンピュータに接続する
↓
- ⑪ ネットワークに接続する
↓
- ⑫ ソフトウェアをインストールする

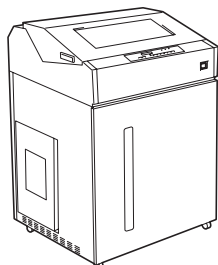
この章の終りにはプリンタを運搬するとき、またプリンタを廃棄するときの注意事項が記載されています。

サービス担当者による各種セットアップには、別途設置料金が必要です。

1 付属品を確認する

プリンタ本体と付属品は以下のとおりです。すべてそろっていることを確認してください。万一足りないものがあったり損傷が見つかったりした場合には、販売店にご連絡ください。

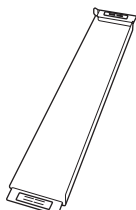
☐ MultImpact 750/560
ラインプリンタ本体



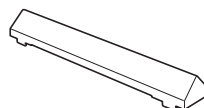
☐ スタックフェンス



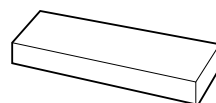
☐ 吸気用フィルタ



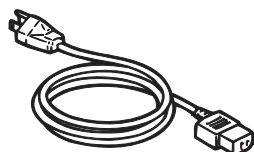
☐ カールコレクタ



☐ インクリボン（黒）
（PR750/360-01相当品）



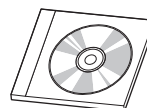
☐ 電源コード



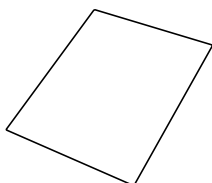
☐ ユーザーズマニュアル
（本書）



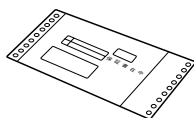
☐ プリンタソフトウェア
CD-ROM



☐ ソフトウェアの
ご使用条件



☐ 保証書

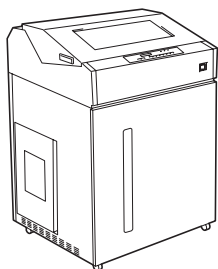


お使いになる前に、次のことを忘れずに行ってください。

- 保証書は大切に保管してください。
- 包装材はプリンタを運搬するときに必要となりますので、保存しておいてください。
- プリンタケーブル（インタフェースケーブル）は付属しておりません。本書の「3章 オプション」（63ページ）を参照して適切なプリンタケーブルを別途お買い求めください。

MultImpact 750/560の付属品

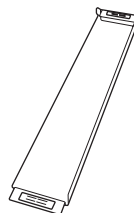
- ☐ N1153-025
ラインプリンタ本体



- ☐ スタックフェンス



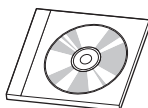
- ☐ 吸気用フィルタ



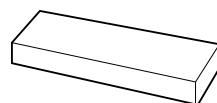
- ☐ ユーザーズマニュアル
(本書)



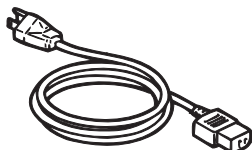
- ☐ プリンタソフトウェア
CD-ROM



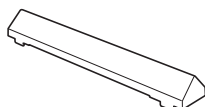
- ☐ リボンカートリッジ
(EF-1285BA相当品)



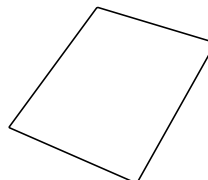
- ☐ 電源コード



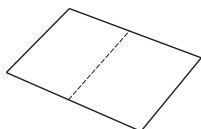
- ☐ カールコレクタ



- ☐ ソフトウェアの
ご使用条件



- ☐ 保証書



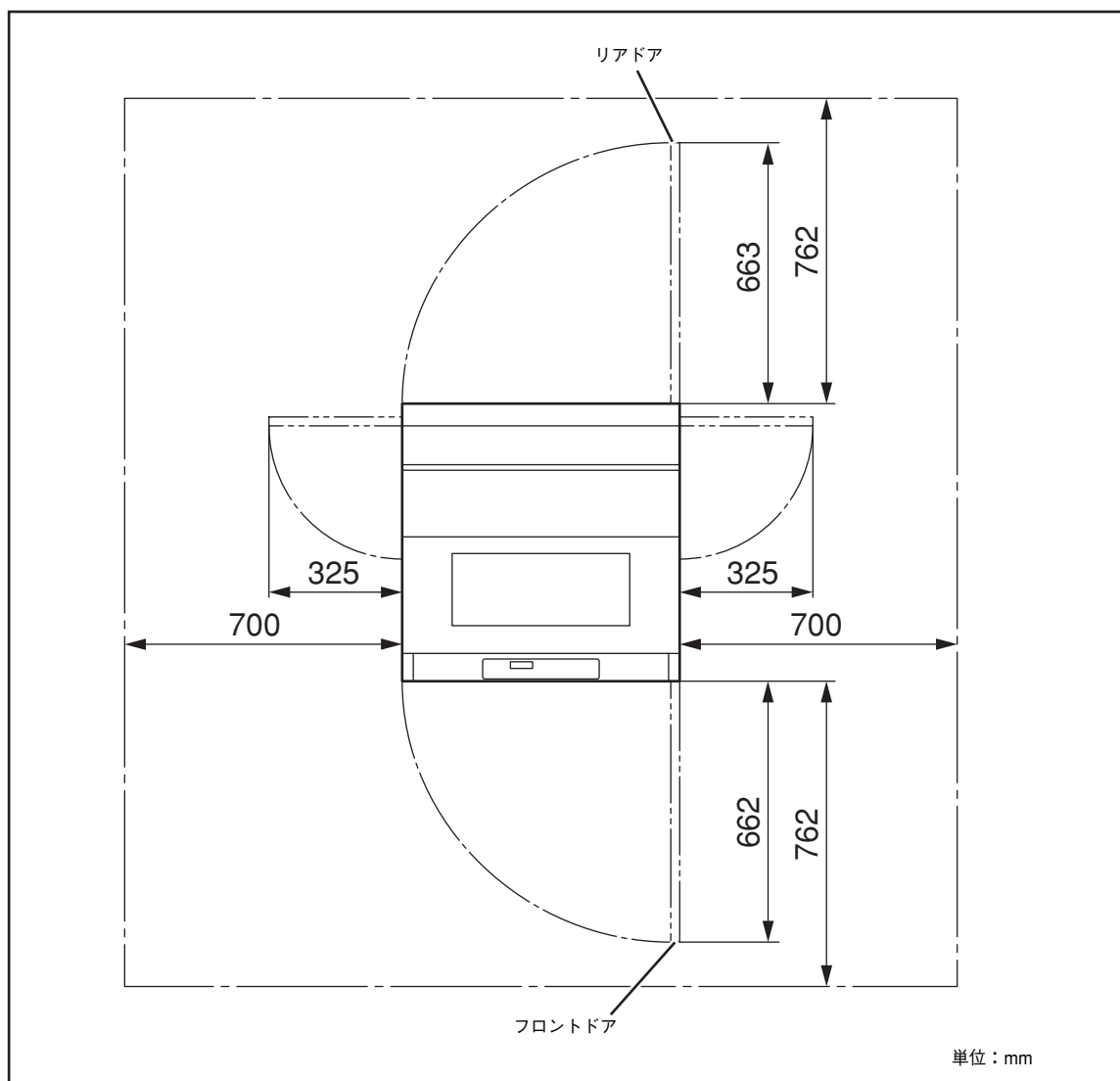
お使いになる前に、次のことを忘れずに行ってください。

- 保証書は大切に保管してください。
- 包装材はプリンタを運搬するときに必要となりますので、保存しておいてください。
- プリンタケーブル（インタフェースケーブル）は付属しておりません。本書の「3章 オプション」（63ページ）を参照して適切なプリンタケーブルを別途お買い求めください。

N1153-025の付属品

2 設置に必要なスペースを用意する

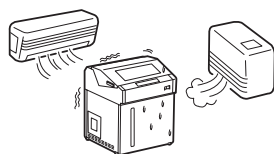
MultilImpact 750/560・N1153-025の設置に必要なスペースは次のとおりです。MultilImpact 750/560・N1153-025を安全に、快適にご使用いただくためには、次ページの「設置してはいけない場所」をよくお読みになり、下図に示すスペースを確保し、風通しのよい場所に設置してください。



設置・保守に必要なスペース（上面図）

設置してはいけない場所

次のような場所には設置しないでください。



直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、温度変化の激しい場所（暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く）には設置しないでください。また温度変化により結露現象が起こり故障の原因となることがあります。



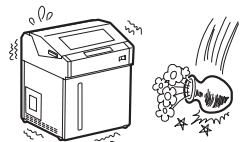
じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害で装置が正しく動作しないことがあります。



強い振動の発生する場所に設置しないでください。装置が正しく動作しないことがあります。



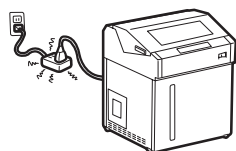
腐食性ガスの存在する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりして装置が正しく動作しなくなることがあります。



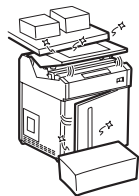
上から物が落ちてきそうな場所には設置しないでください。衝撃などにより装置が正しく動作しないことがあります。



ラジオやテレビなどの近くには設置しないでください。プリンタのそばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。



プリンタはコンセントから電源コード（約4m）で届く場所に設置してください。延長コードは決して使わないでください。

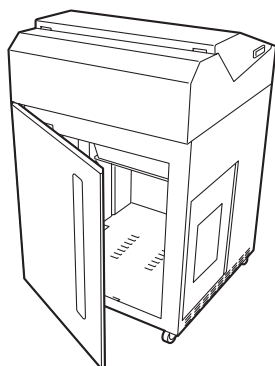


操作および保守に必要なスペースを確保してください。

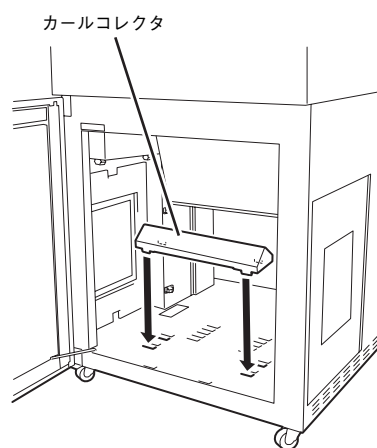
3 ペーパスタッカ部の設定をする

以下の手順で、スタックフェンスおよびカールコレクタを取り付けます。

① リアドアを開ける。



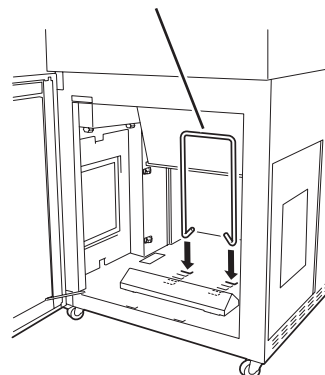
② カールコレクタをセットする。



③ スタックフェンスをラックにセットする。

使用する用紙の折りたたみ長さに応じて、スタックフェンスを指定の位置に取り付けます。

スタックフェンス



フェンス位置

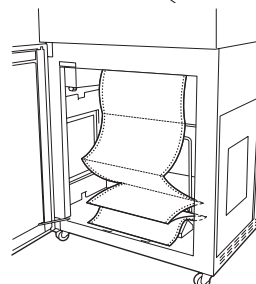
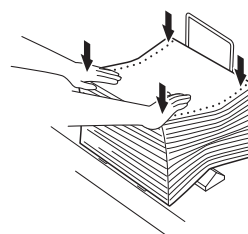
用紙長	フェンス位置
127mm (5インチ) 以下	5
152.4mm (6インチ)	6
177.8mm (7インチ)	7
203.2mm (8インチ) 以下	8
228.6mm (9インチ)	9
254mm (10インチ)	10
279.4mm (11インチ)	11
304.8mm (12インチ)	12

✓ チェック

- ラック上に積み重ねられた用紙が折り目部でふくらむと用紙がキャビネット内でぐちゃぐちゃになってしまいます。用紙がふくらんだら、約500ページ（複写紙の場合は100ページ）に1回手で押しつけて平らにしてください。折りたたみが改善されます。

また、用紙は印刷ごとに取り去り、ラック上に用紙をためないでください。

- 印刷が始まったら、印刷直後の先頭ページがラック上に正常に入っていることを確認してください。また、用紙がミシン目の折り方向に合って折りたたまれていることを確認してください。



4 吸気用フィルタの取り付けとプリンタの設置

本プリンタに添付の吸気用フィルタは本体右側の吸気口から異物が混入するのを防止するための部品ですので必ず取り付けてください。

吸気用フィルタはマグネットで簡単に着脱できます。プリンタをいつも良好な状態でお使いいただくために、掃除機などで定期的に清掃してください。



注意

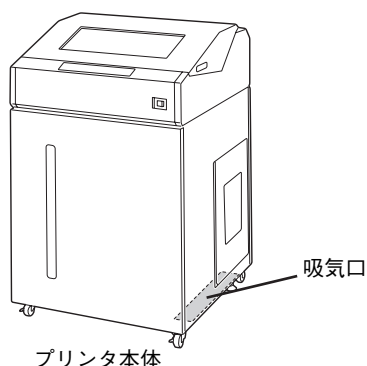
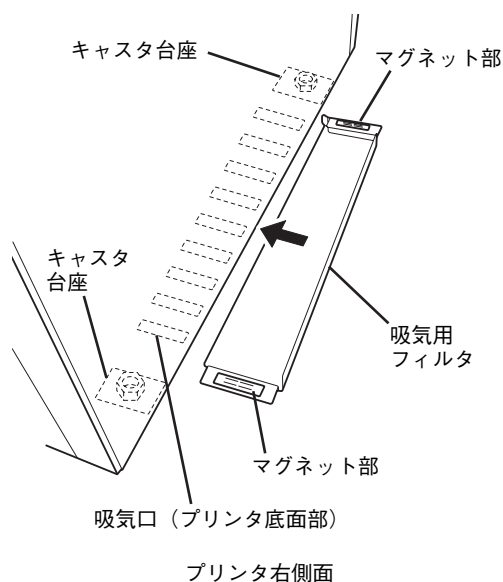
キャストやレベルフットに指や手を挟まないよう注意して作業してください。

- ① プリンタ正面右横にある電源スイッチがOFF（「○」側）になっていることを確認する。
- ② プリンタ右底面にある吸気口を覆うように吸気用フィルタを取り付ける。



チェック

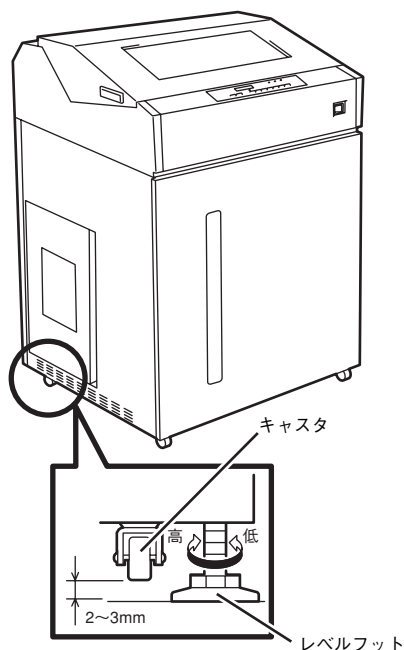
- プリンタ右側面と吸気用フィルタの隙間が無いように取り付けてください。
- 吸気口が吸気用フィルタで塞がれているか確認してください。
- 吸気口の前後にあるキャスト台座の段差にマグネット部が掛かると隙間ができたり落下する恐れがありますので、マグネット部が段差に掛からないように取り付けてください。



③ プリンタを設置する。

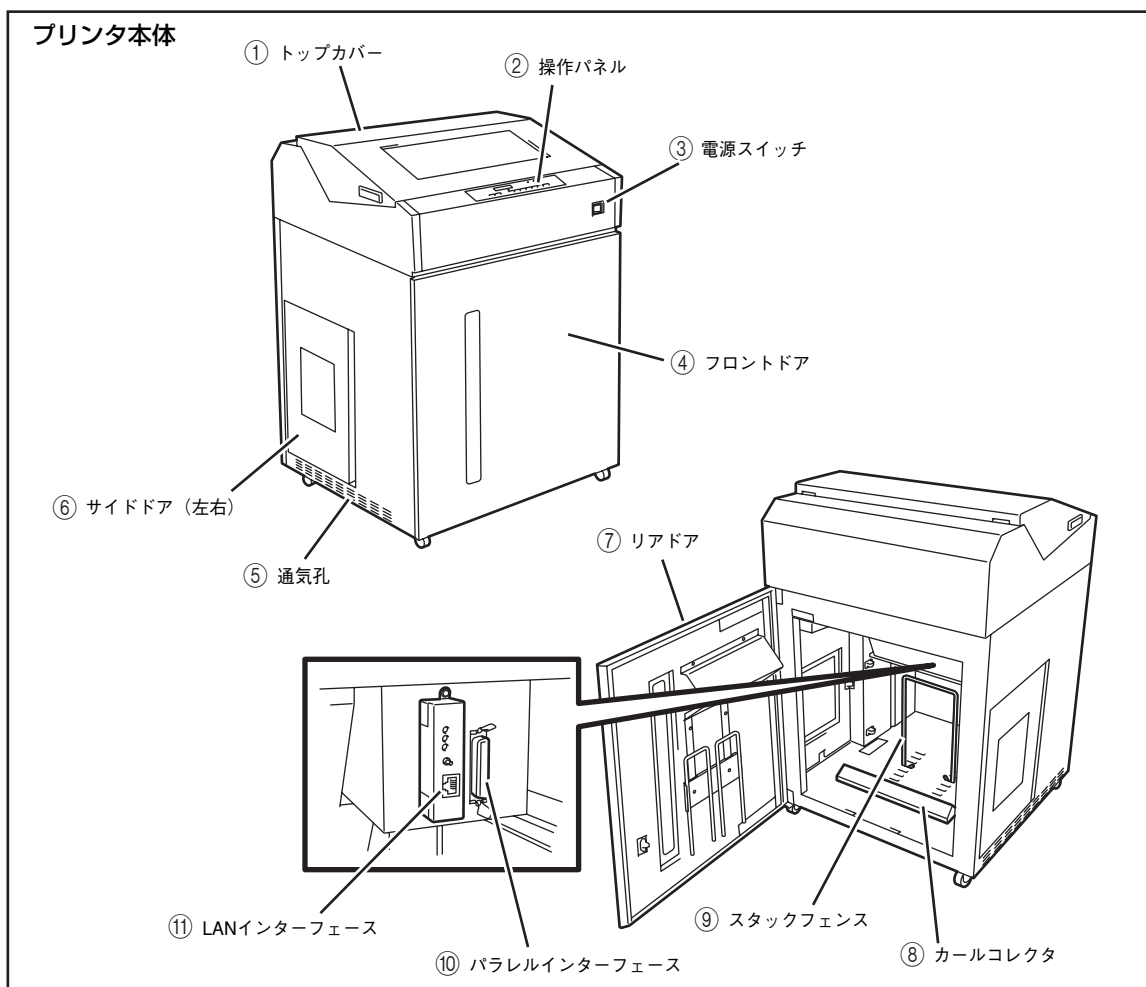
キャビネット底部の2か所にレベルフットが付いています。プリンタの固定、騒音対策、および印刷品質の確保のためにこのレベルフットを必ず下げて使用してください（キャストと床の間を最低2～3mm空けるようにしてください）。

なお、レベルフットの調整には対辺 12.7mm (M8) のレンチを使用します。



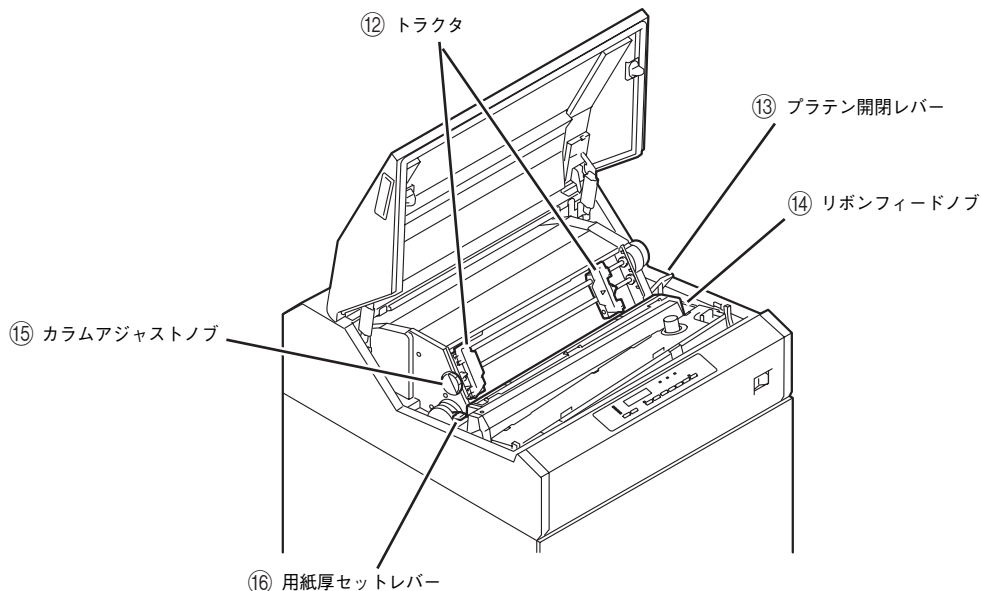
5 各部の名称を確認する

プリンタの各部の名称とはたらきについて説明します。プリンタを使用する前にそれぞれの名称と位置を確認してください。



- ① トップカバー：
印刷動作時の保護、防音のためのカバーです。インクリボンの取り付け、用紙をセットする際に開閉します。
- ② 操作パネル：
操作に必要なスイッチや、プリンタの状態を表示する液晶ディスプレイ、ランプがあります（2章の「操作パネル」（41ページ）参照）。
- ③ 電源スイッチ：
プリンタの電源をON（「」側）、OFF（「」側）するスイッチです。
- ④ フロントドア：
用紙を出し入れするためのドアです。
- ⑤ 通気孔：
プリンタを冷却する排気用の孔です。
- ⑥ サイドドア：
スタックした用紙を確認・調整するためのドアです。
- ⑦ リアドア：
印刷後の用紙取り出すためのドアです。
- ⑧ カールコレクタ：
スタックした用紙のふくらみを修正する台です。
- ⑨ スタックフェンス：
連続用紙が正しくスタックするよう用紙端を揃えるフェンスです。
- ⑩ パラレルインタフェース：
プリンタを直接コンピュータに接続するために、パラレルインタフェースのプリンタケーブルを接続するインタフェースです。
- ⑪ LANインタフェース：
プリンタをネットワークに接続するためにLANケーブルを接続するインタフェースです。

プリンタ内部



- ⑫ トラクタ： 用紙の送り機構です。トラクタカバー、トラクタピン、ロックレバーなどから構成されています。
- ⑬ プラテン開閉レバー： 用紙やインクリボンを交換するとき紙送り部を開閉するために使用します。またリボンセパレータの点検・交換、リボン・用紙走行路の清掃を容易にするためなどに使用します。
- ⑭ リボンフィードノブ： インクリボンをセットしたとき、リボンのたるみを取るためのノブです。
- ⑮ カラムアジャストノブ： 水平方向の用紙位置を微調整するノブです。
- ⑯ 用紙厚セットレバー： 使用する用紙の厚さに応じて、印刷ヘッドの位置を調整するときに使用します。実際の設定位置は印刷結果を見てレバー位置を調整してください。設定の目安は次のとおりです。

用紙厚設定の目安

6部～8部紙を使用するときは「濃度選択」スイッチを使って印刷することをお勧めします（「濃度選択」（43ページ）参照）。用紙にインクリボンの汚れが付くようなときは用紙厚セットレバーを7の方へ、文字が薄くて不鮮明なときは用紙厚セットレバーを1の方へ1段階動かしてください。

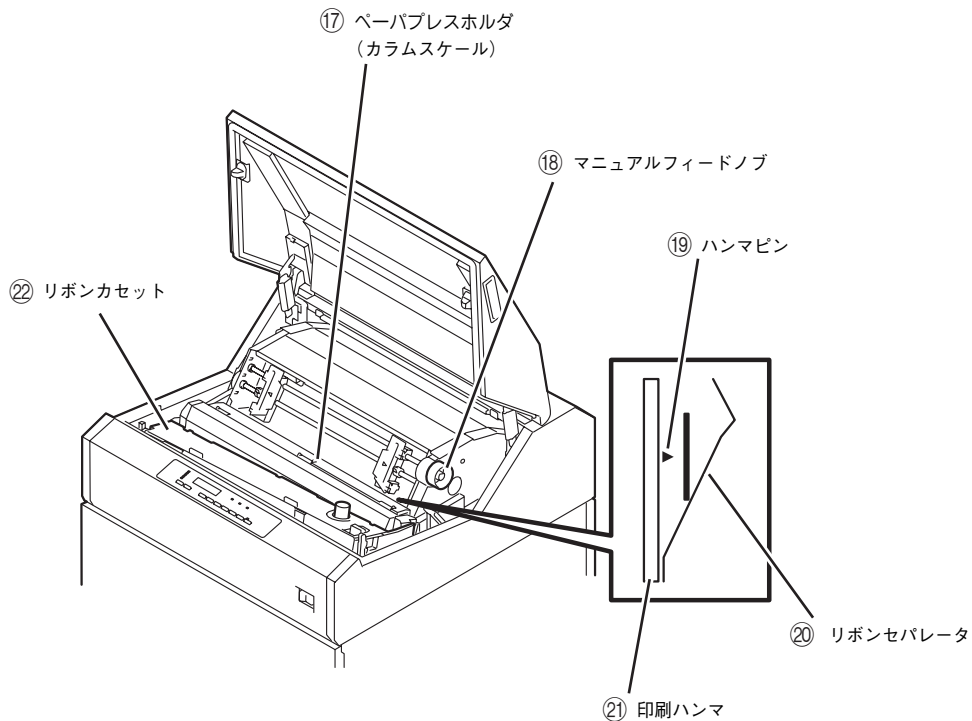
用紙厚セットレバーを設定する場合は、目盛り「1」に戻してから用紙厚セットレバーをスライドして設定してください。

印刷用紙の種類と坪量（四六判の連量）*		用紙厚セットレバー位置
1部紙	64～81.4g/m ² (55～70kg)	1～2
	104.7～127.9g/m ² (90～110kg)	2～3
2部紙	34.9～39.5g/m ² (30～34kg)	1～2
3部紙	34.9～39.5g/m ² (30～34kg)	2～3
4部紙	34.9～39.5g/m ² (30～34kg)	3～4
5部紙	34.9～39.5g/m ² (30～34kg)	3～4
6部紙	34.9～39.5g/m ² (30～34kg)	4～5
7部紙	34.9～39.5g/m ² (30～34kg)	4～5
8部紙	34.9～39.5g/m ² (30～34kg)	5

* 詳しくは、付録の「用紙規格」（96ページ）をご覧ください。

注) ご使用になる用紙の厚さにより、その都度、用紙厚セットレバーの位置を変更して印刷してください。

プリンタ内部（続き）



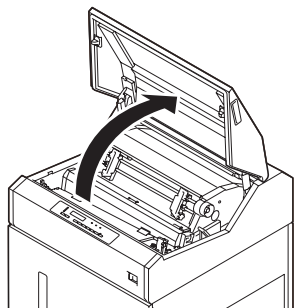
- | | |
|----------------|---|
| ⑰ ペーパープレスホルダ： | リボンカセットの取り付け・取り外し、リボンセパレータの交換時開閉します。また上面にカラムスケールが備えられていて印刷桁の水平方向位置合わせをするときに使用します。 |
| ⑱ マニュアルフィードノブ： | 用紙を手で送るノブです。 |
| ⑲ ハンマピン： | 用紙にインクリボンを打ち付けて印刷を行うピンです。 |
| ⑳ リボンセパレータ： | リボンが直接用紙に触れないようリボンの位置を保持する部品です。 |
| ㉑ 印刷ハンマ： | ハンマピンを駆動させる機構部品です。 |
| ㉒ リボンカセット： | 交換用インクリボンを収納するカセットです。 |

6 インクリボン（黒）・リボンカートリッジを取り付ける

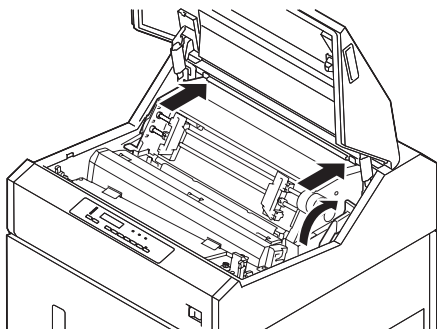
MultImpact 750/560に使用できるインクリボン（黒）は、PR750/360-01です。N1153-025に使用できるリボンカートリッジは、EF-1285BAです。インクリボン（黒）またはリボンカートリッジは、安定した印刷品質を保つためにも指定品を使用することをお勧めします。

以下の手順に従って取り付けます。なお、手順中では「リボンカートリッジ」と記載しています。MultImpact 750/560をご使用の場合は、「インクリボン（黒）」と読み替えてください。

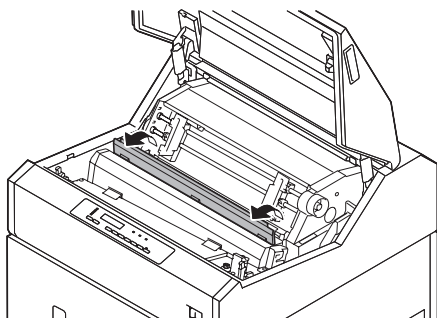
- ① トップカバーを開ける。



- ② ブラテン開閉レバーを後ろへ押してブラテンを開ける。



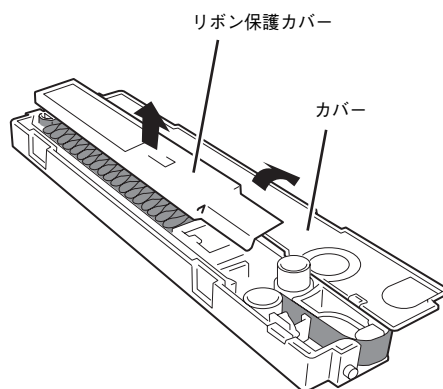
- ③ ペーパープレスホルダを開ける。



⚠ 注意

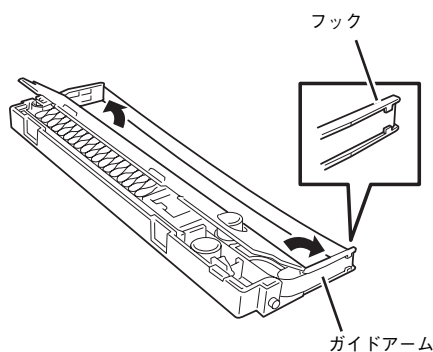
カバーの中にある機構部は、けがをするおそれがありますので取り外さないでください。

- ④ リボンカートリッジのカバーを開け、リボン保護カバーを取り除く。

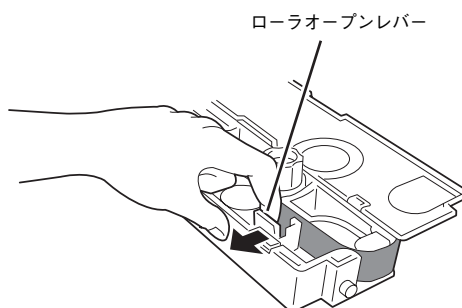


- ⑤ 左右のガイドアームを広げる。

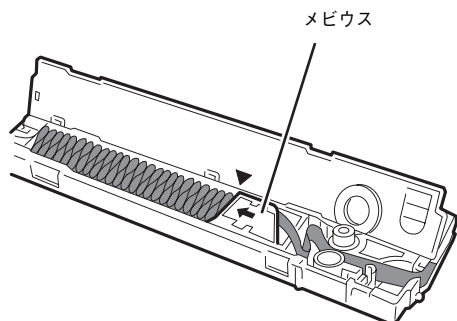
このとき、リボンをガイドアーム先端のフックに正しく掛けてください。



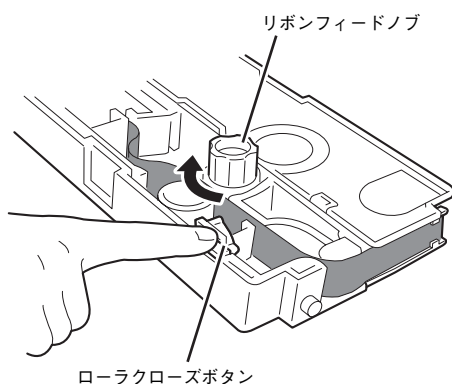
- ⑥ ローラオープンレバーをカチッとロックするまで手前に引く。



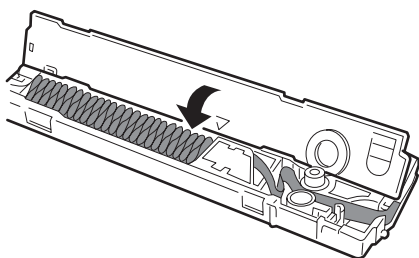
- ⑦ メビウスをリボンカートリッジのカバーにある▼マークまで移動する。



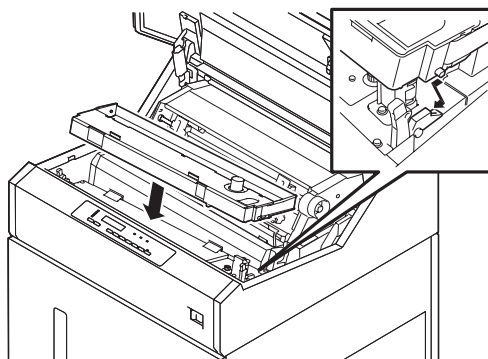
- ⑧ ローラークローズボタンを押してローラを閉じ、リボンフィードノブを時計回りに回してリボンのたるみを取る。



- ⑨ カバーを閉じる。

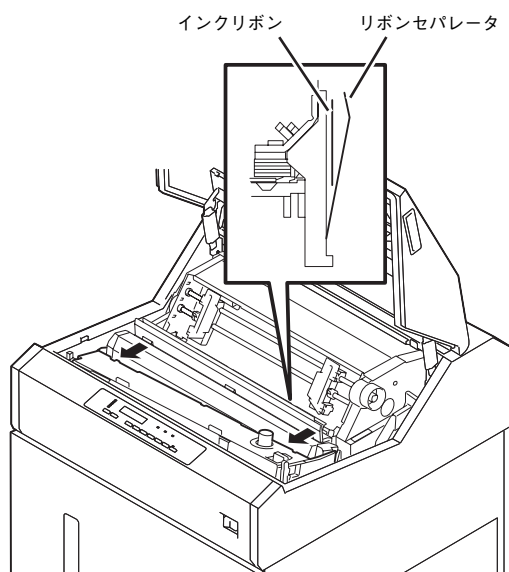


- ⑩ リボンカートリッジの左右両側にある突起を矢印のように溝に入れてセットする。



- ⑪ リボンカートリッジをカチッとロックするまで手前に引く。

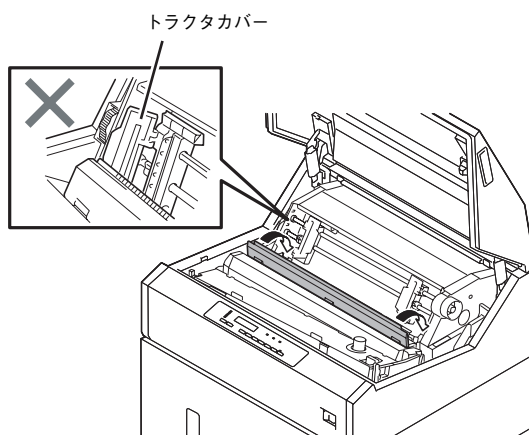
リボンがリボンセパレータの手前側に入っていることを確認します。



チェック

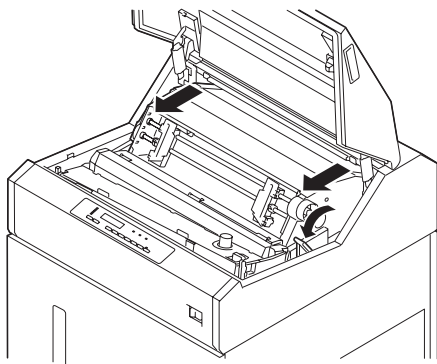
リボンがリボンセパレータの奥側にセットされると用紙にじかに接触するため、汚れやリボン外れ、ジャムが発生するおそれがあります。

- ⑫ メピウスを▼マークまで左へ移動する。

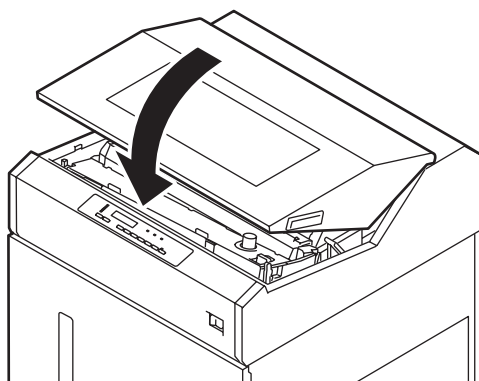


このとき、トラクタカバーが開いていると、ペーパープレスホルダは閉じません。必ずトラクタカバーを閉じてください。

- ⑬ ブラテン開閉レバーを手前に引いてブラテンを閉じる。

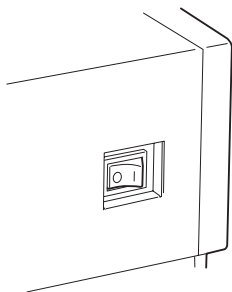


- ⑭ トップカバーを閉じる。

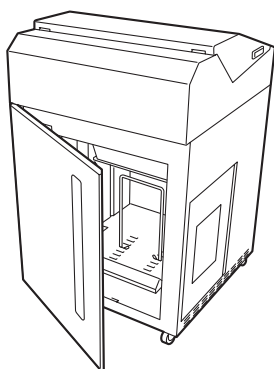


7 電源コードを接続する

- ① プリンタ正面右横にある電源スイッチがOFF（「○」側）になっていることを確認する。



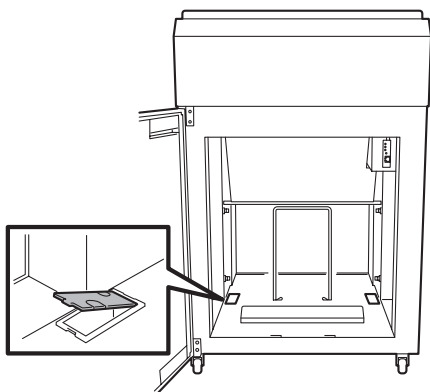
- ② リアドアを開ける。



⚠ 注意

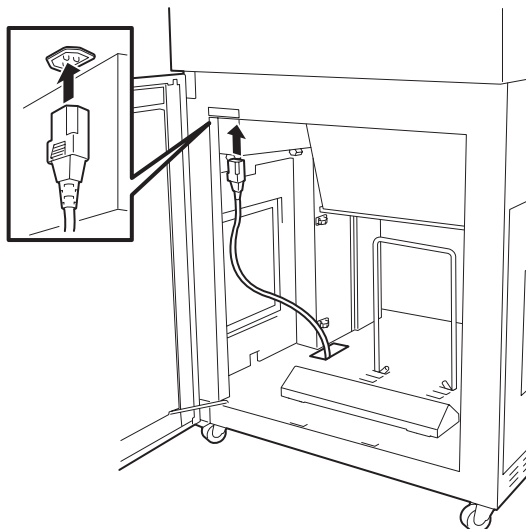
開いたリアドアには重みをかけないでください。倒れてけがをするおそれがあります。

- ③ キャビネット底面の電源ケーブル挿入口のカバーを下から押し上げるようにして取り外す。

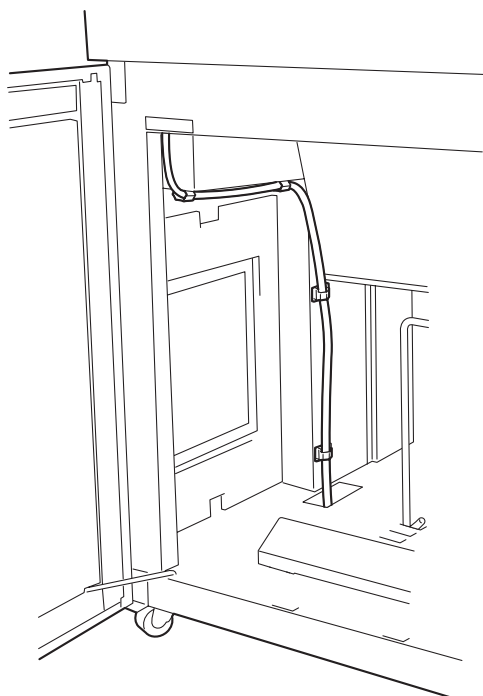


- ④ 電源コードを接続する。

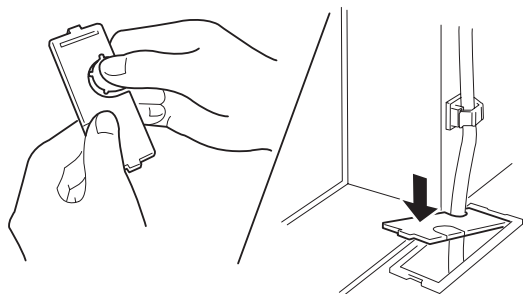
左側のケーブル挿入口下側から、電源コードを通し、電源コードの三極プラグをキャビネット内上面の電源コネクタに差し込みます。



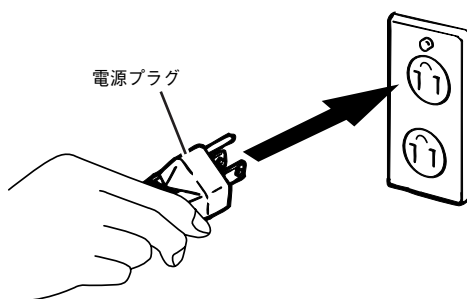
- ⑤ 電源コードをクランプで固定する。



- ⑥ 手順3で取り外したカバーのツメを折り、キャビネット内の底面左右のケーブル挿入口にカバーを取り付ける。



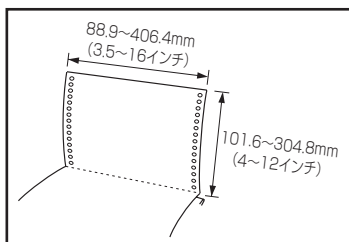
- ⑦ 電源プラグを電源コンセントへ差し込む。



8 用紙をセットする

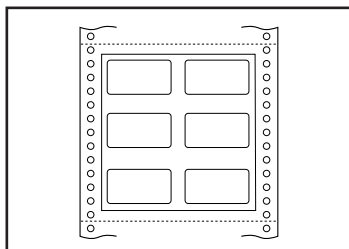
用紙について

Multilimpact 750/560・N1153-025で使用できる用紙の種類やサイズは次のとおりです。詳しくは、付録の「用紙規格」(96ページ)または「用紙設計に関する注意事項」(97ページ)をお読みください。



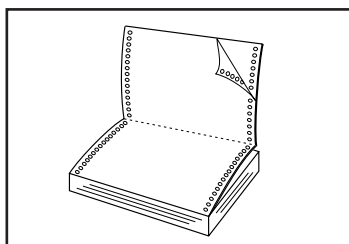
連続紙：

連続紙はミシン目で折りたたんだ状態で保存されています。ミシン目の間隔は、縦方向に279.4mm(11インチ)のものと304.8mm(12インチ)のものが一般的です。幅は、254mm(10インチ)のものと381mm(15インチ)のものが一般的です。用紙の規格については、付録の「用紙規格」(96ページ)をご覧ください。



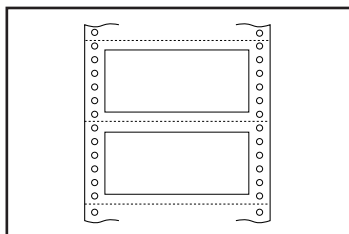
タック紙(ラベルシール)：

連続紙の台紙上にラベルシールを貼り付けてある用紙をトラクタを使って連続的に送ることができます。サイズは連続紙と同じです。タック紙使用時の注意事項については付録の「用紙設計に関する注意事項」(97ページ)をご覧ください。



複写式連続紙：

感圧紙または裏カーボン紙はオリジナル(上層紙)を含めて8枚までの複写式連続紙が使用できます。用紙のサイズは一般的な連続紙と同じです。用紙の規格については、付録の「用紙規格」(96ページ)をご覧ください。



封筒用紙：

上紙、中紙、下紙の3枚からなる帳票タイプの封筒用紙です。サイズは連続紙と同じです。封筒用紙使用時の注意事項については付録の「用紙設計に関する注意事項」(97ページ)をご覧ください。

✓ チェック

- 用紙を包装箱やビニールなどに入れたままキャビネットの中にセットすると、用紙ジャムや文字詰りの原因となる場合がありますので、必ず包装箱やビニールなどから出してセットしてください。また、折りたたみ長さが短い用紙はキャビネットの奥にセットしないで、装置手前側にセットしてください。
- 用紙の質については、一般的な連続紙を使う場合はほとんど問題ありません。複写式の用紙など特殊な用紙を使うときには、付録の「用紙規格」(96ページ)をご覧ください。
- 用紙の印刷可能範囲については、付録の「印刷範囲」(105ページ)をご覧ください。

用紙のセット方法

ここでは、用紙のセット方法について説明します。Multilimpact 750/560・N1153-025で使用できるのは、連続紙（フィードホール付き連続用紙）のみです。用紙のサイズや印刷可能範囲については、付録の「用紙規格」（96ページ）および「印刷範囲」（105ページ）を参照してください。

連続紙はトラクタにセットして使用します。トラクタフィーダは、主に次の部分から構成されています。

① トラクタ

トラクタカバー、トラクタピン、トラクタロックレバーなどから構成される連続紙の送り機構です。

①-① トラクタカバー

トラクタピンにセットした連続紙を押さえます。また、印刷したい行を設定するためのラインマークがトラクタカバー上についています。

①-② トラクタピン

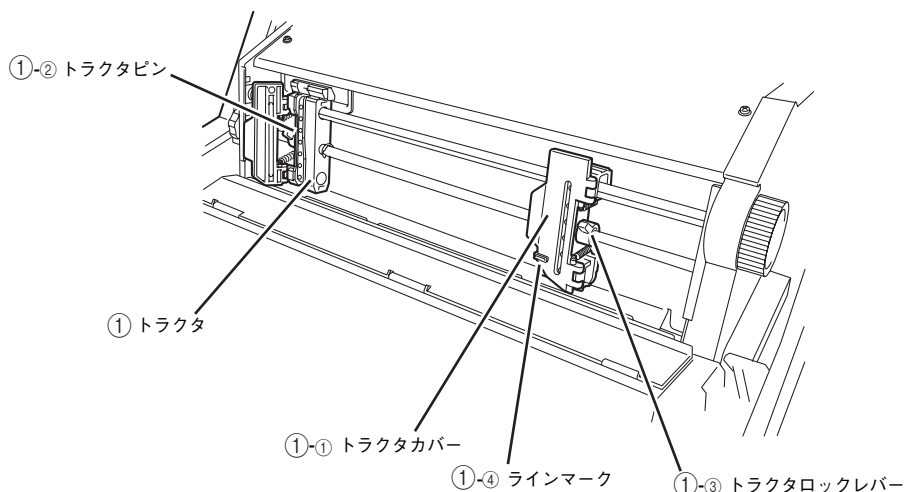
連続紙の左右端の穴をこのピンに合わせてセットすることにより、正確な用紙送りができます。

①-③ トラクタロックレバー

トラクタの位置を固定するレバーです。レバーを下方向に倒すとロックは解除され、上方向に倒すとロックされます。

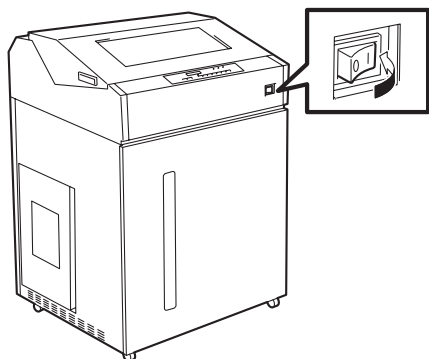
①-④ ラインマーク

用紙をセットする際に、印刷位置を合わせます。

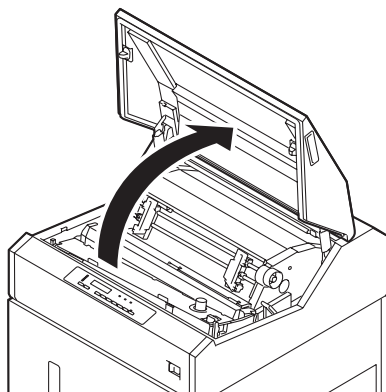


次の手順で用紙をセットします。

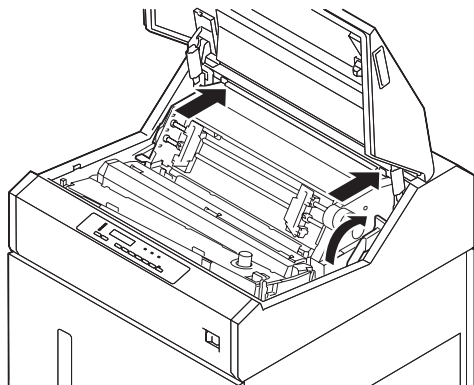
① プリンタ正面右側にある電源スイッチを ON（「I」側）にする。



② トップカバーを開ける。



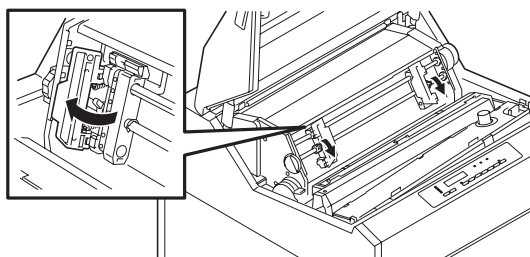
- ③ プラテン開閉レバーを後ろへ倒して、プラテンを開ける。



- ④ 左右のトラクタロックレバーを下方向に倒して、トラクタが自由に動くようになったらトラクタの位置を左右端に移動し、トラクタカバーを開ける。

! 注意

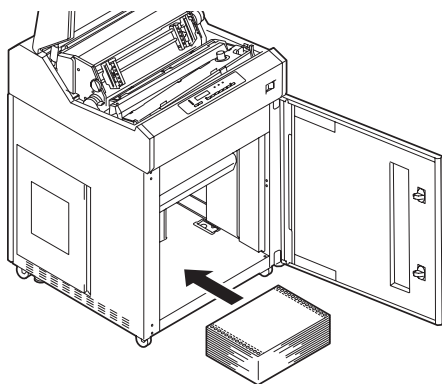
トラクタカバーに手をはさまないようにご注意ください。



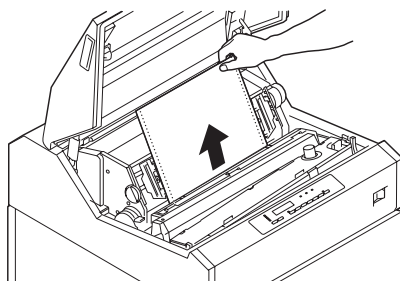
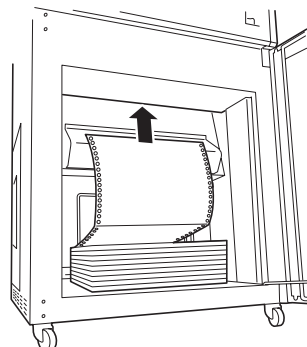
- ⑤ フロントドアを開け、用紙をキャビネットの中へ入れる。



用紙を包装箱およびビニールなどから出してキャビネットの中にセットしてください。また、折りたたみ長さが短い用紙はキャビネットの奥にセットしないで、装置手前側にセットしてください。



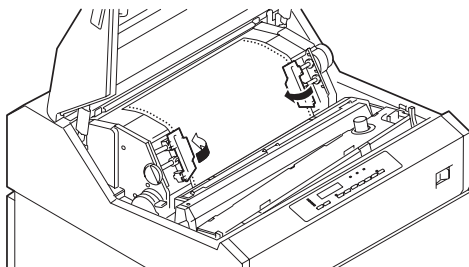
- ⑥ 用紙の印刷面を上にして用紙挿入部から入れて手で押し上げ、トラクタのところに出てきた用紙を引き上げる。



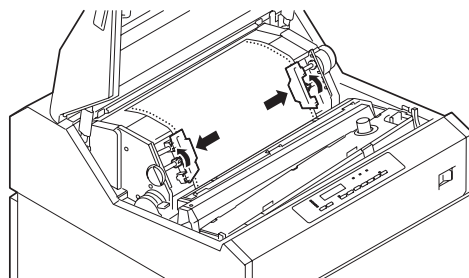
- ⑦ トラクタを左右に動かして用紙の幅に合わせる。次に、用紙のフィードホールを左右のトラクタピンにセットし、トラクタカバーを閉じる。

! 注意

トラクタカバーに手をはさまないようにご注意ください。



- ⑧ カラムスケールを参照しながら用紙を張り過ぎないようにトラクタ位置を決め、左右のトラクタロックレバーを上方向に倒しトラクタを固定する。



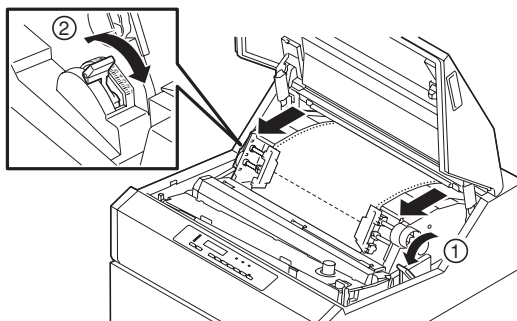
- 9 プラテン開閉レバーを手前に引いてプラテンを閉じ、印刷用紙の種類に応じて用紙厚セットレバーを適正な位置に設定する。

✓チェック

用紙厚セットレバーを設定する場合は、目盛り“1”に戻してから用紙厚セットレバーをスライドして設定してください。

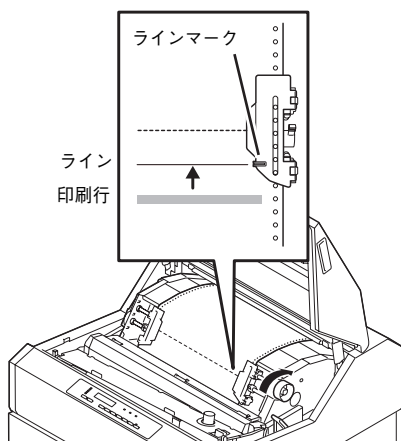
印刷用紙の種類と坪量（四六判の連量）		用紙厚セットレバー位置
1部紙	64～81.4g/m ² (55～70kg)	1～2
	104.7～127.9g/m ² (90～110kg)	2～3
2部紙	34.9～39.5g/m ² (30～34kg)	1～2
3部紙	34.9～39.5g/m ² (30～34kg)	2～3
4部紙	34.9～39.5g/m ² (30～34kg)	3～4
5部紙	34.9～39.5g/m ² (30～34kg)	3～4
6部紙	34.9～39.5g/m ² (30～34kg)	4～5
7部紙	34.9～39.5g/m ² (30～34kg)	4～5
8部紙	34.9～39.5g/m ² (30～34kg)	5

この用紙厚セットレバーの位置は設定の目安です。用紙厚セットレバーを動かして適切な位置に合わせてください。



- 10 [用紙微調 (▲)] スイッチを押す、またはマニュアルフィードノブを回して印刷したい行の上ラインを、左右のトラクタのラインマーク (▶◀) に合わせる。

印刷結果は文字の上端がその行のラインと一致します。

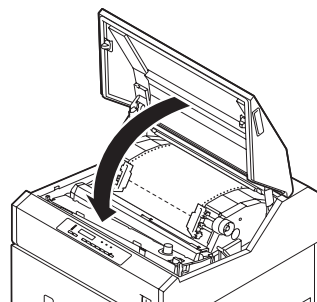


✓チェック

- [用紙微調] スイッチでラインマークに合わせるときは最後に [用紙微調 (▲)] スイッチを押して調整を完了してください。最後の調整が [用紙微調 (▼)] スイッチで終わると、微妙に用紙がたるんだ状態になり印刷品質が悪くなる場合があります。
- マニュアルフィードノブでは、用紙を逆フィードできません。必ず順方向にフィードさせて、ラインマークに合わせてください。
- 用紙長152.4mm (6インチ) 以下の用紙を使用する場合は、左右のトラクタのラインマーク (▶◀) から上側に2枚分 (シート分) の余白を取ってください。余白を取らない場合、用紙フィード不良の原因となります。

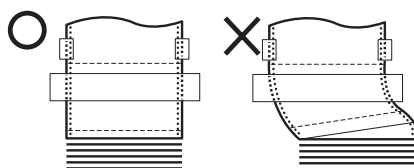
- 11 トップカバーを閉じる。

トップカバーを閉じると直後に用紙が引き込まれ、印刷したい行がプラテン上に送られます。



✓チェック

連続紙のストック分は、トラクタの用紙セット位置に対して鉛直線上的に置いてください。紙づまりなどの原因となります。



- 12 [印刷可] スイッチを押して、セレクト状態 (印刷可ランプ点灯) にする。

これでコンピュータから受信したデータを連続紙に印刷するための準備ができました。

印刷に関する注意

印刷を行う場合は、次の点について注意してください。



チェック

- 印刷中はトップカバーを開けないでください。もし、印刷中にトップカバーを開けると印刷が停止します。再びカバーを閉じれば印刷が再開されますが、印刷文字に白いすじが発生したり、印刷品質が悪くなったりする場合があります。
印刷中にトップカバーを開けると印刷が停止し、用紙の一時排出動作を行います。このとき用紙ランプが点灯した場合は、トップカバーを閉じて用紙を元の位置に戻すことができないので、用紙を排出し、現在印刷中のページの残りのデータを捨ててしまいます。
- 操作パネル（またはリモートパネル）で設定する1ページの長さで印刷する用紙の長さが合っていない場合に用紙がなくなると、プラテンに空打ちして印刷ヘッドの故障の原因となりますので、必ず用紙長を正しく設定してください。また、用紙を再セットした後は印刷位置がずれますので、用紙の1ページの長さで操作パネル（またはリモートパネル）により設定する1ページの長さを合わせてください。用紙長が合っていないと、用紙切れ検出後のデータが失われます。
- 2ページにまたがる（設定されている用紙長以上の）逆改行はできません。
- 最終ページの用紙下端から8mmは印刷できませんので注意してください。最終ページの用紙下端から8mm以内に印刷するようにしている場合、プログラムどおり印刷できません。
- 最終ページの用紙下端から約30mm以内に印刷すると多少印刷が乱れることがあります。
- バーコードを印刷する時は、坪量 $81.4 \sim 104.7 \text{ g/m}^2$ （連量70～90kg）の用紙を使用してください。それ以外の用紙は推奨していないので事前にご確認ください。また、複写用紙には絶対に印刷しないでください。
- OCR-B近似フォントを印刷する時は、坪量 104.7 g/m^2 （連量90kg）の用紙を使用してください。それ以外の用紙は推奨していないので事前にご確認ください。また、複写用紙には絶対に印刷しないでください。
- OCR-B 近似フォントおよびバーコード／カスタマバーコードは高品位モードで印刷してください。それ以外のモードで印刷した場合は、読み取りは保証できません。
- エリートフォント、コンデンスフォントと2.47mm（7P）相当漢字、3.35mm（9.5P）相当漢字はエミュレーションして印刷しているため印刷品質が多少悪くなります。
- ドット列印字モードまたは修飾文字を印刷する場合、エミュレーションして印刷しているため印刷品質が多少悪くなります。
- 独自で作成したバーコードなど、プリンタ内蔵のバーコード以外のバーコードで印刷する場合、読み取れない場合がありますので事前にご確認ください。
- OCR-B 近似フォントおよびバーコード／カスタマバーコードは読み取り装置によっては読み取れない場合があります。事前にご確認ください。
- インクリボンの寿命などにより印刷にかすれがある場合は、OCR-B およびバーコード読取装置でうまく読み取れない場合があります。
- 印刷中インクリボンの継ぎ目の影響による汚れが発生する場合があります。
- 印刷品質は、高品位印刷が最も良く、通常印刷や高速印刷の場合は多少悪くなります。
- 印刷範囲については、付録の「印刷範囲」（105ページ）を参照してください。
- 「用紙規格」（96ページ）、「用紙設計に関する注意事項」（97ページ）に合致した用紙を使用してください。
- 印刷開始後、用紙の先頭ページがミシン目の折り方向に折りたたまれ、正常にスタックされていることを確認してください。正常に折りたたまれていないと用紙ジャムなどが発生する場合があります。

9 テスト印刷を行う

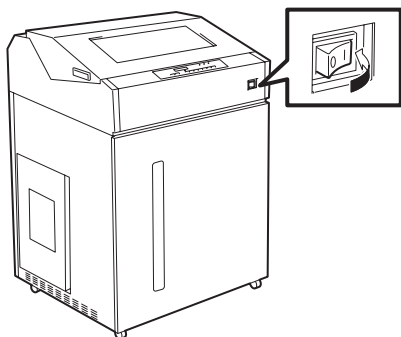
テスト印刷は、プリンタ単体で正常な動作を確認するためのものです。プリンタ内蔵のフォントを繰り返して印刷します。テスト印刷には381mm（15インチ）幅の連続紙を使用してください。

印刷範囲がはみ出すような幅のせまい用紙は、印刷ヘッドやプラテンまたはインクリボンの損傷の原因となることがありますので使用しないでください。

このテスト印刷は、「5章 故障かな？と思ったら」（79ページ）の処理が済んだ後にも必要に応じて実行することをお勧めします。

- ① [改頁] スイッチを押したまま、プリンタ正面右側にある電源スイッチをON（「I」側）にする。

[改頁] スイッチは液晶ディスプレイに“インサツモード”が表示されるまで押し続けてください。



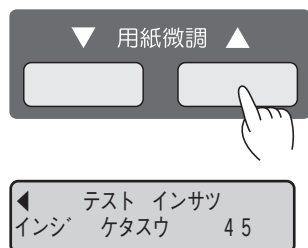
- ② [機能選択] スイッチを押す。

液晶ディスプレイ下段に“インジケタスウ 45”が表示されます。



- ③ [用紙微調 (▲)] または [用紙微調 (▼)] スイッチを押して印刷文字数を設定する。

印刷文字数は10桁から45桁まで設定することができます。



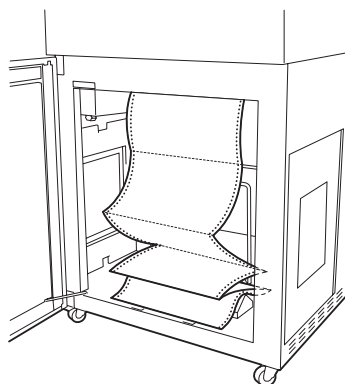
- ④ 印刷文字数を設定したら、[印刷可] スイッチを押す。

液晶ディスプレイは“インジチュウ”を表示し、テスト印刷が始まります。テスト印刷中に[印刷可] スイッチを押すと停止します。もう1回押すとテスト印刷を再開します。



印刷が始まったら、印刷直後の先頭ページがキャビネット内の用紙スタック部に正常に入っていることを確認してください。また、用紙がミシン目の折り方向に合って折りたたまれていることを確認してください。

途中で用紙がなくなり用紙ランプが点灯したときは、新しい用紙をセットしてから[印刷可] スイッチを押してください。印刷が始まります。



- ⑤ テスト印刷を終了する場合は、[設定] スイッチを押して印刷動作が停止してから電源スイッチをOFF（「O」側）にする。



10 コンピュータに接続する

MultImpact 750/560・N1153-025には、プリンタケーブルが添付されておりません。プリンタとコンピュータとの接続には、3章の「オプション」(63ページ)をご覧ください。別途買い求めください。

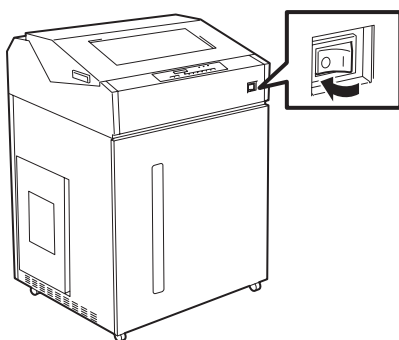
重要

コンピュータ本体とプリンタとの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンタバッファ、プリンタ切り替え器、プリンタ共有器などを使用したりすると、MultImpact 750/560・N1153-025の機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。

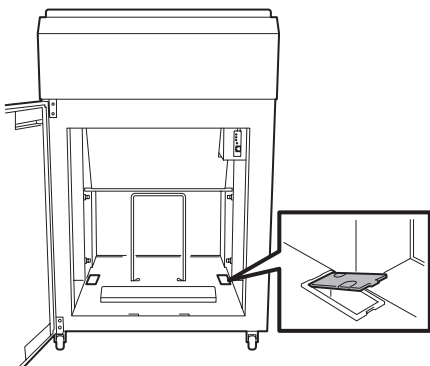
- 1 プリンタおよびコンピュータの電源スイッチが OFF (「○」側) になっていることを確認する。

チェック

電源スイッチがONになっている状態で接続すると故障の原因となることがあります。必ずOFFになっていることを確認してください。

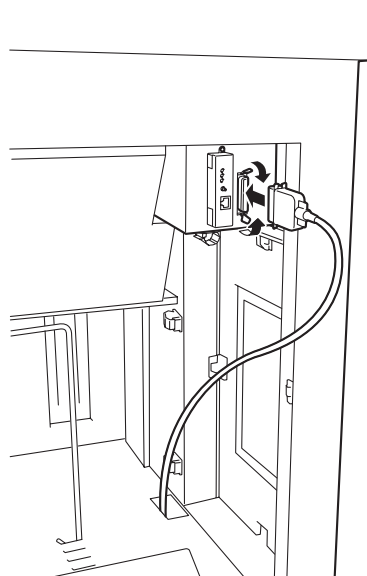


- 2 キャビネット内の底面右側のケーブル挿入口のカバーを下から押し上げるようにして取り外す。



- 3 プリンタケーブルを取り付ける。

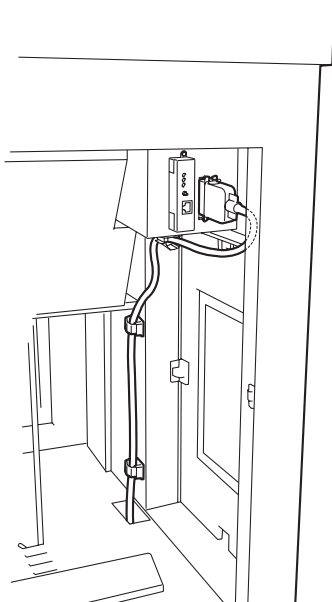
ケーブル挿入口下側から、プリンタケーブルの大きい方のコネクタを通し、キャビネット内の右側面にあるプリンタケーブル用ソケットに差し込んで、ロックスプリングで固定します。



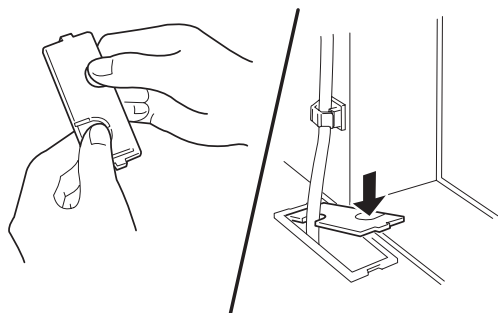
チェック

誤動作防止のため、プリンタケーブルのコネクタは必ずロックスプリングで固定してください。

- ④ プリンタケーブルをクランプで固定する。

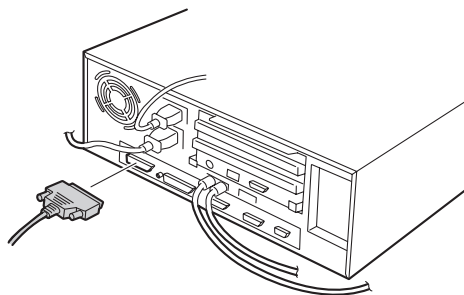


- ⑤ 手順2で取り外したカバーのツメを折り、キャビネット内底面のケーブル挿入口にカバーを取り付ける。



- ⑥ プリンタケーブルのもう一方のコネクタをコンピュータに接続する。

コンピュータのインタフェース用ソケットの位置については、コンピュータのマニュアルを参照してください。



11 ネットワークに接続する

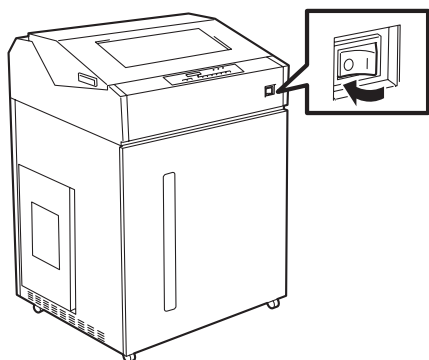
MultImpact 750/560は標準でTCP/IPのネットワーク環境に接続することができます。

100BASE-TX、10BASE-Tに対応しています。

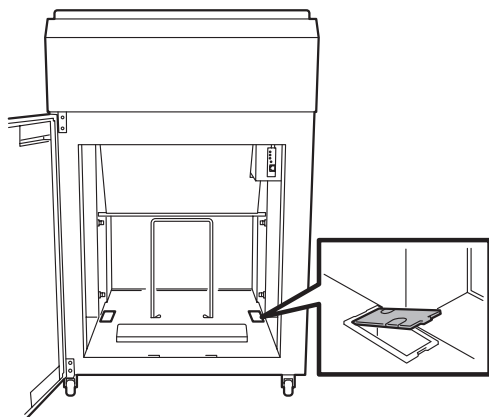
N1153-025をネットワークに接続してご利用になる場合は、オプションが必要です。「3章 オプション」(63ページ) およびオプションに添付のマニュアルを参照して、取り付けやセットアップをしてください。

LANケーブルの取り付け

- ① プリンタの正面右側にある電源スイッチをOFF(「〇」側)にする。

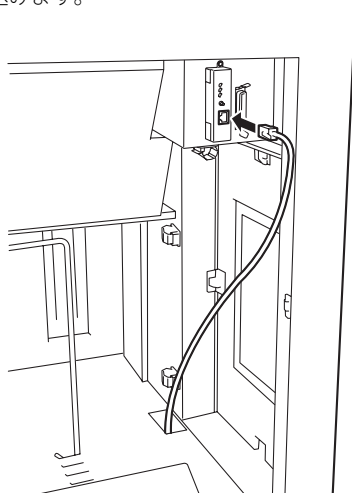


- ② キャビネット内の底面右側のケーブル挿入口のカバーを下から押し上げるようにして取り外す。

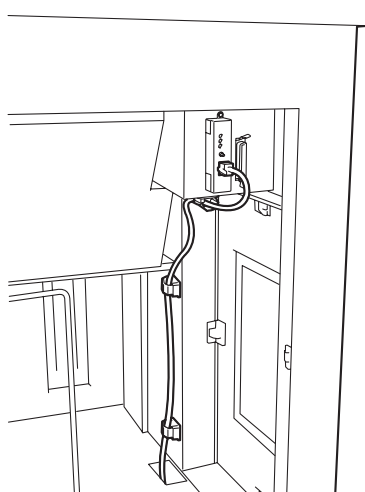


- ③ LANケーブルを取り付ける。

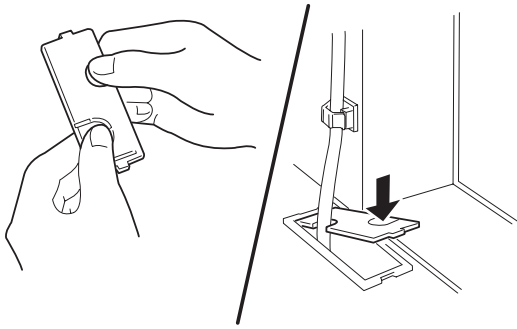
ケーブル挿入口下側から、LANケーブルのコネクタを通し、キャビネット内のLANボードのソケットに差し込みます。



- ④ ケーブルを筐体内部のクランプに取り付ける。



- ⑤ 手順2で取り外したカバーのツメを折り、キャビネット内底面のケーブル挿入口にカバーを取り付ける。

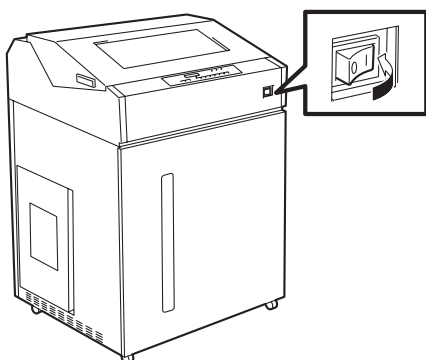


1

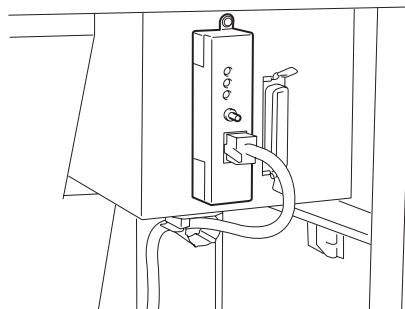
プリンタの設置

コンフィグレーション印刷による動作確認

- ① プリンタの電源スイッチをON（「I」側）にし、プリンタが正常に立ち上がり、印刷可状態であることを確認する。



- ② LAN ボードのブラケットにあるスイッチを 2 秒以上押し続けてから放す。



LANボードのスイッチは、5秒以上押し続けしないでください。

- ③ 下記のような印刷結果が得られることを確認する。
モデルにより、一部下記印刷例と相違する場合があります。

NEC PR-NP-16 Version 1.0.0

*** Diagnostic report ***

ROM Check : Ok stat: CEF4 FFFF 0000 0000

RAM Check : Ok stat: 0000 0000 0000 0000

NIC Check : Ok addr: 00:80:92:1D:30:DC 100BASE-TX

EEPROM Check : Ok stat: 9807 9807 0000 0000



MultilImpact 750/560は、パラレルおよびLANポートのいずれかを利用することができます。最初に受信した方のデータにより、パラレルおよびLANポートのいずれかを自動選択します。以降は、選択された方のデータを処理します（解除は電源スイッチをOFFにしてください）。パラレルまたは、LANポートを固定で使用する場合は、メモリスイッチMSW3-5、3-6の設定を変更してください（「メモリスイッチ設定モード」（57ページ））。

12 ソフトウェアをインストールする

Windows OSをお使いの場合は、プリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているソフトウェアマニュアルをお読みになりながら、プリンタドライバのインストールを行ってください。

プリンタの廃棄とインクリボンの処理について

プリンタを廃棄する

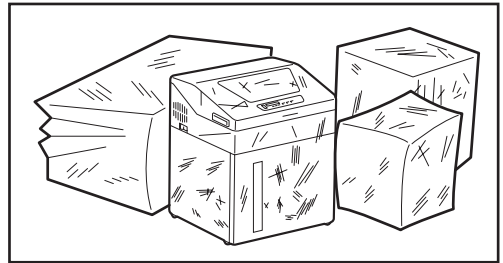
プリンタおよびオプションの廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせ願います。



チェック

プリンタの廃棄の際は、他の装置への転用を防ぐために、プリンタに添付されていた電源コードも一緒に廃棄してください。

規格に合っていない装置に使用すると、感電や火災の原因となることがあります。



インクリボンの処理について

使用済みのインクリボンカートリッジ、インクリボンを廃棄するときは各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせ願います。

- 使用済みインクリボンカートリッジ、インクリボンは、各自治体の条例等に従って処分してください。
使用済みインクリボンカートリッジ、インクリボンを不法投棄すると、法律で罰せられます。

プリンタを運搬するときは

プリンタを運搬するときは、運搬時の衝撃からプリンタを守るために、お買い上げ時にプリンタを梱包していた包装材を使ってください。

- ① プリンタおよびコンピュータの電源スイッチをOFF（「○」側）にする。
- ② LANケーブルにてネットワークに接続して使用していたときはLANケーブルを取り外す。
- ③ プリンタケーブルを取り外す。
 - ① コンピュータに接続しているコネクタ部を持って、プリンタケーブルをコンピュータから抜きます。
 - ② プリンタに接続しているコネクタを固定しているロックスプリングを外し、コネクタ部を持ってプリンタケーブルをプリンタから抜きます。
- ④ 電源コードをコンセントから抜く。抜くときは、プラグを持って電源コードを抜く。
- ⑤ キャビネット底部のレベルフット4か所を対辺12.7mm（M8）のレンチを使って元の位置まで上げる。
- ⑥ リボンカセットのカバーをテープなどで固定する。
- ⑦ 包装材を元のように取り付けて、付属品をビニールに入れ、キャビネットの中に入れる。
- ⑧ 最後にビニールをプリンタにかける。



プリンタは質量が約115kgありますので、移動するときは必ず2人以上で作業を行ってください。

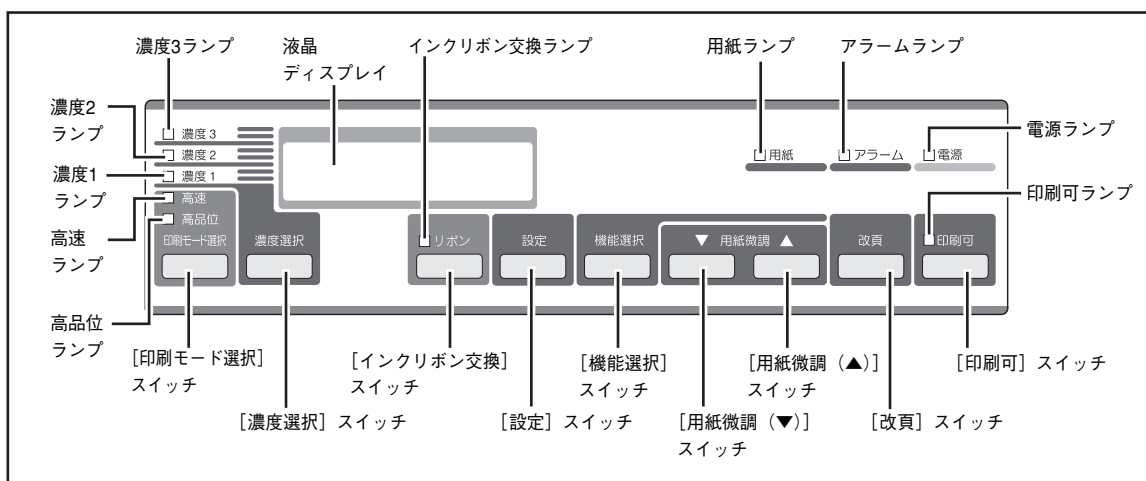
2章 プリンタを使いこなそう

ここではMultImpact 750/560・N1153-025の基本的な操作の手順について説明します。

操作パネル

MultImpact 750/560・N1153-025は、プリンタの操作に必要な表示類やスイッチ類をプリンタ前面の操作パネルにまとめています。

操作パネルには10個のランプ、9個のスイッチおよび液晶ディスプレイがあります。この章では、これらの基本的な機能について説明します。



ランプ

操作パネルにある10個のランプは、点灯あるいは消灯することによってプリンタの状態を知らせます。

電源ランプ（緑色）

点灯

電源スイッチがON（「|」側）になっています。

消灯

電源スイッチがOFF（「○」側）になっています。

用紙ランプ（赤色）

点灯

用紙が吸入されていません。またはセットされている用紙の印刷領域が少なくなっています。

消灯

用紙が吸入済みです。

印刷可ランプ（緑色）

点灯

セレクト状態（コンピュータからのデータを受信できる印刷可能状態）になっています。

消灯

ディセレクト状態（印刷ができない状態）になっています。

アラームランプ（赤色）

点灯

プリンタに異常が発生しています。

点滅

プリンタ内部電源の交換時期です。

消灯

プリンタが正常な状態です。

インクリボン交換ランプ

点灯

インクリボンの交換時期になっています。

消灯

インクリボンが正常な状態です。

高品位ランプ（橙色）

点灯

印刷モードが高品位印刷（410LPM）になっています。

消灯

高品位印刷が解除されています。

高速ランプ（橙色）

点灯

印刷モードが高速印刷（670LPM）になっています。

消灯

高速印刷が解除されています。

濃度 1 ランプ（橙色）

点灯

印刷濃度が濃度1印刷になっています。

消灯

濃度1印刷が解除されています。

濃度 2 ランプ（橙色）

点灯

印刷濃度が濃度2印刷になっています。

消灯

濃度2印刷が解除されています。

濃度 3 ランプ（橙色）

点灯

印刷濃度が濃度3印刷になっています。

消灯

濃度3印刷が解除されています。

スイッチ

操作パネルには、9個のスイッチがあります。スイッチの中には複数の機能を持つものがありますが、ここでは各スイッチの名称が示している基本的な機能についてのみ説明します。その他の機能については、「プリンタの設定を変更する」(47ページ)で説明します。

【印刷可】 スイッチ

押すごとにセレクト状態（印刷できる状態）とディセレクト状態（印刷できない）状態を切り替えます。セレクト状態（印刷可ランプ点灯）の場合は印刷ができ、ディセレクト状態（印刷可ランプ消灯）の場合は印刷できません。
印刷中にこのスイッチを押すと、データの受信と印刷を停止します。もう1回押すとデータの受信と印刷を再開します。

【改頁】 スイッチ

設定されている用紙長に従い次ページの第1印刷位置へ用紙を送ります。このスイッチは、ディセレクト状態（印刷可ランプ消灯）で有効です。
未印刷データがある場合は未印刷データを印刷後、改ページ動作を行います。

【用紙微調（▲）】 スイッチ

1度押すと、印刷用紙を順方向に約0.15mm（1/168インチ）フィードします。押し続けると4.23mm（1/6インチ）連続フィードします。このスイッチはディセレクト状態（印刷可ランプ消灯）で有効です。プラテンオープンの状態の場合、本スイッチは無効となります。

◇メニューモード機能、メモリスイッチ設定モード時◇
押すごとに設定されたモードに対するパラメータ等を選択できます。

【用紙微調（▼）】 スイッチ

1度押すと、印刷用紙を逆方向に約0.15mm（1/168インチ）でフィードします。押し続けると8.46mm（1/3インチ）連続フィードします。このスイッチはディセレクト状態（印刷可ランプ消灯）で有効です。
用紙が残りが少ない場合（用紙ランプ点灯状態）、プラテンオープンの状態の場合、本スイッチは無効となります。

◇メニューモード機能、メモリスイッチ設定モード時◇
押すごとに設定されたモードに対するパラメータ等を選択できます。

【機能選択】 スイッチ

プリンタの各種状態を設定するメニューモード機能への切り替えに使用します。このスイッチはディセレクト状態（印刷可ランプ消灯）およびトップカバークローズ状態で有効です。

【設定】 スイッチ

上記機能選択で設定したメニューモード機能および、メモリスイッチ設定モードの項目を記憶させるときに使用します。このスイッチは、ディセレクト状態（印刷可ランプ消灯）で有効です。

【インクリボン交換】 スイッチ

インクリボンを交換したときに押します（インクリボン交換ランプ消灯）。

【濃度選択】 スイッチ

押すごとに印刷濃度を濃度1→濃度2→濃度3→通常濃度と切り替えます。[印刷モード選択]スイッチとの組み合わせも可能です。

【印刷モード選択】 スイッチ

押すごとに印刷速度を高品位印刷→高速印刷→通常印刷と切り替えます。[濃度選択]スイッチとの組み合わせも可能です。

※アラーム状態（アラームランプ点灯）の時はすべてのスイッチが無効になります。

【濃度選択】スイッチによる複写枚数の目安

濃度		通常 → 濃			
【濃度選択】スイッチ		通常 全ランプ消灯	濃度 1 ランプ点灯	濃度 2 ランプ点灯	濃度 3 ランプ点灯
複 写 枚 数	感圧紙	5	6	6	8
	裏カーボン紙	5	8	8	8
	ワнтаムカーボン紙	3	3	3	4



- 印刷条件によっては【濃度選択】スイッチで設定した複写枚数が多少異なる場合があります。あらかじめご確認の上、【濃度選択】スイッチで設定してください。またご利用になる用紙の複写枚数に応じて適切な用紙厚に用紙厚セットレバーで設定してください。
- 濃度選択で濃度2、濃度3を選択したときは、通常より印刷速度が遅くなります。濃度選択で濃度1を選択したときは、印刷データによっては通常より印刷速度が遅くなる場合があります。

液晶ディスプレイ

操作パネルには、16桁×2行の液晶ディスプレイがあります。液晶ディスプレイが表示する内容は次の3種類に分けられます。

- ステータス表示： プリンタの特定の状態を表示します。
- エラー表示： 異常が発生したときに、その内容を表示します。
- メニュー表示： メニューモードのときはメニューおよび設定内容を、メモリスイッチ設定モードのときはメモリスイッチ設定内容を表示します。

ここでは、ステータス表示についてその意味を説明します（説明はアルファベット順、アイウエオ順に並んでいます）。エラー表示については5章の「エラー表示」（81ページ）、メニュー表示については「プリンタの設定を変更する」（47ページ）と「メモリスイッチ設定モード」（57ページ）をご覧ください。

FTレバ - オープン	用紙厚セットレバーが開いているとき（奥側）に表示されます。	ディセレクト	プリンタがディセレクト状態（印刷データを受信できない）のときに表示されます。
HEXダンプ	HEXダンプモードのときに表示されます。	データカノコッティマス	未印刷データがプリンタ内に残っている場合に表示されます。残りのデータを送信して印刷するか、[改頁]スイッチを押して残りのデータを印刷してください。未印刷データがなくなるとこの表示は消えます。
イニシャライズチュウ	プリンタの初期化中に表示されます。	テストインサツインジケタスウ##	テスト印刷を行う前に印刷文字数を設定するときに表示されます。
カバーオープン	トップカバーが開いているときに表示されます。	テストインサツインジチュウ	テスト印刷中のときに表示されます。
ジョリチュウ	コンピュータからのデータを処理しているときに表示されます。	プラテンオープン	プラテン開閉レバーの操作により、プラテンが印刷ヘッドから退避しているときに表示されます。
セッテイクリア クリアチュウ	メニューモード機能、メモリスイッチ設定内容を工場設定にリセット実行中に表示されます（「設定内容をリセットする」（61ページ）参照）。	ペーパープレスオープン	ペーパープレスホルダが開いているときに表示されます。
セツペンチュウ	プリンタが節電状態のときに表示されます。	ヨウシヨセツシテクタサイ	用紙がプリンタにセットされていないときに表示されます。
セレクト	プリンタがセレクト状態（印刷データを受信できる状態）のときに表示されます。		

知っているると便利な機能

MultImpact 750/560・N1153-025には「コンピュータからのデータを印刷する」、「用紙を送る」という基本的な機能のほかに、いろいろな機能が用意されています。ここでは、用紙の取り扱いに関すること以外で知っているると便利な機能について説明します。これらの機能の実行は、すべて操作パネルから行うことができます。

なお、プリンタの様々な設定の変更も操作パネルから行うことができます。この後の「プリンタの設定を変更する」(47ページ)で説明します。

テスト印刷

テスト印刷では、すべての内蔵文字フォントを印刷し、プリンタの動作や印刷品質を確認することができます。テスト印刷には381mm(15インチ)幅の連続紙を使用してください。

このテスト印刷は、「5章 故障かな?と思ったら」(79ページ)の処置が済んだ後にも必要に応じて実行することをお勧めします。

印刷範囲がはみ出す用紙は、印刷ハンマやプラテンおよびインクリボンの損傷の原因となることがありますので使用しないでください。

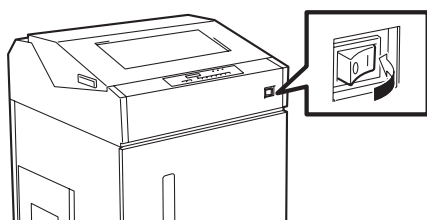
次の手順でテスト印刷を行ってください。

① 381mm(15インチ)幅の連続紙をセットする。

印刷が用紙からはみさないように、必ず381mm(15インチ)幅の連続紙をセットしてください。

② いったん電源スイッチをOFF(「○」側)にし、[改頁]スイッチを押したまま、プリンタ左横にある電源スイッチをON(「|」側)にする。

[改頁]スイッチは液晶ディスプレイに“インサツモード”が表示されるまで押し続けてください。



③ [機能選択]スイッチを押す。

液晶ディスプレイ下段に“インジケタスウ 45”が表示されます。



④ [用紙微調 (▲)] または [用紙微調 (▼)] スwitchを押して印刷文字数を設定する。

印刷文字数は10桁から45桁まで設定することができます。



⑤ 印刷文字数を設定したら、[印刷可]スイッチを押す。

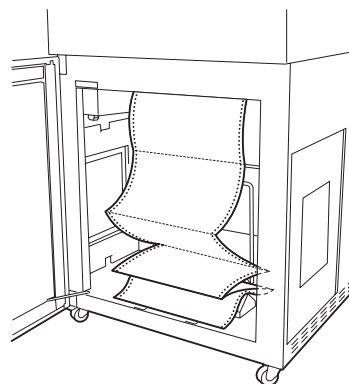
液晶ディスプレイは“インジチュウ”を表示し、テスト印刷が始まります。

テスト印刷中に[印刷可]スイッチを押すと停止します。もう1回押すとテスト印刷を再開します。

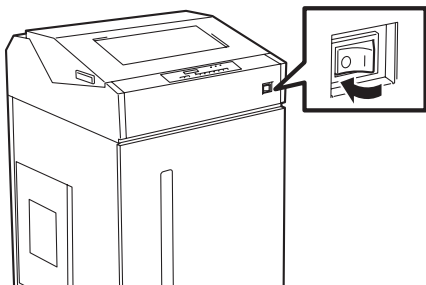


印刷が始まったら、印刷直後の先頭ページがラック上に正常に入っていることを確認してください。また、用紙がミシン目の折り方向に合って折りたたまれていることを確認してください。

途中で用紙がなくなり用紙ランプが点灯したときは、新しい用紙をセットしてから[印刷可]スイッチを押してください。印刷が始まります。



- ⑥ テスト印刷を終了する場合は、[設定] スイッチを押して印刷動作が停止してから電源スイッチをOFF（「○」側）にする。



- ⑦ テスト印刷が終わったら、オンラインマニュアルの「テスト印刷サンプル」を確認して印刷の状態を確認する。

文字の一部が欠けていたり文字の周囲が汚れていたときは1章の「⑥ インクリボン（黒）・リボンカートリッジを取り付ける」（23ページ）に従ってインクリボン（黒）またはリボンサブカセットを取り付け直し、もう一度テスト印刷を行ってください。それでも印刷の状態が良くならない場合には、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口ご連絡してください。

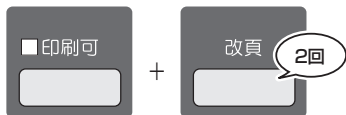
受信データのHEXダンプ

HEXダンプモードは、プリンタの受信データを16進コードで印刷する機能です。自作のプログラムで正しく印刷できないようなとき、その原因を見つけるためにHEXダンプ機能を使います。HEXダンプを行うときは、次の手順に従ってください。

- ① 381mm（15インチ）幅の連続紙をプリンタにセットする。

- ② [印刷可] スイッチを押したまま、[改頁] スイッチを2回続けて押す。

液晶ディスプレイには“HEX ダンプ”と表示されます（未印刷データがあれば、それを印刷した後に表示します）。



- ③ [印刷可] スイッチを押す。



- ④ コンピュータからプリンタへ印刷データを送る。

HEXダンプ印刷が始まります。

HEXダンプを一時中断するときは、[印刷可] スイッチを押します。もう一回押すと再開します。



- ⑤ HEX ダンプを終了させるときは、強制リセットを実行する。

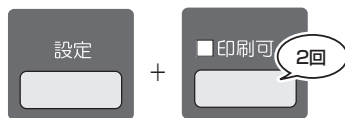
液晶ディスプレイに“イニシャライズチュウ”と表示され、強制リセットされたことがわかります。

また、途中で用紙がなくなり用紙ランプが点灯したときは、新しい用紙をセットしてから [印刷可] スイッチを押してください。続きが印刷されます。

強制リセット

プリンタを電源スイッチON（「|」側）直後の状態（初期状態）に戻したいときは、[設定] スイッチを押したまま、[印刷可] スイッチを続けて2回押します。

液晶ディスプレイに“イニシャライズチュウ”と表示され、強制リセットされたことがわかります。



- 強制リセットを行うと、プリンタ内に残っている未印刷データはすべて消失します。
- 液晶ディスプレイに“プラテンオープン”が表示されている状態、またはアラームランプが点灯している状態（ペーパジャムまたはリボンジャムを除く）ではこの操作を行っても初期化は実行されません。
- 工場出荷時の設定にリセットするときとは異なりますので注意してください。初期状態については、付録の「初期状態」（106ページ）をご覧ください。

プリンタの設定を変更する

MultImpact 750/560・N1153-025では、操作パネルの液晶ディスプレイを見ながらスイッチを押していくことにより、プリンタの様々な設定を変更することができます。この機能をメニューモード機能、およびメモリスイッチ設定モードと呼びます。

通常はプリンタお買い上げ時の設定（工場出荷設定）のままで使用できますが、設定を変更した場合、その設定はプリンタ内部のメモリに記憶され、電源スイッチをON（「I」側）にしたときや強制リセットしたときに呼び出される設定（初期設定）となります。

MultImpact 750/560のメニューモード機能

MultImpact 750/560でのメニューモードの操作や機能について説明します。N1153-025については50ページを参照してください。

メニューモードでパラメータを表示・変更する

- ① 用紙をセットする。
- ② プリンタがディセレクト状態（印刷可ランプ消灯、液晶ディスプレイに“ディセレクト”と表示）になっていることを確認する。



プリンタに用紙がセットされていないと液晶ディスプレイ上に“ディセレクト”と表示されません。用紙をセットしてから以下の操作を行ってください。

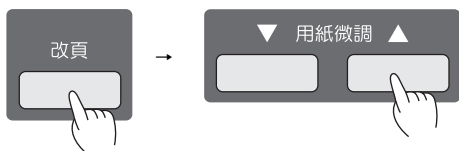
- ③ [機能選択] スイッチを押す。
液晶ディスプレイに“オシラセ ヒョウジ”と表示されます。



- ④ さらに[機能選択] スイッチを押して、目的の項目を表示させる。

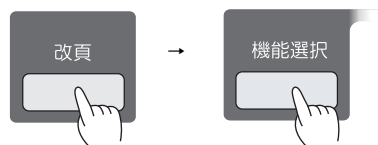


- ⑤ <“オシラセ ヒョウジ”の場合>
 - ① “オシラセ ヒョウジ”と表示されている状態で[改頁] スイッチを1回押す。
 - ② [用紙微調 (▲)] あるいは [用紙微調 (▼)] スイッチを押して、表示のON/OFFを切り替える。



<“ホシュ カウンタ”の場合>

- ① “ホシュ カウンタ”と表示されている状態で[改頁] スイッチを1回押す。
はじめに推奨交換周期（交換の目安）に到達している部品の番号を表示する“オシラセ タイショウブヒン”が表示されます。
- ② [機能選択] スイッチを押す。
押すたびに各部品と現在のカウンタ値、および推奨交換周期（交換の目安）に到達しているか、到達していないかを示す記号がディスプレイの2段目右端に表示されます（“*”は推奨交換周期（交換の目安）に到達、空白は推奨交換周期（交換の目安）に未到達）。



<その他の場合>

[用紙微調 (▲)] あるいは [用紙微調 (▼)] スイッチを押して、パラメータ項目のパラメータの設定変更を行う（それぞれの設定の説明を参照）。

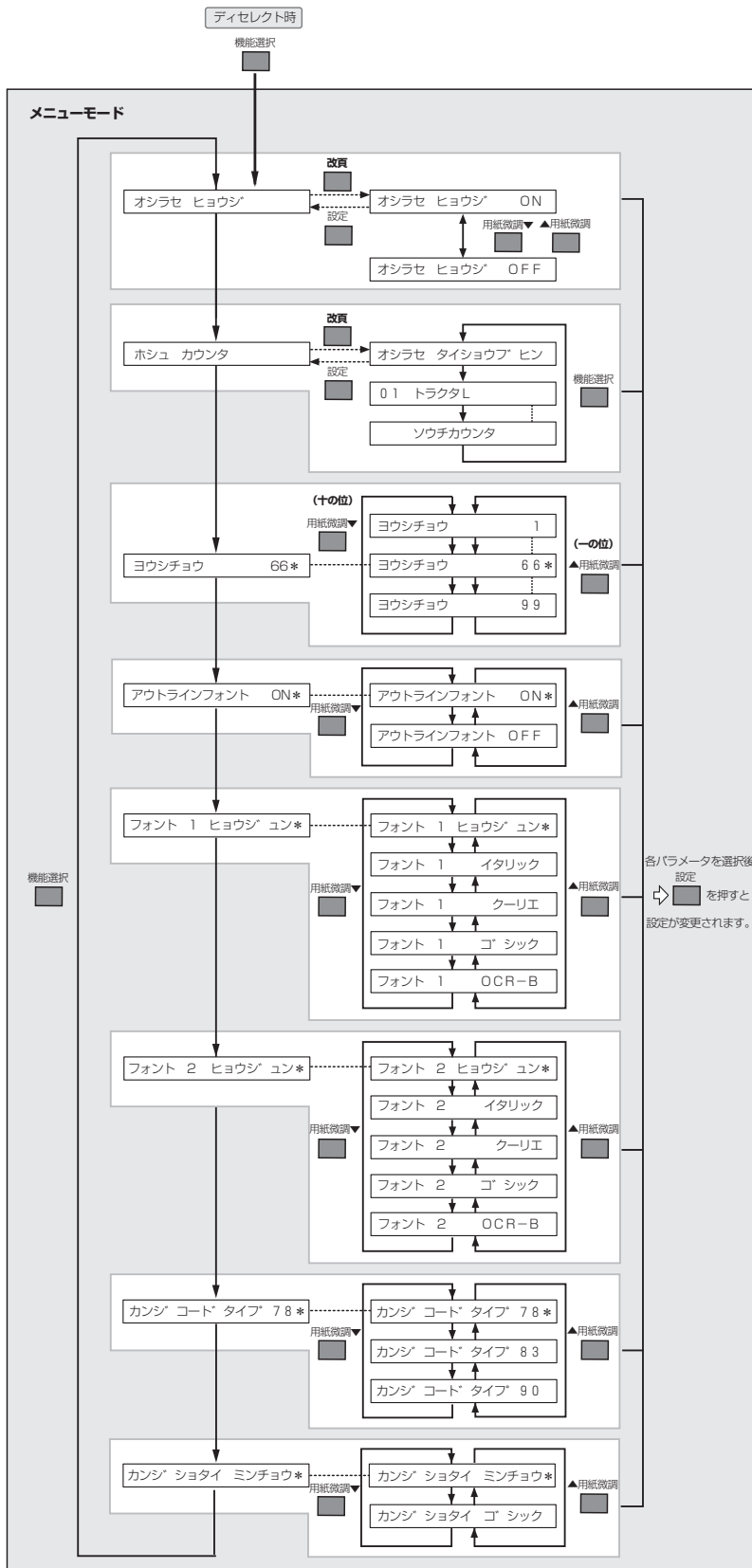


- ⑥ パラメータの確認または変更が終了したら[設定] スイッチを押す。

メニューモードを終了し、変更されたパラメータはプリンタ内に記憶されます。なお、変更したい項目が複数ある場合には、上記3～5の手順を繰り返してください。



メニューモードで設定を変更する操作の流れを次に示します。



各機能項目の説明

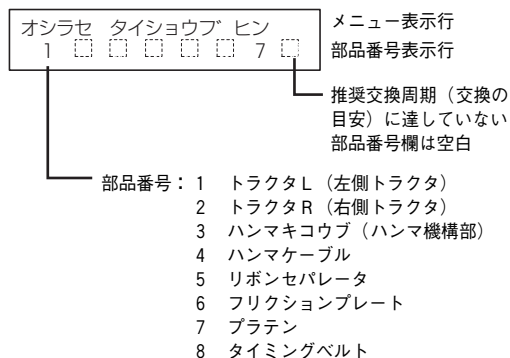
お知らせ表示の設定

有寿命部品表示を有効にするか、無効にするかを設定します。有効（出荷時の設定：ON）にすると、推奨交換周期（交換の目安）に達した有寿命部品の部品名を操作パネルのディスプレイに表示します。無効（OFF）にすると、ディスプレイに表示しません。有寿命部品の推奨交換周期（交換の目安）を促す表示については「有寿命部品について」（11ページ）または「有寿命部品表示」（81ページ）を参照してください。

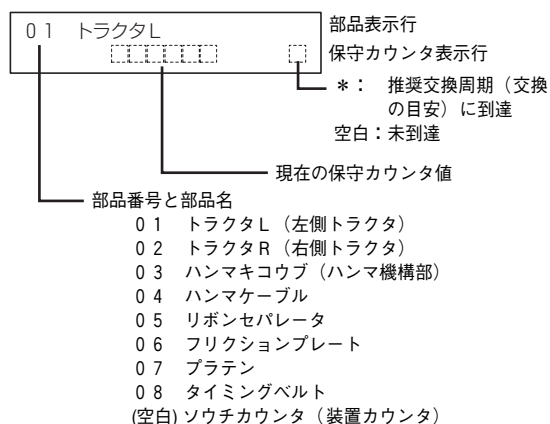
保守カウンタの表示

この項目は有寿命部品の状態を確認するためのものです。“オシラセ タイショウブヒン”には推奨交換周期（交換の目安）に達した有寿命部品の部品番号が表示されます。“オシラセ タイショウブヒン”で「機能選択」スイッチを押すごとに各有寿命部品の部品番号、部品名、およびその保守カウンタ値が表示されます。

トラクタLおよびプラテンが推奨交換周期（交換の目安）に達している場合の表示例



トラクタLの保守カウンタ表示例



用紙長の設定

改頁機能が正しく動作するように、使用する用紙の長さに応じた値を設定します。パラメータは、改行幅 4.23mm（1/6 インチ）を基準として、その行数を設定します。設定範囲は1行から99行までです。使用するソフトウェアまたはOSが用紙長を管理している場合、本設定は無効になることがあります。

アウトラインフォント設定

- 日本語モード（2バイト系文字）において、拡大印刷（2×2倍以上）を行う場合、アウトラインフォント（輪郭をなめらかにした字体）を使用するかどうかを選択します。本設定は、OS環境に関係なく機能します。また、ソフトウェアによる設定は行えません。
- アウトラインフォント使用を選択すると、印刷のための処理に時間がかかり、印刷速度が遅くなる場合があります。
- 次の場合にはアウトラインフォント印刷は無効となります。
 - 外字を印刷するとき
 - 拡大文字印刷にワープロソフト独自の文字を使うような一部のワープロソフトを使用しているとき
- アウトラインフォントの設定をOFFにした状態で電源スイッチをOFF→ONにすると、アウトラインフォント設定はONに戻ります。

フォント 1選択

ANKモード（1バイト系文字）において、印刷するANK文字フォントの選択を行います。

フォント 2選択

ANKモード（1バイト系文字）において、印刷するANK文字フォントの選択を行います。

漢字コード選択

1978年版のJIS漢字コード表、1983年版のJIS漢字コード表および1990年版JIS漢字コード表のいずれかを選択する場合に使用します。

漢字書体選択

明朝体、またはゴシック体のどちらかの書体を選択します。

N1153-025のメニューモード機能

N1153-025でのメニューモードの操作や機能について説明します。MultilImpact 750/560については47ページを参照してください。

またN1153-025では、「N1153-001互換モード」と「N5263-71A/N7860-03A互換モード」によって操作や機能が異なります。「N1153-001互換モード」についてはこの後の説明を、「N5263-71A/N7860-03A互換モード」については53ページを参照してください。

N1153-001互換モードでパラメータを表示・変更する

① 用紙をセットする。

② プリンタがディセレクト状態（印刷可ランプ消灯、液晶ディスプレイに“ディセレクト”と表示）になっていることを確認する。



プリンタに用紙がセットされていないと液晶ディスプレイ上に“ディセレクト”と表示されません。用紙をセットしてから以下の操作を行ってください。

③ [機能選択] スイッチを押す。

液晶ディスプレイに“オシラセ ヒョウジ”と表示されます。

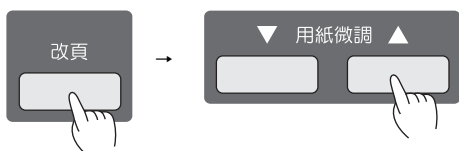


④ さらに[機能選択] スイッチを押して、目的の項目を表示させる。



⑤ <“オシラセ ヒョウジ”の場合>

- ① “オシラセ ヒョウジ”と表示されている状態で[改頁]スイッチを1回押す。
- ② [用紙微調 (▲)] あるいは [用紙微調 (▼)] スイッチを押して、表示のON/OFFを切り替える。



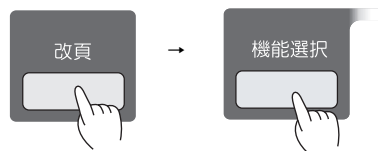
<“ホシュ カウンタ”の場合>

① “ホシュ カウンタ”と表示されている状態で[改頁]スイッチを1回押す。

はじめに推奨交換周期（交換の目安）に到達している部品の番号を表示する“オシラセ タイショウピン”が表示されます。

② [機能選択] スイッチを押す。

押すたびに各部品と現在のカウンタ値、および推奨交換周期（交換の目安）に到達しているか、到達していないかを示す記号がディスプレイの2段目右端に表示されます（“*”は推奨交換周期（交換の目安）に到達、空白は推奨交換周期（交換の目安）に未到達）。



<その他の場合>

[用紙微調 (▲)] あるいは [用紙微調 (▼)] スイッチを押して、パラメータ項目のパラメータの設定変更を行う（それぞれの設定の説明を参照）。

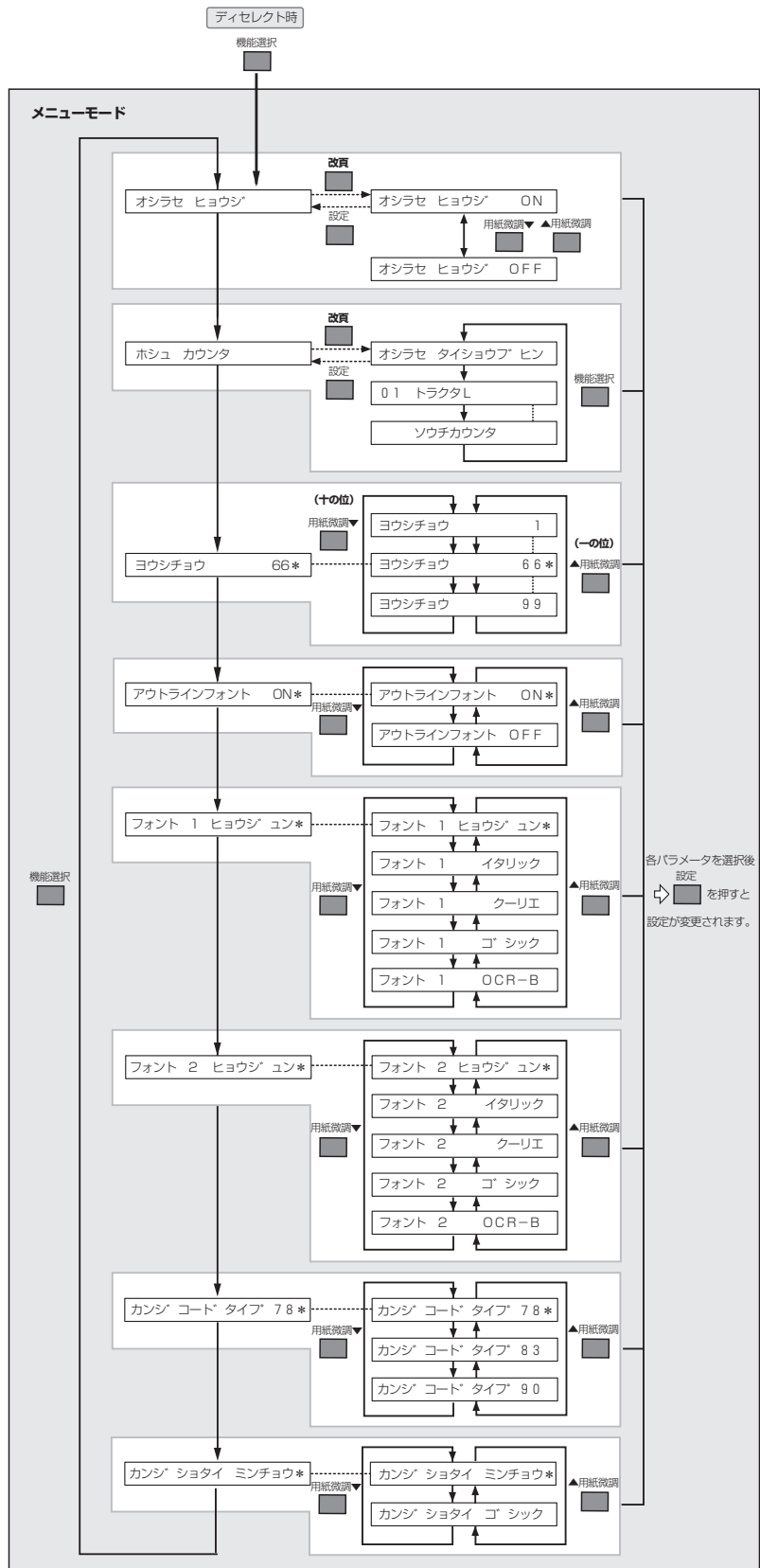


⑥ パラメータの確認または変更が終了したら[設定]スイッチを押す。

N1153-001互換モードでのメニューモードを終了し、変更されたパラメータはプリンタ内に記憶されます。なお、変更したい項目が複数ある場合には、上記3～5の手順を繰り返してください。



N1153-001互換モードで設定を変更する操作の流れを次に示します。



各機能項目の説明

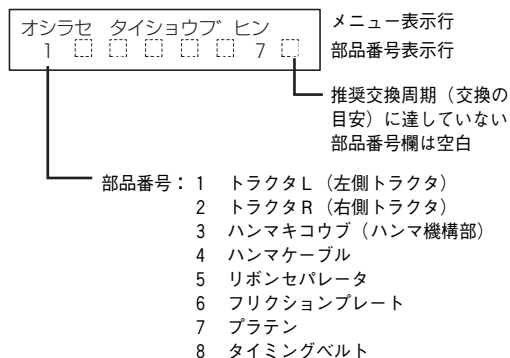
お知らせ表示の設定

有寿命部品表示を有効にするか、無効にするかを設定します。有効（出荷時の設定：ON）にすると、推奨交換周期（交換の目安）に達した有寿命部品の部品名を操作パネルのディスプレイに表示します。無効（OFF）にすると、ディスプレイに表示しません。有寿命部品の推奨交換周期（交換の目安）を促す表示については「有寿命部品について」（11ページ）または「有寿命部品表示」（81ページ）を参照してください。

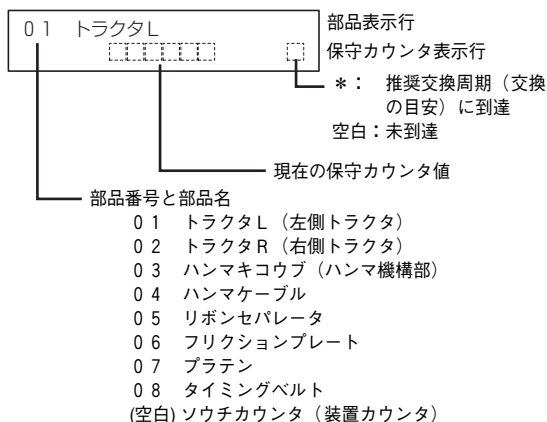
保守カウンタの表示

この項目は有寿命部品の状態を確認するためのものです。“オシラセ タイショウブヒン”には推奨交換周期（交換の目安）に達した有寿命部品の部品番号が表示されます。“オシラセ タイショウブヒン”で〔機能選択〕スイッチを押すごとに各有寿命部品の部品番号、部品名、およびその保守カウンタ値が表示されます。

トラクタLおよびプラテンが推奨交換周期（交換の目安）に達している場合の表示例



トラクタLの保守カウンタ表示例



用紙長の設定

改頁機能が正しく動作するように、使用する用紙の長さに応じた値を設定します。パラメータは、改行幅 4.23mm（1/6 インチ）を基準として、その行数を設定します。設定範囲は1行から99行までです。使用するソフトウェアまたはOSが用紙長を管理している場合、本設定は無効になることがあります。

アウトラインフォント設定

- 日本語モード（2バイト系文字）において、拡大印刷（2×2倍以上）を行う場合、アウトラインフォント（輪郭をなめらかにした字体）を使用するかどうかを選択します。本設定は、OS環境に関係なく機能します。また、ソフトウェアによる設定は行えません。
- アウトラインフォント使用を選択すると、印刷のための処理に時間がかかり、印刷速度が遅くなる場合があります。
- 次の場合にはアウトラインフォント印刷は無効となります。
 - 外字を印刷するとき
 - 拡大文字印刷にワープロソフト独自の文字を使うような一部のワープロソフトを使用しているとき
- アウトラインフォントの設定をOFFにした状態で電源スイッチをOFF→ONにすると、アウトラインフォント設定はONに戻ります。

フォント 1選択

ANKモード（1バイト系文字）において、印刷するANK文字フォントの選択を行います。

フォント 2選択

ANKモード（1バイト系文字）において、印刷するANK文字フォントの選択を行います。

漢字コード選択

1978年版のJIS漢字コード表、1983年版のJIS漢字コード表および1990年版JIS漢字コード表のいずれかを選択する場合に使用します。

漢字書体選択

明朝体、またはゴシック体のどちらかの書体を選択します。

N5263-71A/N7860-03A互換モードでパラメータを変更する

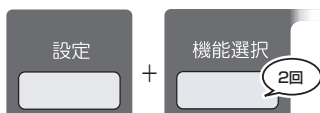
- ① 用紙をセットする。
- ② プリンタがディセレクト状態（印刷可ランプ消灯、液晶ディスプレイに“ディセレクト”と表示）になっていることを確認する。

—  チェック —

プリンタに用紙がセットされていないと液晶ディスプレイ上に“ディセレクト”と表示されません。用紙をセットしてから以下の操作を行ってください。

- ③ [設定] スイッチを押したまま、[機能選択] スイッチを2回続けて押す。

液晶ディスプレイに“ヨウシチョウ”と表示されます。



- ④ さらに[機能選択] スイッチを押して、設定・変更したいパラメータ項目を選択する。



- ⑤ [用紙微調 (▲)] あるいは [用紙微調 (▼)] スイッチを押して、パラメータ項目のパラメータの設定変更を行う（それぞれの設定の説明を参照）。



- ⑥ パラメータの変更が終了したら [設定] スイッチを押す。

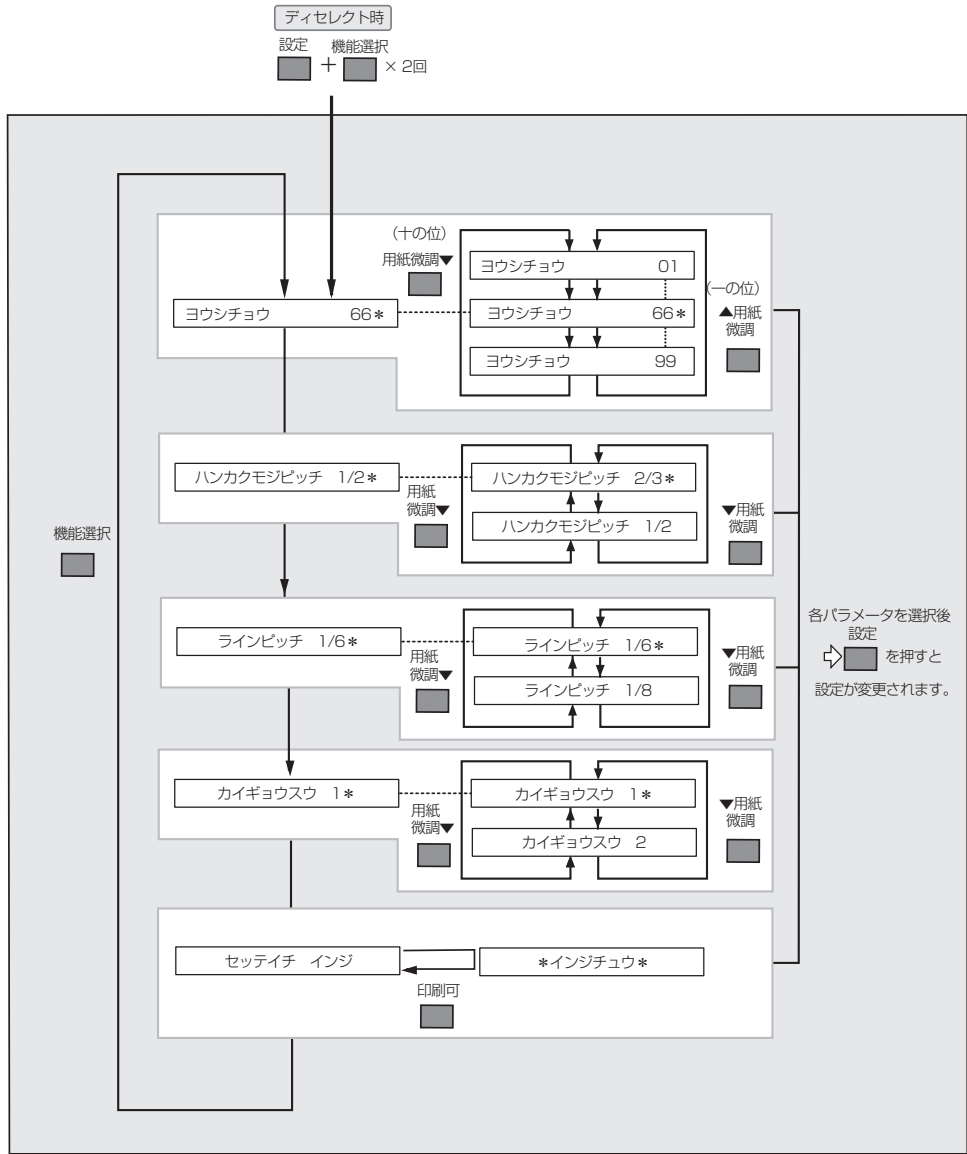
N5263-71A/N7860-03A 互換モードでのメニューモードを終了し、変更されたパラメータが設定されます。なお、変更したい項目が複数ある場合には、上記3、4の手順を繰り返してください。



2

プリンタを使いこなそう

N5263-71A/N7860-03A互換モードで設定を変更する操作の流れを次に示します。



各機能項目の説明

用紙長の設定

改頁機能が正しく動作するように、使用する用紙の長さに応じた値を設定します。パラメータは、改行幅 4.23mm（1/6 インチ）を基準として、その行数を設定します。設定範囲は 1 行から 99 行までです。使用するソフトウェアまたは OS が用紙長を管理している場合、本設定は無効になることがあります。

半角文字ピッチ切り替え

1/2 または 2/3 のどちらかに桁方向の半角文字ピッチを選択します。

改行ピッチ切り替え

4.23mm（1/6 インチ）または 3.18mm（1/8 インチ）のどちらかに改行ピッチを選択します。

改行数切り替え

1 または 2 のどちらかに改行数を選択します。（N5263-71A/N7860-03A 互換モードでは、用紙長設定の基準は 4.23mm（1/6 インチ）の場合と 3.18mm（1/8 インチ）の場合があります。）

設定値印字

現在設定されている内容を印刷します。



2

プリンタを使いこなそう

N1153-025の内部設定を変更する

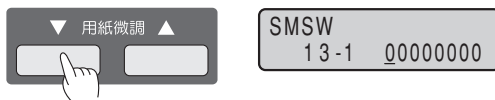
N1153-025をN5263-71Aプリンタ互換として使用する場合には、プリンタの内部設定を変更する必要があります。プリンタの動作確認を行う前に、内部設定を変更してください。
設定方法は次のとおりです。

メモリスイッチの変更

- ① プリンタの電源スイッチをOFF（「○」側）にする。
- ② [印刷可] スイッチと[設定] スイッチを押したまま電源をONにする。



- ③ [用紙微調 (▼)] スイッチを5回押す。



- ④ [機能選択] スイッチを1回押す。

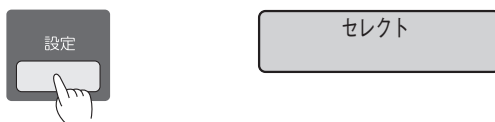


- ⑤ [印刷可] スイッチを押す。



- ⑥ [設定] スイッチを押す。

液晶ディスプレイには以下のとおり表示されます。
内部設定変更処理のため表示にしばらく時間がかかります。



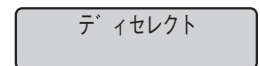
✓ チェック
手順に示す以外の操作は行わないでください。

メニューの変更

- ① プリンタの電源スイッチをON（「|」側）にする。
- ② 用紙をセットする。

✓ チェック
プリンタに用紙がセットされていないと液晶ディスプレイ上にディセレクトが表示されません。用紙をセットしてから以下の操作を行ってください。

- ③ プリンタがディセレクト状態（印刷可ランプ消灯、液晶ディスプレイに“ディセレクト”表示）になっていることを確認する。



- ④ [設定] スイッチを押したまま、[機能選択] スイッチを2回続けて押す。



- ⑤ [機能選択] スイッチを1回押す。



- ⑥ [用紙微調 (▲)] または [用紙微調 (▼)] スイッチを押す。



- ⑦ [設定] スイッチを押す。



メモリスイッチ設定モード

MultilImpact 750/560・N1153-025には、32個のメモリスイッチ（Memory Switch：MSW と略す。機械的なスイッチではなく、ソフトウェアスイッチ）が内蔵されていて、各メモリスイッチの状態（ON/OFF）を切り替えることによって様々な機能を設定することができます。

メモリスイッチとは、電源スイッチのように機械的なものではなく、ON/OFFの設定を電氣的に切り替え、記憶するものです。

メモリスイッチの機能とON/OFFに対応する設定内容は次のとおりです。（【 】の設定が工場出荷設定です。）

MSW	内容	OFF	ON
1-1～1-3	各国文字の切り替え	3つのスイッチのON/OFFの組み合わせにより、【日本】、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンが切り替わります。	
1-4	未使用		
1-5	DC1／DC3の有効／無効の切り替え	【有効】	無効
1-6	自動復帰改行の切り替え	【復帰改行】	復帰のみ
1-7	印刷指令コードの切り替え	【CR】	CR+その他
1-8	CR機能の切り替え	【復帰のみ】	復帰改行
2-1	1バイト系の数字ゼロの字体の切り替え	【0】	Ø
2-2	ドラフト解除コード受信時の印刷モードの切り替え	【通常】	高品位
2-3	ドット対応グラフィックのドット数の切り替え*1	【ネイティブモード】	コピーモード
2-4	コンピュータからの印刷モード切り替え	【有効】	無効
2-5	コンピュータからの濃度選択切り替え	【有効】	無効
2-6	7ビット／8ビットデータの切り替え	【8ビット】	7ビット
2-7	用紙無し時の受信データ処理切り替え	【捨てる】	捨てない
2-8	ペーバジャム／リボンジャム時の復旧切り替え	【POW OFF/ON、強制リセット】	ブラテン開閉レバーの開閉
3-1	（未使用）		
3-2	ビジブル動作の有効／無効の切り替え	【有効】	無効
3-3	バーコード／OCR印刷時の印刷モード自動切り替え	【無効】	有効
3-4	プリンタドライバの切り替え	【750/560(168)】	750/560(160)
3-5	ポート選択方法の切り替え	【先に受信したポート】	どちらか固定
3-6	ポートの選択	【LAN】	パラレル
3-7	2バイト系の数字ゼロの字体の切り替え	【0】	Ø
3-8	節電機能の切り替え	【有効】	無効
4-1	（未使用）		
4-2 4-3	濃度選択	2つのスイッチのON/OFFの組み合わせにより、【標準】、濃度1、濃度2、濃度3に切り替わります。	
4-4	自動排出の切り替え	【自動排出なし】	自動排出あり
4-5 4-6	印刷モードの切り替え	2つのスイッチのON/OFFの組み合わせにより高速モード、高品位モード、【標準モード】に切り替わります。	
4-7	EMコードの有効／無効の切り替え	【有効】	無効
4-8	バーコードパターンの切り替え	【幅広パターン】	新情報パターン

^{*1} 制御コードを使って設定を変えることができます。（初期状態になるとメモリスイッチの設定内容に戻ります。）

メモリスイッチの変更方法

- ① [印刷可] スイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをON (「|」側) にする。

液晶ディスプレイに“MSW1-1 00000000”と表示されます。



- ② [機能選択] スイッチまたは [用紙微調 (▲/▼)] スイッチを押して、設定変更したいメモリスイッチを選択する。



- ③ [印刷可] スイッチを押してメモリスイッチの設定変更を行う。

それぞれの設定の説明を参照してください。



- ④ メモリスイッチの設定変更が終了したら [設定] スイッチを押す。

イニシャライズ動作を行ってセレクト状態になります。なお、変更したい設定が2項目以上ある場合には、上記の手順2、3を繰り返してください。



メモリスイッチの機能

MSW1-1～1-3	各国文字の切り替え 各国文字を日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンのいずれかに切り替えます。58ページの表以外の組み合わせのときは、すべてスウェーデン文字となります。
MSW1-5	DC1/DC3の有効/無効の切り替え 制御コードDC1とDC3の制御コードを有効にするか無効にするかを切り替えます。
MSW1-6	自動復帰改行の切り替え データがライトマージンを越えたとき、復帰のみの動作を行うか復帰改行動作を行うかを切り替えます。
MSW1-7	印刷指令コードの切り替え 制御コードCRを受信したときのみ印刷を開始するか、CR、LF、VT、FFのいずれかを受信すれば印刷を開始するかを切り替えます。
MSW1-8	CR機能の切り替え 制御コードCRの機能を復帰のみにするか復帰改行にするかを切り替えます。
MSW2-1	1バイト系の数字「0」の字体の切り替え 8ビットコード表、7ビットコード表の数字ゼロを“0”と印刷するか“0̄”と印刷するかを切り替えます。
MSW2-2	ドラフト解除コード受信時の印刷モード切り替え コンピュータからのドラフト解除コードを受信したとき、印刷モードを通常モードにするか高品位モードにするかを切り替えます。
MSW2-3	ドット対応グラフィックのドット数の切り替え グラフィック（ドット列印刷）モードの横ドット数をネイティブモードにするかコピーモードにするかを切り替えます。コピーモードでの横ドット数はネイティブモードでの1/2になります。
MSW2-4	コンピュータからの印刷モードの切り替え コンピュータからの印刷モード切り替えを有効にするか無効とするかを切り替えます。

MSW2-5	コンピュータからの濃度選択の切り替え コンピュータからの濃度選択切り替えを有効にするか無効とするかを切り替えます。
MSW2-6	7ビット／8ビットデータの切り替え インタフェースのデータが8ビット有効か7ビット有効かを切り替えます。 ドット列印刷モードでのデータ転送は、このメモリスイッチの設定によらず8ビット有効です。
MSW2-7	用紙無し時の受信データ処理の切り替え 印刷途中で用紙無しが発生した場合、用紙無し発生ページのデータを捨てるか、捨てないかを切り替えます。
MSW2-8	ペーパージャム／リボンジャム時の復旧方法の切り替え ペーパージャム／リボンジャムが発生した場合の復旧方法を電源OFF/ONまたは強制リセットのみとするか、プラテン開閉レバーの開閉動作とするかを切り替えます。
MSW3-2	ビジブル動作の有効／無効の切り替え カバー開時のビジブル動作を有効にするか無効にするかを切り替えます。設定を有効にするには電源の再投入が必要です。
MSW3-3	バーコード／OCR-B相当印刷時の印刷モード自動切り替え バーコードまたはOCR-B相当を印刷時、高品位モードへの自動切り替えを有効とするか無効とするかを切り替えます。
MSW3-4	プリンタドライバの切り替え Multilimpact 750/560 (168) とMultilimpact 750/560 (160) とのどちらを使用するかを切り替えます。
MSW3-5	ポート選択方法の切り替え パラレルポートとLANポートの選択を先にデータを受信したポートとするか、どちらか固定とするかを切り替えます。設定を有効にするには電源の再投入が必要です。
MSW3-6	ポートの選択 MSW3-5をONにした場合、ポートをパラレルにするかLANにするかを選択します。 設定を有効にするには電源の再投入が必要です。
MSW3-7	2バイト系の数字「0」の字体の切り替え 漢字コード表の半角および全角の数字ゼロを“0”と印刷するか“0”と印刷するかを切り替えます。
MSW3-8	節電機能の切り替え 5分以上、印刷動作やスイッチ動作が行われなかった場合、節電機能を有効にするか、無効にするかを切り替えます。
MSW4-2～4-3	濃度選択 印刷濃度の初期設定を標準、濃度1、濃度2、濃度3のいずれかに切り替えます。
MSW4-4	自動排出の切り替え コンピュータからのデータ転送終了後、約15秒たっても再度データが転送されない場合、待機中のデータを自動排出するか、しないかを切り替えます。
MSW4-5～4-6	印刷モードの切り替え 印刷モードの初期設定を高品位モード、高速モード、標準モードのいずれかに切り替えます。58ページの表以外の組み合わせの時は、すべて標準モードとなります。
MSW4-7	EMコードの有効／無効の切り替え EMコードを受信したとき、同期するか、しないかを切り替えます。
MSW4-8	バーコードパターンの切り替え バーコードパターン初期設定を幅広にするか新情報パターンにするかを切り替えます。

設定内容をリセットする

変更した設定内容を一度にリセットすることができます。設定内容のリセットは、すべての設定内容（メニューモード、メモリスイッチ）を工場出荷設定に戻します。



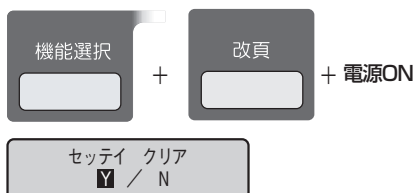
チェック

強制リセット（46ページ）とは異なり、すべての設定を工場出荷時の状態にリセットしますので注意してください。

- ① プリンタの電源スイッチをOFF（「○」側）にする。
- ② [改頁] スイッチと[機能選択] スイッチを押しながら電源スイッチをON（「|」側）にする。

液晶ディスプレイに“セッテイクリア Y/N”と表示されます。

設定内容のリセットを中止したいときは[機能選択] スイッチを押し、“N”を選択して[設定] スイッチを押すと、リセットせずにセレクト状態に戻ります。



- ③ [設定] スイッチを押す。



セッテイ クリア
クリアチュウ

これで設定内容はリセットされます。

2

プリンタを使いこなそう

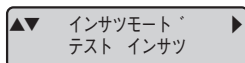
設定内容を印刷する

現在設定されている内容（メモリスイッチ、メニュー、印刷モード）を印刷します。

Multilimpact 750/560

- ① プリンタの電源スイッチをOFF（「○」側）にする。
[改頁] スイッチを押しながら電源スイッチをON（「|」側）にする。

液晶ディスプレイに“インサツモード”が表示されます。

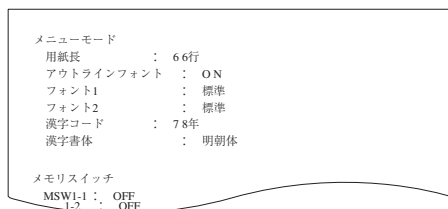


- ② [用紙微調 (▼)] スイッチを押してディスプレイ下段に“セッテイチ インジ”を表示させます。



- ③ [印刷可] スイッチを押す。

設定内容が印刷されます。



印刷例

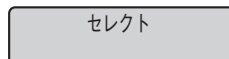
- ④ 終了する場合は、印刷動作が停止してから[設定] スイッチを押す。



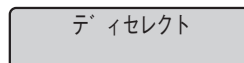
また、途中で用紙がなくなり用紙ランプが点灯したときは、新しい用紙をセットしてから[印刷可] スイッチを押してください。最初から印刷されます。

N1153-025

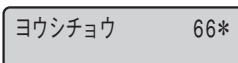
- ① プリンタの電源スイッチをON（「|」側）にする。



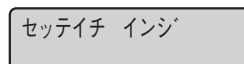
- ② [印刷可] スイッチを押して、ディスプレイに“ディセレクト”を表示させる。



- ③ [設定] スイッチを押したまま[機能選択] スイッチを続けて押す。

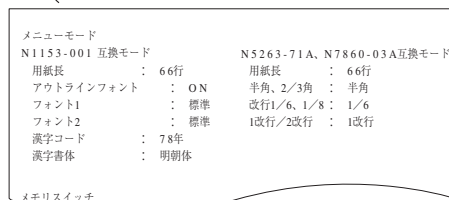


- ④ [機能選択] スイッチを4回押す。



- ⑤ [印刷可] スイッチを押す。

設定内容が印刷されます。



印刷例

- ⑥ 終了する場合は、印刷動作が停止してから[設定] スイッチを押す。



また、途中で用紙がなくなり用紙ランプが点灯したときは、新しい用紙をセットしてから[印刷可] スイッチを押してください。最初から印刷されます。

3章 オプション



3

オプション

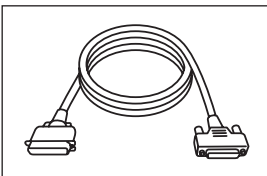
この章では、MultiImpact 750/560・N1153-025に取りそろえられているオプション品を紹介します。オプションの増設等は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口におたずねください。

オプション・消耗品の紹介

オプション品のご購入にあたりましては、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

MultiImpact 750/560用

オプション



プリンタケーブル PC-CA205 (4m)、PC-PRCA-01 (1.5m)

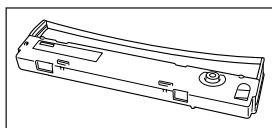
PC98-NXシリーズを含むIBM/AT互換機（DOS/V対応機）に対応したケーブルです。PC-PRCA-01はケーブル長が短いため、PC-CA205の使用をお勧めします。



- コンピュータ本体とプリンタの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンタバッファ、プリンタ切替器、プリンタ共有器などを使用すると、プリンタの機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。
- ネットワークに接続する場合は専用のネットワークケーブルが必要です。
- 対応コンピュータについての最新情報はカタログや情報サービスで提供しています。

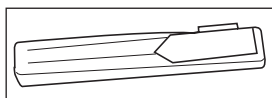
消耗品

本プリンタは、NEC純正消耗品とあわせてご使用いただくことにより、印刷品質やプリンタ本来の性能を安定して発揮できるよう設計しております。純正品と異なる仕様の消耗品を使用した場合、プリンタ本来の性能を発揮できない場合がありますので、NEC純正消耗品のご使用をお勧めします。



インクリボン（黒）（型番PR750/360-01）

交換用インクリボンを収納するカセットで、インクリボンが収納されています。交換用インクリボンを10回まで交換可能です。ただしこれ以上使用すると、ローラ回転不良などリボン走行の障害の原因となります。プリンタお買い上げ時に本インクリボン（黒）が1個添付されています。



交換用インクリボン（黒）（型番PR750/360-02）

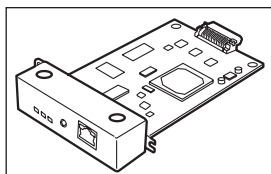
黒単色印刷のためのインクリボンです。インクリボン交換ランプまたは印刷が薄くなったら交換します。



チェック

- 1本あたり、漢字で約500万字印刷できます。
- 濃度選択で濃度3を選択しますと2重印刷になりますので、インクリボン寿命が早まります。
- 印刷品位を保つために、インクリボンは使用期限内にお使いください。

オプション



ネットワークプリンタ接続ボード (型番N1154-033)

100BASE-TX、10BASE-Tインタフェースを装備したプリンタ接続ボードです。N1123-01A（またはN1133-01A）互換でご使用いただけます。

- MultiImpact 750/560に接続してのご使用は動作保証していません。N1153-025でのご使用のみ対応しています。
- 必須ソフトウェアもありますので、販売店へご相談ください。



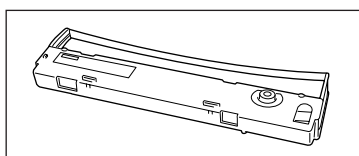
イメージ処理機構 (型番N1154-030)

イメージ処理機構は、プリンタの印刷機能、印刷性能を向上させるオプションです。以下のとおり、プリンタの用途に応じて増設してください。

- MultiImpact 750/560に接続してのご使用は動作保証していません。N1153-025でのご使用のみ対応しています。
- N5263-71A（またはN7860-03A）互換モードでイメージ印刷を行うときはイメージ処理機構が必須です。ただし自動表示モードで非圧縮イメージを印刷する場合には、このオプションは不要です。

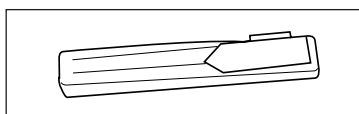
消耗品

本プリンタは、NEC純正消耗品とあわせてご使用いただくことにより、印刷品質やプリンタ本来の性能を安定して発揮できるよう設計しております。純正品と異なる仕様の消耗品を使用した場合、プリンタ本来の性能を発揮できない場合がありますので、NEC純正消耗品のご使用をお勧めします。



リボンカートリッジ (型番 EF-1285BA)

インクリボンを収納するカセットで、インクリボン（詰替用）を10回まで交換可能です。ただしこれ以上使用すると、ローラ回転不良などリボン走行の障害の原因となります。プリンタお買い上げ時に本リボンカートリッジが1個添付されています。



リボンサブカセット (型番 EF-1285BS)

黒単色印刷のためのインクリボンです。インクリボン交換ランプまたは印刷が薄くなったら交換します。



チェック

- 1本あたり、漢字で約500万字印刷できます。
- 濃度選択で濃度3を選択しますと2重印刷になりますので、インクリボン寿命が早まります。
- 印刷品位を保つために、インクリボンは使用期限内にお使いください。

ネットワークプリンタ接続ボードの取り付け

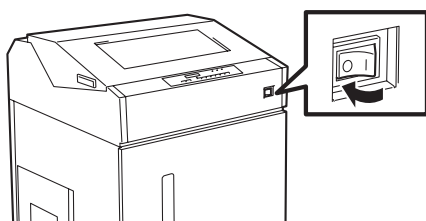
次の手順に従ってネットワークプリンタ接続ボード（ここではまとめて「ボード」と呼びます）を取り付けて動作確認をします。

取り付け

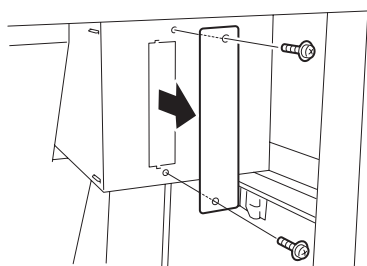
- ① プリンタの正面右側にある電源スイッチをOFF（「○」側）にする。



ネットワークプリンタ接続ボードの取り付け・取り外しは必ずプリンタの電源をOFFにしてから行ってください（ネットワークプリンタ接続ボードの取り付け・取り外しには、プラスドライバーが必要となります）。

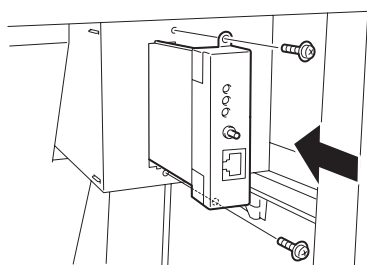


- ② ブランクプレートを固定しているネジ2本を外し、ブランクプレートを取り外す。

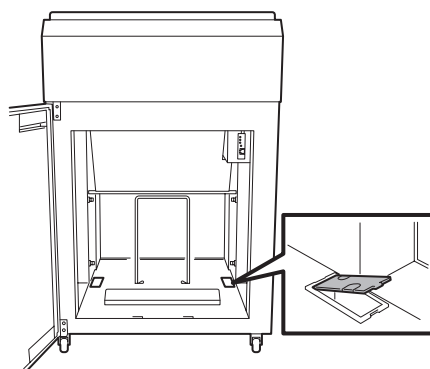


- ③ ネットワークプリンタ接続ボードとシャーシの上下の溝を合わせ押し込む。

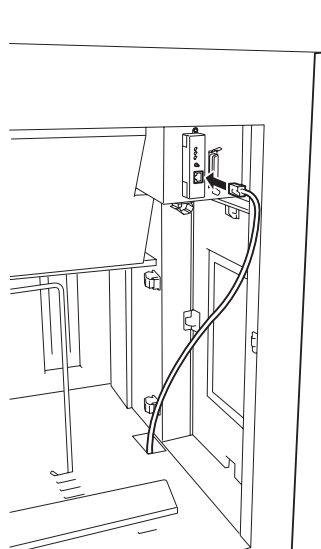
- ④ ネジ2本でネットワークプリンタ接続ボードを固定する。



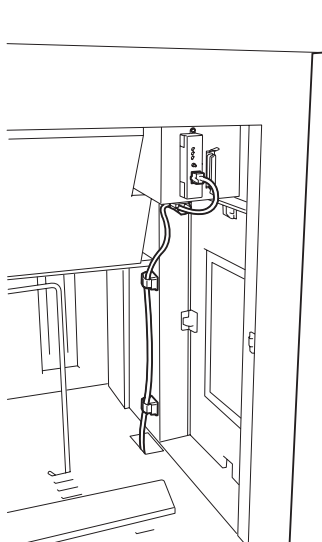
- ⑤ キャビネット内の底面右側のケーブル挿入口のカバーを下から押し上げるようにして取り外す。



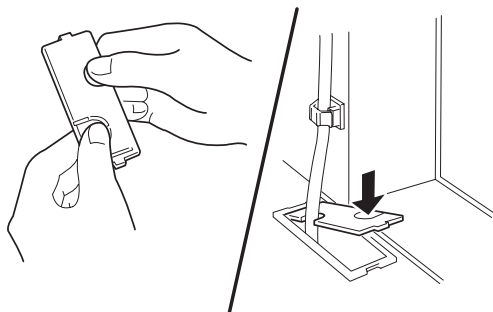
- ⑥ ネットワークプリンタ接続ボードにLANケーブルのコネクタを接続する。



- ⑦ ケーブルを筐体内側のクランプに取り付ける。



- ⑧ 手順2で取り外したカバーのツメを折り、キャビネット内底面のケーブル挿入口にカバーを取り付ける。



- ⑨ コンフィグレーション印刷による動作確認を行う。

「コンフィグレーション印刷による動作確認」(68ページ)を参照して動作確認を行ってください。



ボードの取り外しは取り付けの逆の手順で行ってください。

3

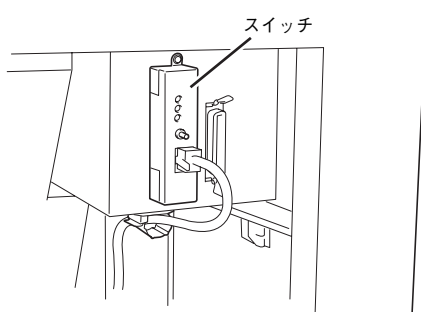
オプション

コンフィグレーション印刷による動作確認

- ① プリンタの電源スイッチをON（「I」側）にする。
- ② プリンタが正常に立ち上がり、印刷可能な状態であることを確認してから、ボードのブラケットにあるスイッチを1回（約5秒）押す。



- ネットワークプリンタ接続ボードのスイッチは、5秒以上押し続けしないでください。
- 下図はLANボードでの例です。ネットワークプリンタ接続ボードの場合はスイッチの位置が多少異なります。



- ③ 下記のような印刷結果が得られることを確認する。

モデルにより、一部下記印刷例と相違する場合があります。

NEC LAN Board Configuration Page

Release XX.XX X NEC Ethernet XXXX
©Copyright 1992-1995 ITC Ltd.

Node Address : XX:XX:XX:XX:XX:XX

⋮



本プリンタは、ここで説明したオプションのボードを装着したまま本体標準装備の平行ポートまたはボードのインタフェースポートのいずれかを利用することができます。プリンタの電源ONから印刷が可能な状態になった後、最初にデータを受信したポートを自動的に選択します。

以降は、選択された方のポートから受信したデータを処理します（解除は電源スイッチをOFFにしてください）。平行ポートまたはボードのインタフェースポートを固定で使用する場合は、メモリスイッチMSW3-5、3-6の設定を変更してください（2章の「メモリスイッチ設定モード」（57ページ）参照）。

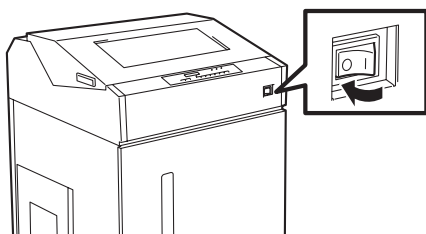
イメージ処理機構の取り付け

N5263-71A/N7860-03A互換モードでイメージ印刷を行うときはイメージ処理機構が必須です。

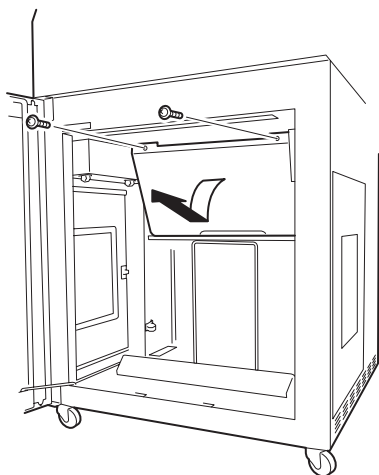
- ① プリンタの正面右側にある電源スイッチをOFF (「〇」側) にする。

—  チェック —

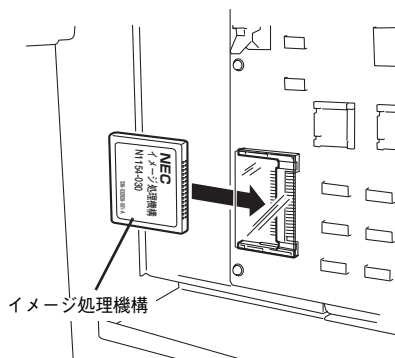
イメージ処理機構の取り付け・取り外しは、必ずプリンタの電源をOFFにしてから行ってください(イメージ処理機構の取り付け・取り外しには、プラスドライバーが必要となります)。



- ② コントローラカバーASSYを固定しているネジ2本を外し、カバー上端を開きながら取り外す。

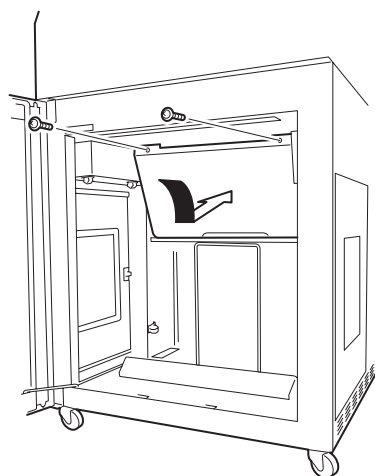


- ③ イメージ処理機構の製品名を手前に、コネクタ面を右に向け、プリンタのボード左下にある拡張用スロット2にゆっくりとしっかり差し込む。



- ④ コントローラカバー ASSY 下端をフレームに合わせて閉め、ネジ2本で固定する。

イメージ処理機構の取り外しは取り付けの逆の手順で行ってください。



3

オプション

4章

日常の保守

清掃

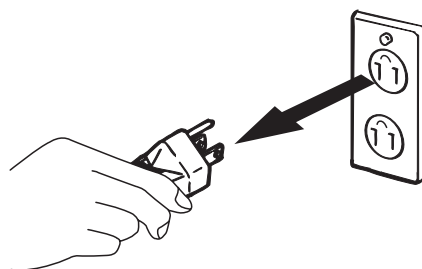
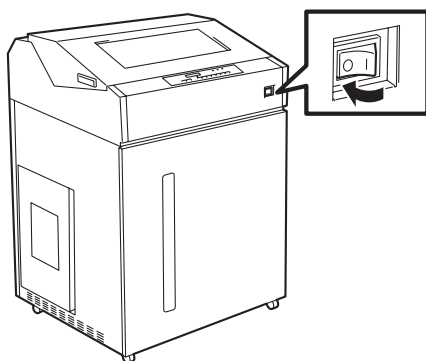
プリンタをいつも良好な状態でご使用していただくために、定期的にプリンタを清掃してください。清掃が終わりましたら、1章の「[9] テスト印刷を行う」(33ページ)に従って印刷が正しく行われることを確認してください。



注意

- お手入れの際は安全のため、電源コードを必ず抜いてください。抜かないで行うと感電するおそれがあります。
- 長時間印刷した後は内部が熱くなっています。その場合は10分ほどおいて内部が冷めたことを確認してから作業を行ってください。

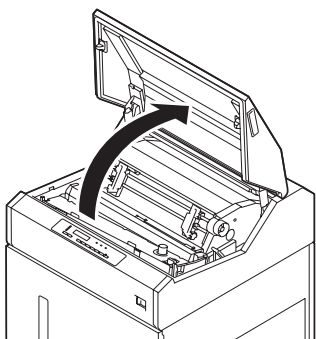
- ① プリンタ正面右側にある電源スイッチをOFF（「○」側）にして電源コードをコンセントから抜く。



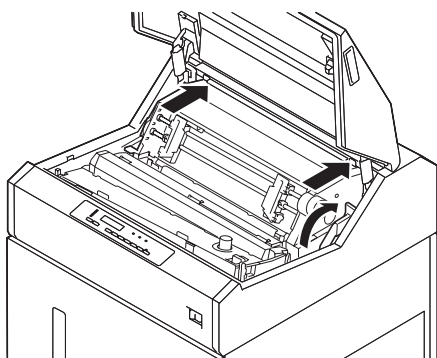
✓ チェック

- 電源コードはプラグ部分を持って抜いてください。
- プリンタを清掃する前に、用紙を取り除いてください。

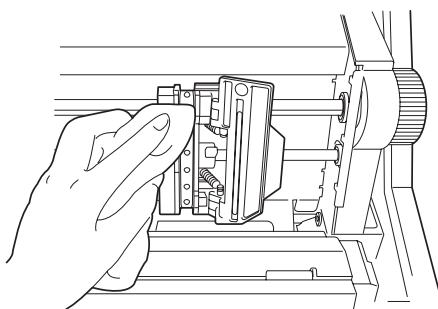
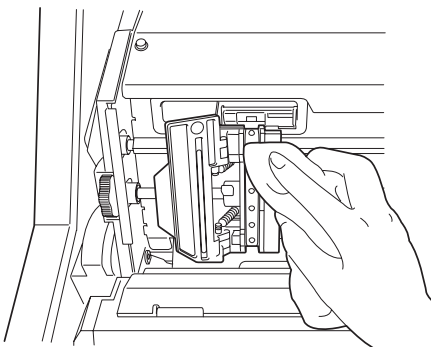
- ② トップカバーを開ける。



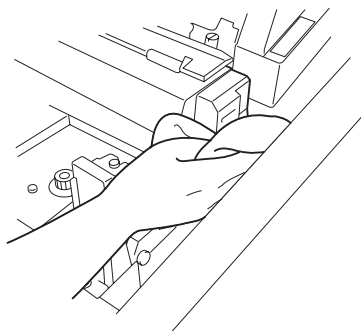
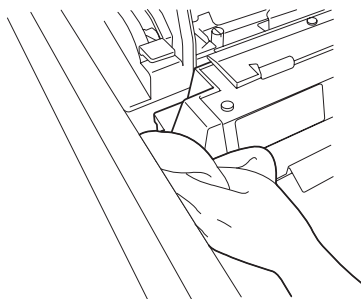
- ③ プラテン開閉レバーを後へ押して、プラテンを全開にする。



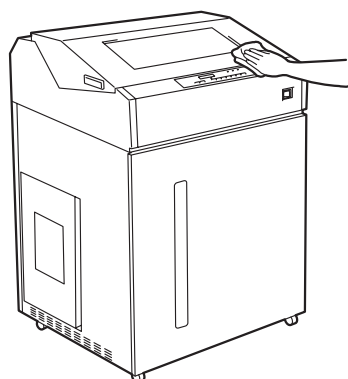
- ④ 用紙を取り除き、左右のトラクタ付近、用紙ジャムセンサ、紙送り部の周辺の紙粉、用紙の切れ端などを柔らかい布でふき取る。



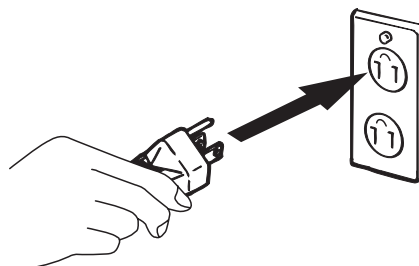
- ⑤ 左右のリボン走行部にたまっているリボンかす、紙粉等を柔らかい布でふき取る。



- ⑥ トップカバー内部／外部が汚れているときは、中性洗剤を水で薄めてから清潔な柔らかい布に含ませ、よく絞ってから汚れをふき取る。



- ⑦ 十分に乾いたことを確かめてから、電源コードをコンセントに差し込む。



交換用インクリボン（黒）・リボンサブカセットの交換

インクリボン交換ランプが点灯しているとき、および印刷結果が薄くなったときは、インクリボンを交換してください。

MultilImpact 750/560用の交換用インクリボン（黒）は、PR750/360-02です。N1153-025用のリボンサブカセットは、EF-1285BSです。安定した印刷品質ならびに印刷動作を保つためにも指定の品をお買い求めください。

セレクト
リボンコウカンジ キ

交換品は販売店に連絡してお求めください。詳しくは3章の「オプション・消耗品の紹介」（63ページ）をご覧ください。交換が終わりましたら、1章の「**9** テスト印刷を行う」（33ページ）に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

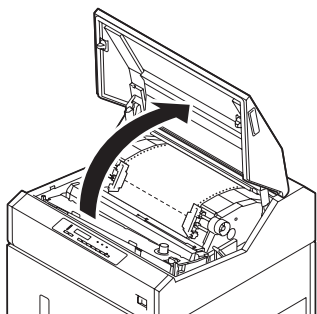
以下の手順に従って交換します。なお、手順中では「交換用インクリボン（黒）」と記載しています。N1153-025をご使用の場合は、「リボンサブカセット」と読み替えてください。



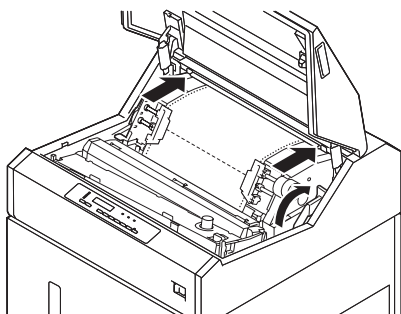
注意

長時間印刷した後は印刷ハンマが高温になっていますので、印刷ハンマおよびリボンセパレータ部には手を触れないでください。その場合は、10分ほどおいて内部が冷めたことを確認してから作業を行ってください。

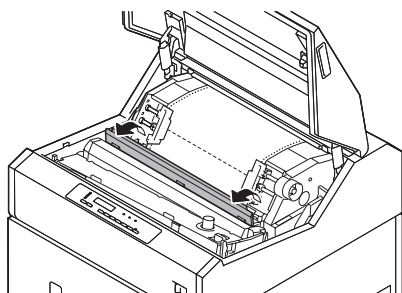
- ① トップカバーを開ける。



- ② ブラテン開閉レバーを後ろへ押してブラテンを開ける。



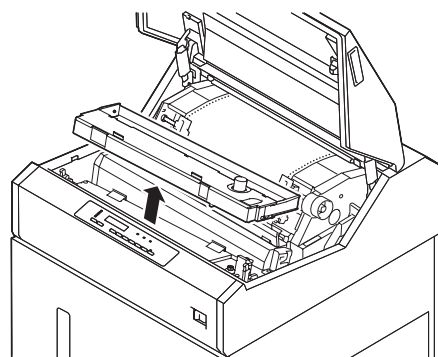
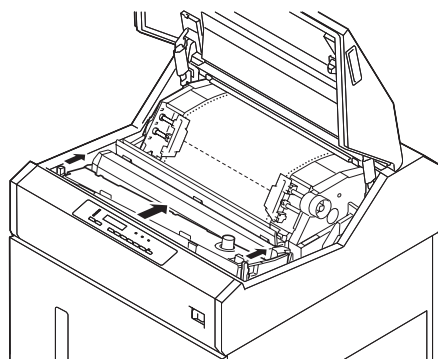
- ③ ペーパープレスホルダを開ける。



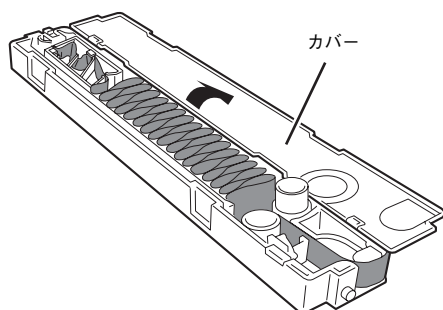
注意

カバーの中には機構部があります。危険ですから取り外さないでください。

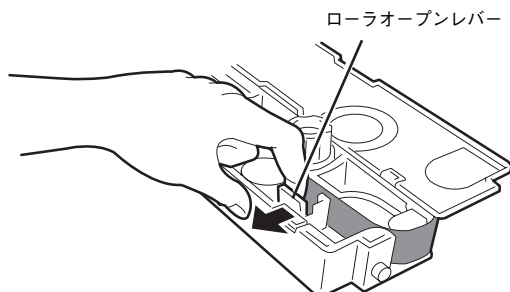
- ④ セットアームを押してリボンカートリッジを取り外す。



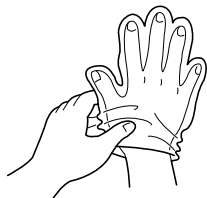
- ⑤ リボンカートリッジのカバーを開ける。



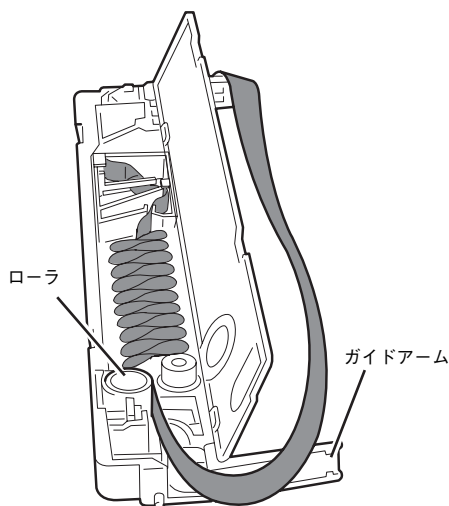
- ⑥ ローラオープンレバーをカチッとロックするまで手前に引いてローラを開いた状態にする。



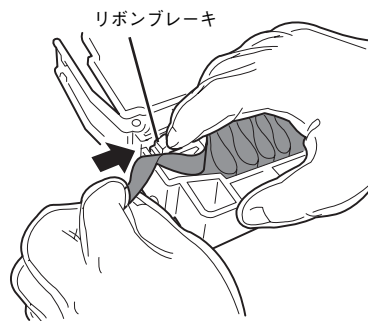
- ⑦ インクリボンに直接手を触れると手が汚れるので、交換用インクリボン（黒）に添付の手袋を着用する。



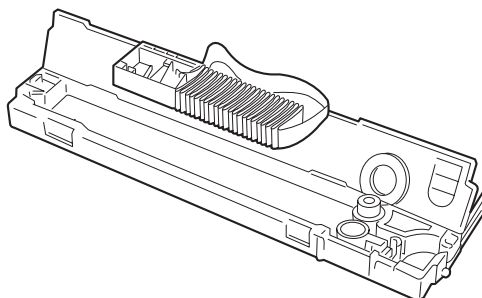
- ⑧ リボンをローラと左右のガイドアームから取り外す。



- ⑨ リボンブレーキを矢印の方向へ押しながらリボンを取り外す。

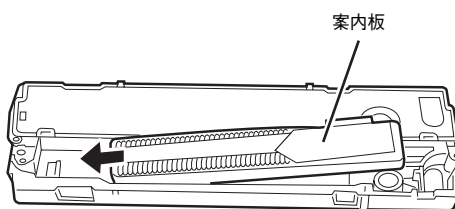


- ⑩ 使用済みのリボンを取り出し、インクリボンの空箱に移し入れる。

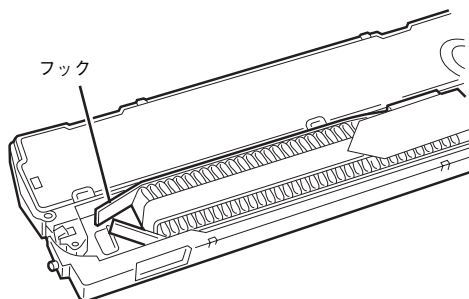


使用済みのリボンは、1章の「プリンタの廃棄とインクリボンの処理について」(39ページ)を参照してください。

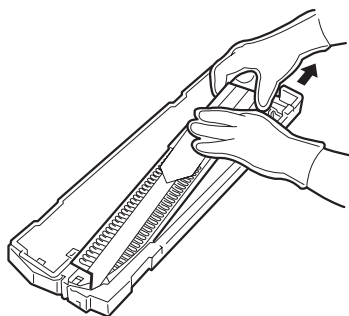
- ⑪ 新しい交換用インクリボン（黒）の上ふたを外して、案内板が右側になるようにリボンカートリッジ内に置く。



- ⑫ 内箱の左側にあるフックを外す。

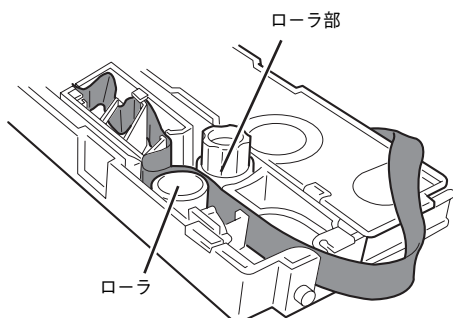


- ⑬ 交換用インクリボン（黒）の案内板を押さえながら、内箱を矢印方向に引き抜く。



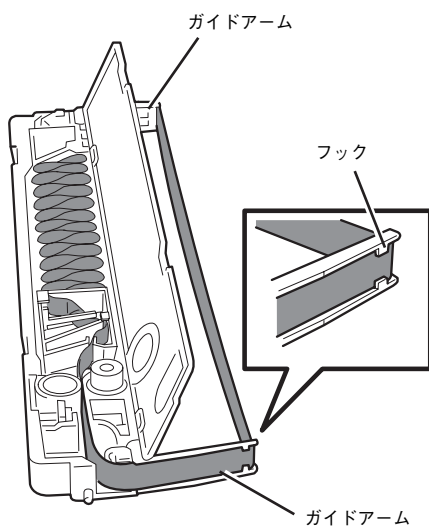
内箱を引き抜いたら、案内板を取り外してください。

- ⑭ ローラとローラ部にリボンを通す。

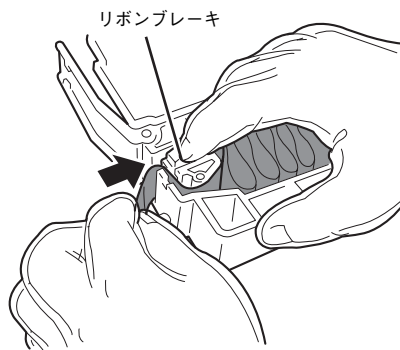


- ⑮ 左右のガイドアームにリボンをかける。

このときガイドアーム先端のフックに正しくかけてください。



- ⑯ リボンブレーキを矢印方向に押しながら、リボンを通す。

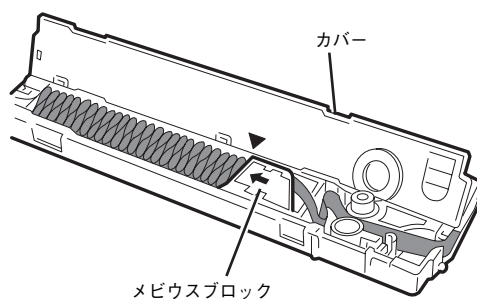


- ⑰ メビウスブロックをカバーにある▼マークまで移動する。

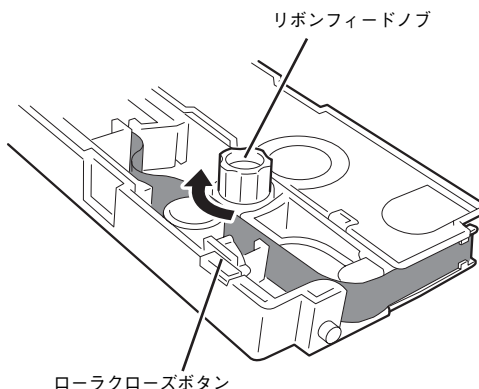
このとき倒れているリボンがあったら起こし、きちんとセットされていることを確認してください。



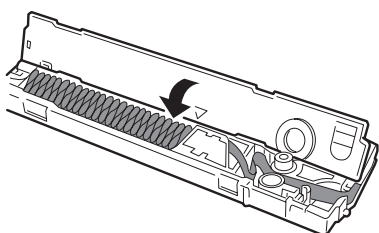
メビウスブロックが▼マークより左側にあるとリボンジャムが発生するおそれがあります。必ず右側に来るようにセットしてください。



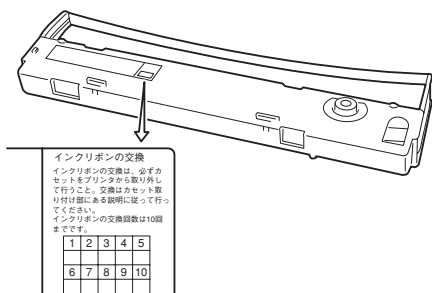
- ⑱ ローラクロースボタンを押してローラを閉じ、リボンフィードノブを時計回りに回し、リボンのたるみを取る。



19 カバーを閉じる。



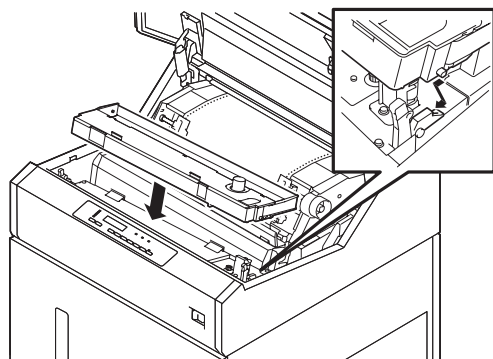
20 リボン交換回数のチェックラベルの数字をひとつ消す。



チェック

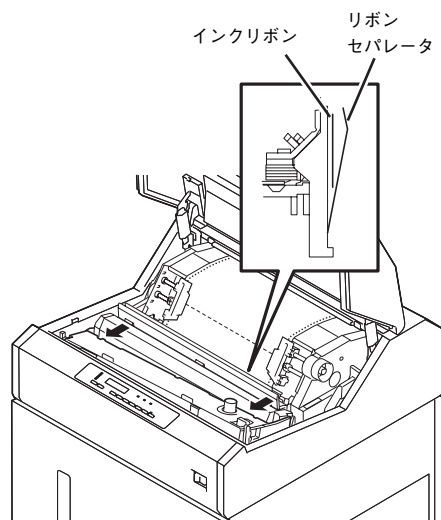
交換用インクリボン（黒）の交換は10回までです。これ以上使用するとローラ回転不良などのリボン走行の障害の原因となります。

21 リボンカートリッジの左右両側にある突起を矢印のように溝に入れてセットする。



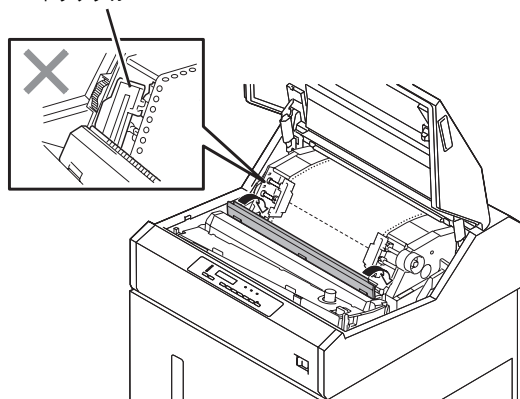
22 「リボンカートリッジを「カチッ」とロックするまで手前に引く。

リボンがリボンセパレータの手前側に入っていることを確認します。



23 ペーパープレスホルダを閉じる。

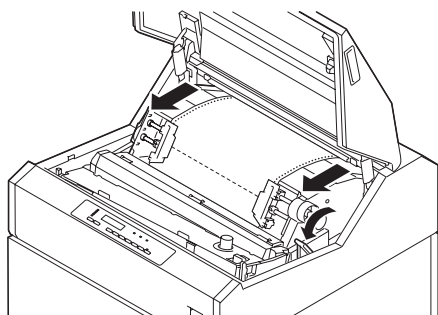
トラクタカバー



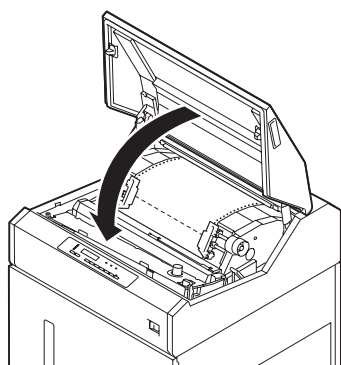
チェック

このとき、トラクタカバーが開いていると、ペーパープレスホルダは閉じません。必ずトラクタカバーを閉じてください。

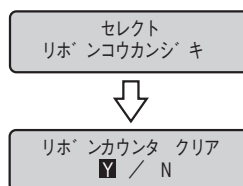
- 24 プラテン開閉レバーを手前に引いて、プラテンを閉じる。



- 25 トップカバーを閉じる。

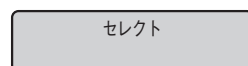


- 26 [インクリボン交換] スイッチを押す。



- 27 [インクリボン交換] スイッチを押す。

プリンタはカウンタをクリアしてセレクト状態に戻ります。



- 28 テスト印刷を実行する。

1章の「9 テスト印刷を行う」(33ページ)に従って、印刷が正しく行われることを確認してください。

リボンセパレータの点検

リボンセパレータが摩耗していると、印刷結果に悪影響が出ます。操作パネルの液晶ディスプレイに「05 リボンセパレータ」が表示されたらリボンセパレータの推奨交換周期（交換の目安）です。次の手順でリボンセパレータを点検し、摩耗していたらお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口ご連絡し、交換を依頼してください。

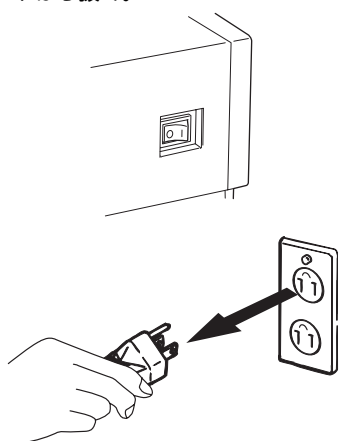
セレクト
05 リボンセパレータ

液晶ディスプレイに表示されない場合でも使用環境によっては摩耗している場合があります。

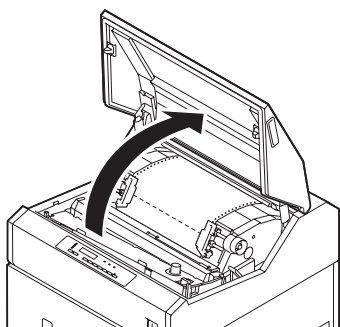
⚠ 注意

長時間印刷した後は印刷ハンマが高温になっていますので、印刷ヘッド部およびリボンセパレータ部には手を触れないでください。その場合は、10分ほどおいて内部が冷めたことを確認してから作業を行ってください。

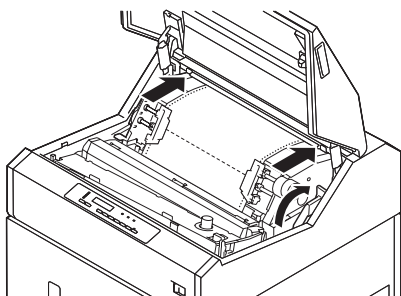
- ① 電源スイッチをOFF（「○側」）にし、電源コードをコンセントから抜く。



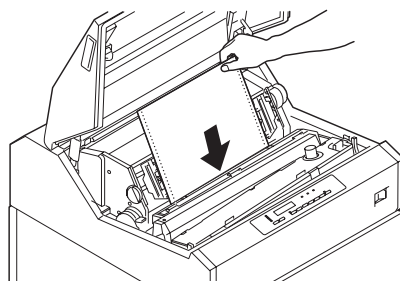
- ② トップカバーを開ける。



- ③ プラテン開閉レバーを後へ押してプラテンを全開にする。

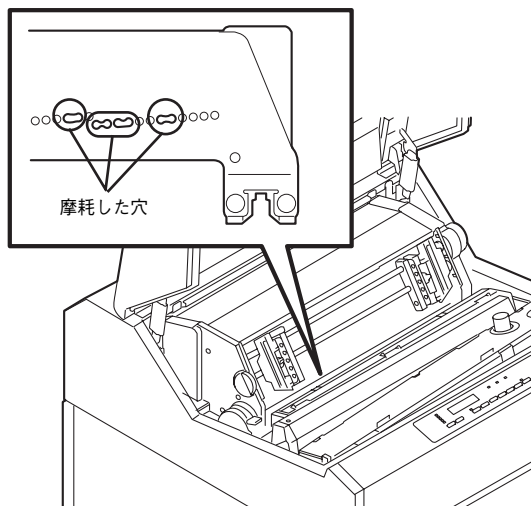


- ④ 用紙を取り外す。



- ⑤ リボンセパレータ（インクリボンをはさんでいる薄い鉄板）の穴が摩耗していないか目で確認する。

摩耗が見られたらお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口で交換を依頼してください。



リボンセパレータの推奨交換周期（交換の目安）は、約7,000カウントが目安です。

5章

故障かな？と思ったら

ここでは「故障かな？」と思ったときの原因と処置方法を説明します。「故障かな？」と思わせる症状を「印刷がおかしい」、「アラーム表示が出ている」、「紙づまり」に分けて説明しています。ソフトウェアの不具合に関してはプリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルを参照してください。

印刷がおかしいときは

プリンタが思うように動作しなかったり印刷の状態がよくなかったりしたときは、次の表でプリンタの症状にあてはまる項目を探し、確認、処置してください。

処置が終わりましたら必要に応じ、「9 テスト印刷を行う」（33ページ）に従ってプリンタが正しく動作することを確認してください。

症状	原因と処理方法
電源ランプが点灯しない。	電源コードがコンセントから抜けていませんか。 → 電源スイッチをOFFにしてから、電源コードのプラグを確実に差し込んでください。
	電源スイッチがOFFになっていませんか。 → 電源スイッチをONにしてください。
	コンセントに電気がきていますか。 → コンセントにスイッチがある場合は、そのスイッチをONにしてください。（スイッチで確認できない場合は、他の電気製品の電源プラグを差し込んで動作するかどうかを確認してください。）
	電源スイッチのOFF/ONを速く行っていませんか。 → 電源スイッチをOFFにして、しばらく経ってから再度電源スイッチをONにしてください。
印刷動作をしない。	トップカバーが開いていませんか。 → トップカバーを閉じてください。
	印刷可ランプが消えていますか。 → [印刷可] スイッチを押してセレクト状態（印刷可ランプ点灯）にしてください。
	用紙ランプが点灯していませんか。 → 用紙を正しくセット・吸入し、[印刷可] スイッチを押してください。
	プリンタケーブルが外れていませんか。 → プリンタとコンピュータをプリンタケーブルで正しく接続してください。
	アラームランプが点灯していませんか。 → いったん電源をOFFにして再度電源をONにしてください。それでも復旧しない場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口へ連絡してください。

症状	原因と処理方法
印刷が薄い。	インクリボンは正しくセットされていますか。 → 1章の「[6] インクリボン（黒）・リボンカートリッジを取り付ける」（23ページ）を参照して、正しくセットし直してください。 用紙厚セットレバーの位置は適切ですか。 → 用紙の厚さに合わせて、用紙厚セットレバーを適切な位置に動かしてください（1章の「用紙厚設定の目安」（21ページ）参照）。 インクリボンの寿命ではありませんか。 → 4章の「交換用インクリボン（黒）・リボンサブカセットの交換」（73ページ）を参照して、新しいインクリボンと交換してください。
印刷文字の横一列のある部分だけ欠ける。	インクリボンは正しくセットされていますか。 → 正しくセットし直してください。それでも直らないときは、印刷ハンマが損傷している可能性がありますので買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口へ連絡してください。
正しく印刷されない。	OSまたはアプリケーションソフトウェアのプリンタ設定は正しく行われていますか。 → ソフトウェアマニュアルおよびオンラインマニュアルを参照して、プリンタ設定を正しく設定し直してください。 メニューモード内の用紙長を変更しましたか。 → 2章の「Multitap 750/560のメニューモード機能」（47ページ）を参照して、メニューモード内の用紙長設定を元に戻してください。 トラクタの位置を変えていますか。 → トラクタを元の位置に戻してください。
印刷動作が一瞬停止する。	これは故障ではありません。印刷密度および印刷パターンにより印刷動作が一瞬停止することがあります。
インクリボンが外れる。	インクリボンは正しくセットされていますか。 → 1章の「[6] インクリボン（黒）・リボンカートリッジを取り付ける」（23ページ）を参照して、正しくセットし直してください。
用紙がプリンタ内でつまってしまう。	用紙厚、サイズ等が規格内ですか。 → 付録の「用紙規格」（96ページ）を参照して、用紙規格を確認してください。 印刷された用紙が正しく折りたたまれていますか。 → 正しく折りたたまれるように用紙の位置と、ミシン目の折り方向を直してください。 用紙厚セットレバーが正しい位置にセットされていますか。 → 用紙厚セットレバーを正しい位置にセットしてください（1章の「用紙厚設定の目安」（21ページ）参照）。 用紙の切れ端等が印刷機構部内に残っていませんか。 → 「紙づまりのときは」（83ページ）を参照して、紙づまりの処置を行ってください。
用紙がまっすぐに入っていない。	用紙厚、サイズ等が規格内ですか。 → 付録の「用紙規格」（96ページ）を参照して、用紙規格を確認してください。 トラクタのトラクタピンに用紙の穴が正しくかみ合っていますか。 → 連続紙の穴をトラクタピンに正しくかみ合わせてください。 連続紙が水平にセットされていますか。 → 連続紙を水平にセットし直してください。

リボン交換表示

インクリボンの交換時期になると、インクリボン交換ランプが点灯します。処置方法は次のとおりです。

液晶ディスプレイ	インクリボン交換ランプ	内容と処置方法
セレクト リボンコウカンジキ	点灯	インクリボンの交換時期です。 → インクリボンの交換を行ってください。（4章の「交換用インクリボン（黒）・リボンサブカセットの交換」（73ページ））

エラー表示

プリンタに何らかのエラーが発生して印刷できない状態になると、アラームランプが点灯すると同時に液晶ディスプレイにエラーの内容が表示されます。本プリンタのエラー表示とその意味、および処置方法は次のとおりです。

液晶ディスプレイ	内 容	処置方法
ペーパージャム	用紙がつまっています。	つまった用紙をプリンタから取り除いてから強制リセットを行ってください（「紙づまりのときは」(83ページ)。）
リボンジャム	リボンが巻き取られていません。	リボン収納部でリボンがつまっていないか、用紙厚セットレバーの設定が用紙に対して狭すぎないか確認してください（1章の「用紙厚設定の目安」(21ページ)参照）。もしリボンがつまっていればセットし直し、用紙厚セットレバーの位置が狭すぎれば適切な値に合わせてください。 ローラが開いていたら、正しくセットしてから強制リセット（2章の「強制リセット」(46ページ)）または用紙厚セットレバーの開閉（MSW2-8設定による）を行ってください。
FTレバーオープン	用紙厚セットレバーが開いています。	用紙厚セットレバーが閉じていることを確認してください。閉じていても表示される場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口に連絡してください。
68:FT LEVER ERR	印刷途中に用紙厚セットレバーが開いたままになっています。	ブラテン摺動部が汚れているためブラテンに連動した用紙厚設定レバーが動作しない状態です。お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口に連絡してください。

上記以外のメッセージが表示され、アラームランプが点灯したときは、一度電源スイッチをOFFにしてからもう一度電源スイッチをON（「I」側）にしてください。それでも回復しないときは、本体の故障が考えられますので、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

有寿命部品表示

有寿命部品の推奨交換周期（交換の目安）ですになると、液晶ディスプレイに有寿命部品が表示されます。処置方法は次のとおりです。有寿命部品が原因で故障した場合の交換費用は有償となります。

液晶ディスプレイ	内 容	処置方法
01 トラクタL	トラクタの推奨交換周期（交換の目安）です。 ハンマキコウブの推奨交換周期（交換の目安）です。 ハンマケーブルの推奨交換周期（交換の目安）です。 リボンセパレータの推奨交換周期（交換の目安）です。 フリクションプレート フリクションプレートの推奨交換周期（交換の目安）です。 ブラテン ブラテンの推奨交換周期（交換の目安）です。 タイミングベルト タイミングベルトの推奨交換周期（交換の目安）です。	この表示が現れても、印刷を続けることはできません。ただし、プリンタ内部の部品劣化により装置故障を起こすおそれがあります。 予防保全のために交換を希望される場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口に依頼してください。
02 トラクタR		
03 ハンマキコウブ		
04 ハンマケーブル		
05 リボンセパレータ		
06 フリクションプレート		
07 ブラテン		
08 タイミングベルト		

5

故障かな？と思ったら

上位装置からのエラーメッセージ

N1153-025では上位アプリケーションで検出したエラーを表示する場合があります。

本メッセージが表示された場合は、上位アプリケーションのマニュアルに従い対応いただくかお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談願います。

液晶ディスプレイ	内容
L101:IPLエラー L102:IPLエラー L103:IPLエラー L104:IPLエラー L105:IPLエラー	サーバ側IPL処理でエラーを検出した
E001:ファイルリードエラー	文字ファイルがない
E401:ファイルリードエラー E402:ファイルリードエラー E403:ファイルリードエラー	文字パターンファイルのリードエラーを検出した
L200:SPFロードエラー	サーバ側SPF情報取得処理に失敗（リードエラー）した
L201:SPFロードエラー	プリンタ識別符号がない もしくは異なる
L202:SPFロードエラー	サーバ側SPF情報取得処理に失敗した
L203:SPFロードエラー	サーバ側SPF情報取得処理に失敗した
D40D:ミティギVDメイレイ	IFMエラーを検出した
D0:システムDB0	DBO-Data Buffer Overflow
D0:データDB0	DBO-Data Buffer Overflow
D1:イリガルVD	IVI-Illegal VD Instruction
D2:UPSオーバフロー	UOF UPS Overflow
D3:FORMファイルナシ	UDN-Undefined Name
D401:VDSタイプ	IFM-Invalid Form
D402:VDSサイズ	IFM-Invalid Form
D403:UPSスウ	IFM-Invalid Form
D404:UPSUSウ	IFM-Invalid Form
D405:COPYスウ	IFM-Invalid Form
D406:UPSメイ	IFM-Invalid Form
D407:UPSUSメイ	IFM-Invalid Form
D408:UPSタイプ	IFM-Invalid Form
D409:UPSサイズ	IFM-Invalid Form
D40A:UPSヒ	IFM-Invalid Form
D40B:UPSイチ	IFM-Invalid Form
D40C:UPSデータ	FM-Invalid Form
D5:VDシーケンスエラー	ISE-Instruction Sequence Error
A2:データオーバフロー	UDE-Unnecessary Data Exist
A6:オプションナシ	MOP-Missing Option

紙づまりのときは

印刷機構部で用紙が詰まった場合、以下のような作業で用紙を取り除いてください。印刷機構部または用紙挿入部にラベル紙が貼り付いた場合はお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご連絡してください。

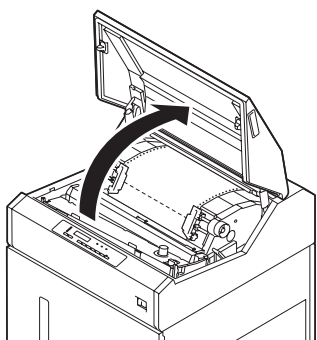
ペーパージャム



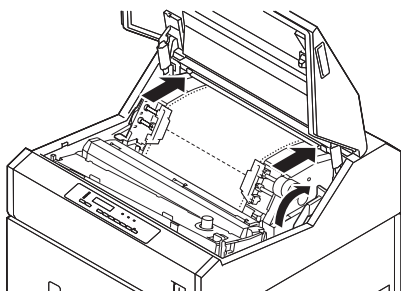
注意

長時間印刷した後は内部が熱くなっています。その場合は10分ほどおいてから作業を行ってください。

- ① トップカバーを開ける。



- ② ブラテン開閉レバーを後ろへ押し、ブラテンを全開にする。

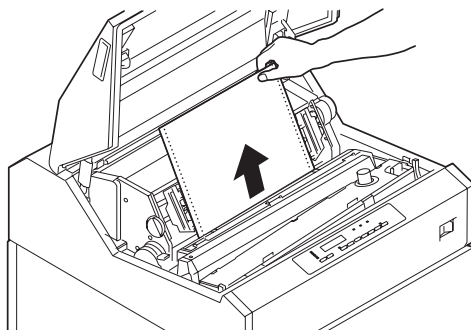


チェック

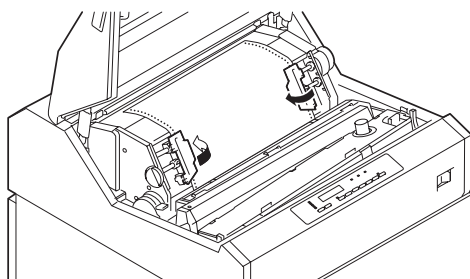
次の項目について点検してください。

- 用紙厚セットレバーの設定値は適切ですか？
(1章の「用紙厚設定の目安」(21ページ) 参照)
- 用紙の張力は適切ですか？
(1章の「**[3]** ペーパスタッカ部の設定をする」(18ページ) 参照)
- 用紙は正しく置かれていますか？
(1章の「用紙のセット方法」(29ページ) 参照)
- 用紙は規格どおりのものを使用していますか？
(付録の「用紙規格」(96ページ) 参照)
規格外の用紙は用紙ジャムの原因となります。
- 用紙に湿気がありませんか？
湿度の高い場所に保管された用紙をそのまま使用すると、用紙ジャムが起きやすくなります。
- 直射日光などの強い光がセンサーにあたると、誤って用紙ジャムを検出しますので、ブラインドなどで直射日光をさえぎるようにしてください。

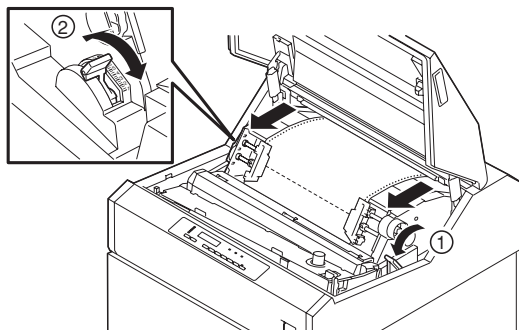
- ③ トラクタカバーを開け、印刷機構部につまった用紙を取り出す。



- ④ 用紙を正しくセットし、トラクタカバーを閉じる。



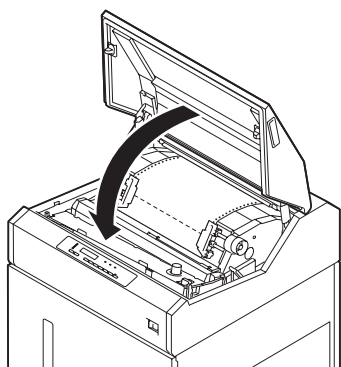
- ⑤ ブラテン開閉レバーを手前に引いてブラテンを閉じ (①)、印刷用紙の種類に応じて用紙厚セットレバーを適正な位置に設定する (②)。



5

故障かな?と思ったら

- ⑥ トップカバーを閉じる。



- ⑦ 強制リセットを行う（46ページ参照）。

液晶ディスプレイに“セレクト”が表示されたことを確認してください。

インクリボンづまりのときは

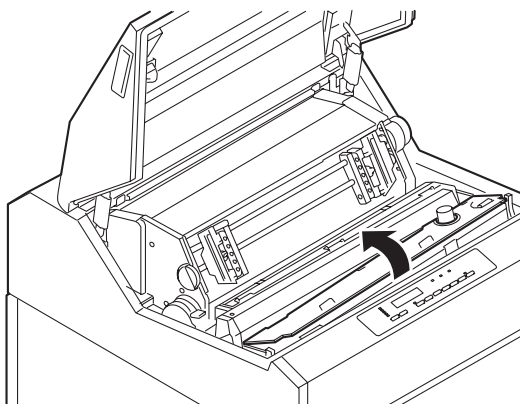
インクリボンがつまった場合、以下のような作業でインクリボンづまりを修復してください。

リボンジャム



インクリボンのインクで手が汚れることがあります。作業の際は手が汚れないように手袋を着用してください。

- ① トップカバーを開け、インクリボンのカバーを開ける。



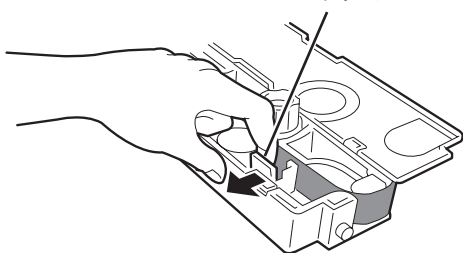
- ② 以下の項目について点検する。

- リボンカセットの中のローラが閉じていること。
- リボンがカセット内に正しくセットされ、倒れていないこと。
- リボンが折れたり、たるんだり、ローラに巻き付いていないこと。

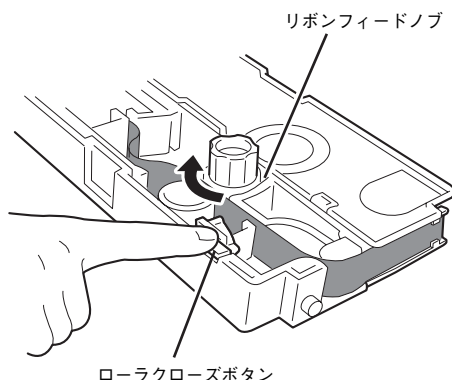
正しくセットされていない場合は、

- ① いったんローラオープンレバーを「カチッ」とロックするまで手前に引いてから正しくセットする。

ローラオープンレバー



- ② ローラクローズボタンを押してローラを閉じ、リボンフィードノブを時計回りに回してリボンのたるみを取る。



リボンが破れていたり、古くなっていたら、リボンを交換してください（「交換用インクリボン（黒）・リボンサブカセットの交換」（73ページ）参照）。

- ③ リボンセパレータの点検を行う（「リボンセパレータの点検」（78ページ）参照）。
- ④ インクリボンのカバーを閉じ、トップカバーを閉じる。
- ⑤ 強制リセットを行う（「強制リセット」（46ページ）参照）。

液晶ディスプレイに“セレクト”が表示されたことを確認してください。

5

故障かな？と思ったら

付 録

ここでは、MultilImpact 750/560・N1153-025の仕様、印刷範囲、制御コード、文字コードその他の技術情報について説明します。

仕様

MultilImpact 750/560

印刷方式	ドットインパクトシャトルライン方式
印刷ヘッドピン数	144ピン
印刷ヘッドピン径	φ 0.2mm
解像度	縦 6.6ドット/mm (168ドット/インチ) 横 6.3ドット/mm (160ドット/インチ) *1

*1 高品位印刷の場合。印刷モード選択により、標準印刷の場合は 4.2 ドット /mm (107 ドット / インチ)、高速印刷の場合は 3.1 ドット /mm (80 ドット / インチ) となります。



印刷桁数と印刷速度

文字種		印刷桁数 / 行	標準印刷速度 / 分* 1. * 2				高品位印刷速度 / 分* 1. * 2				高速印刷速度 / 分* 1. * 2			
			通常濃度	濃度 1	濃度 2	濃度 3	通常濃度	濃度 1	濃度 2	濃度 3	通常濃度	濃度 1	濃度 2	濃度 3
ANK 英数カナ	バイカHD	136字	560行 (610行)	560行 (610行)	504行 (549行)	280行 (305行)	410行 (440行)	410行 (440行)	369行 (396行)	205行 (220行)	670行 (700行)	670行 (700行)	603行 (630行)	335行 (350行)
	コンデンス	233字	560行 (610行)	560行 (610行)	504行 (549行)	280行 (305行)	410行 (440行)	410行 (440行)	369行 (396行)	205行 (220行)	670行 (700行)	670行 (700行)	603行 (630行)	335行 (350行)
	エリート	163字	560行 (610行)	560行 (610行)	504行 (549行)	280行 (305行)	410行 (440行)	410行 (440行)	369行 (396行)	205行 (220行)	670行 (700行)	670行 (700行)	603行 (630行)	335行 (350行)
	プロポーション*3	最大362字	560行 (610行)	560行 (610行)	504行 (549行)	280行 (305行)	410行 (440行)	410行 (440行)	369行 (396行)	205行 (220行)	670行 (700行)	670行 (700行)	603行 (630行)	335行 (350行)
CG グラフィック	バイカHD	136字	560行 (610行)	560行 (610行)	504行 (549行)	280行 (305行)	410行 (440行)	410行 (440行)	369行 (396行)	205行 (220行)	670行 (700行)	670行 (700行)	603行 (630行)	335行 (350行)
	コンデンス	233字	560行 (610行)	560行 (610行)	504行 (549行)	280行 (305行)	410行 (440行)	410行 (440行)	369行 (396行)	205行 (220行)	670行 (700行)	670行 (700行)	603行 (630行)	335行 (350行)
	エリート	163字	560行 (610行)	560行 (610行)	504行 (549行)	280行 (305行)	410行 (440行)	410行 (440行)	369行 (396行)	205行 (220行)	670行 (700行)	670行 (700行)	603行 (630行)	335行 (350行)
	プロポーション	136字	560行 (610行)	560行 (610行)	504行 (549行)	280行 (305行)	410行 (440行)	410行 (440行)	369行 (396行)	205行 (220行)	670行 (700行)	670行 (700行)	603行 (630行)	335行 (350行)
漢字*4 (全角)	3.81mm (10.8P相当)、 3.81mm (3/20インチ)幅	90字	560行 (610行)	560行 (610行)	504行 (549行)	280行 (305行)	410行 (440行)	410行 (440行)	369行 (396行)	205行 (220行)	670行 (700行)	670行 (700行)	603行 (630行)	335行 (350行)
	3.81mm (10.8P相当)、 5.08mm (1/5インチ)幅	68字	560行 (610行)	560行 (610行)	504行 (549行)	280行 (305行)	410行 (440行)	410行 (440行)	369行 (396行)	205行 (220行)	670行 (700行)	670行 (700行)	603行 (630行)	335行 (350行)
	(9.5P相当)、 4.23mm (1/6インチ)幅	81字	560行 (610行)	560行 (610行)	504行 (549行)	280行 (305行)	410行 (440行)	410行 (440行)	369行 (396行)	205行 (220行)	670行 (700行)	670行 (700行)	603行 (630行)	335行 (350行)
	3.35mm (9.5P相当)、 3.38mm (2/15インチ)*5	102字	560行 (610行)	560行 (610行)	504行 (549行)	280行 (305行)	410行 (440行)	410行 (440行)	369行 (396行)	205行 (220行)	670行 (700行)	670行 (700行)	603行 (630行)	335行 (350行)
	2.47mm (7P相当)、 2.54mm (1/10インチ)*5	136字	560行 (610行)	560行 (610行)	504行 (549行)	280行 (305行)	410行 (440行)	410行 (440行)	369行 (396行)	205行 (220行)	670行 (700行)	670行 (700行)	603行 (630行)	335行 (350行)
	4.23mm (12P相当)、 4.23mm (1/6インチ)幅	81字	560行 (610行)	560行 (610行)	504行 (549行)	280行 (305行)	410行 (440行)	410行 (440行)	369行 (396行)	205行 (220行)	670行 (700行)	670行 (700行)	603行 (630行)	335行 (350行)
グ ラ フ ィ ッ ク	コピーモード	1088ドット	560行 (610行)	560行 (610行)	504行 (549行)	280行 (305行)	410行 (440行)	410行 (440行)	369行 (396行)	205行 (220行)	670行 (700行)	670行 (700行)	603行 (630行)	335行 (350行)
	ネイティブ モード	2176ドット	560行 (610行)	560行 (610行)	504行 (549行)	280行 (305行)	410行 (440行)	410行 (440行)	369行 (396行)	205行 (220行)	670行 (700行)	670行 (700行)	603行 (630行)	335行 (350行)
	16ビット*7	2176ドット	560行 (610行)	560行 (610行)	504行 (549行)	280行 (305行)	410行 (440行)	410行 (440行)	369行 (396行)	205行 (220行)	670行 (700行)	670行 (700行)	603行 (630行)	335行 (350行)
	24ビット*8	2176ドット	560行 (610行)	560行 (610行)	504行 (549行)	280行 (305行)	410行 (440行)	410行 (440行)	369行 (396行)	205行 (220行)	670行 (700行)	670行 (700行)	603行 (630行)	335行 (350行)

* 1 濃度 2、3 を選択したときは、通常より印刷速度が遅くなります。濃度 1 を選択したときは、印刷データによって通常より印刷速度が遅くなる場合があります。

* 2 () 内は 1 枚綴り用紙時の速度

* 3 文字によって変わります。

* 4 半角文字の印刷桁数 / 行と印刷速度 / 分は、それぞれ全角文字の 2 倍の数値となります。

* 5 90 文字 / 行のときの印刷速度です。印刷密度および印刷パターンにより、印刷速度が遅くなる場合があります (印刷が一瞬停止する場合もあります)。通常印刷モードおよび高速印刷モードで印刷すると、印刷結果は横間引きとなります。

* 6 縦ドット数が 8 ビット / 字のとき。

* 7 縦ドット数が 16 ビット / 字のとき。

* 8 縦ドット数が 24 ビット / 字のとき。

混在印刷	すべて可能
改行幅	4.23mm (1/6インチ)、3.18mm (1/8インチ) および 25.4n/120mm (n/120インチ) (ただしn = 0~99)
改行時間	1~16ドットライン送り：約8.5ミリメートル秒 連続送り：最大約508ミリメートル秒 (20インチ/秒)
改行方向	順方向および逆方向
最小改行量	0.151mm (1/168インチ)
用紙送り方式	トラクタフィーダ (プルトラクタ)
ペーバスタッカ容量	約2000枚 (坪量64g/m ² (連量55kg) 用紙1P)
用紙厚調整	手動7段 (用紙厚セットレバーによる)
インクリボン	カートリッジ方式 サブカセット方式 (交換用)
インタフェース	IEEE1284準拠双方向パラレル イーサネット (100BASE-TX/10BASE-T)
使用コード	• 8ビットコード • 7ビットコード • 漢字コード (JIS C6226-1978) • 漢字コード (JIS X0208-1983) • 漢字コード (JIS X0208-1990)
環境条件 ^{*1}	動作温度：5~38℃ 動作湿度：10~85% (結露しないこと) 保管温度：-25~60℃ 保管湿度：0~90% (結露しないこと) 塵埃量、ガス成分：一般事務室程度
電源	AC100V±10%、50/60Hz
定格電流	13A
消費電力	動作時最大： 1100W (1149VA) 動作時平均： 710W (835VA) 待機時 (スタンバイ時)：28W (60VA) 以下 ^{*2} 電源スイッチOFF時： 0W (電源スイッチはメカニカルスイッチを使用しています)
騒音	動作時：約51dB以下 (A補正) (測定はISO7779による) 待機時：約42dB以下
冷却方式	ファン強制空冷方式
接地方式	単独第三種
所要コンセント	125V、15A (JIS C 8303による) 定格接地形三極差し込み接続器
寸法	横幅686mm×奥行700mm×高さ1050mm
質量	約115kg

^{*1} 温湿度条件は、使用する用紙によって若干異なる場合があります。

^{*2} 5分以上、印刷動作やスイッチ動作が行われなかった場合は、待機モードに入ります。



有寿命部品（有償）*1

部品名	推奨交換周期（交換の目安） ラインカウント数	部品名	推奨交換周期（交換の目安） ラインカウント数
トラクタL	14,000	リボンセバレータ	7,000
トラクタR	14,000	フリクションプレート	14,000
ハンマキコウブ	21,000	プラテン	21,000
ハンマケーブル	14,000	タイミングベルト	28,000

インクリボン寿命	漢字 約500万字
電源寿命	5年間（条件：通電時間480h/月）または約30,000hで到達の早い方
装置寿命	5年間またはソウチカウンタ値で約40,320カウントで到達の早い方
対応OS	「ソフトウェアマニュアル」参照

N1153-025

名称	ドットインパクトラインプリンタ
型名	N1153-025
印刷方式	ドットインパクトシャトルライン方式
印刷ヘッドピン数	144ピン
印刷ヘッドピン径	φ0.2mm
解像度	縦 6.6ドット/mm（168ドット/インチ） 横 6.3ドット/mm（160ドット/インチ）*2
印刷速度	

文字種	標準印刷速度 / 分				高品位印刷速度 / 分				高速印刷速度 / 分			
	通常濃度	濃度 1	濃度 2	濃度 3	通常濃度	濃度 1	濃度 2	濃度 3	通常濃度	濃度 1	濃度 2	濃度 3
日本語モード	560行 (610行)	560行 (610行)	504行 (549行)	280行 (305行)	410行 (440行)	410行 (440行)	369行 (396行)	205行 (220行)	670行 (700行)	670行 (700行)	603行 (630行)	335行 (350行)
英数カナモード HDバイカフォント	560行 (610行)	560行 (610行)	504行 (549行)	280行 (305行)	410行 (440行)	410行 (440行)	369行 (396行)	205行 (220行)	670行 (700行)	670行 (700行)	603行 (630行)	335行 (350行)

- 印刷密度および印刷パターンにより、印刷速度が遅くなる場合があります（印刷動作が一瞬停止する場合もあります）。
- 標準印刷モードおよび高速印刷モードで印刷すると、印刷結果は横間引きとなります。通常印刷モードや高速印刷モードで印刷した場合、印刷品質は標準印刷モードより劣ります。
- 濃度 2、3 を選択したときは、通常より印刷速度が遅くなります。濃度 1 を選択したときは、印刷データによって通常より印刷速度が遅くなる場合があります。

* 1 有寿命部品の推奨交換周期（交換の目安）は、使用環境や使用状況により、多少異なる場合があります。

* 2 高品位印刷の場合。印刷モード選択により、標準印刷の場合は 4.2 ドット /mm（107 ドット / インチ）、高速印刷の場合は 3.1 ドット /mm（80 ドット / インチ）となります。

印刷文字種	[日本語モード] 7243種 (JIS第1種水準およびJIS第2水準を含む) [英数カナモード] 128種 (スペースおよび抹消記号を含む)
印刷桁数	[日本語モード] (2バイトコード系) 全角文字 最大90字/行 (文字間隔3.81mm (3/20インチ)) 最大81字/行 (文字間隔4.23mm (1/6インチ)) 最大68字/行 (文字間隔5.08mm (1/5インチ)) 半角文字 最大181字/行 (文字間隔1.91mm (3/40インチ)) 最大163字/行 (文字間隔2.12mm (1/12インチ)) 最大136字/行 (文字間隔2.54mm (1/10インチ)) [英数カナモード] (1バイトコード系) 最大136字/行 (文字間隔2.54mm (1/10インチ) パイカHD/OCR-B相当フォント) 最大163字/行 (文字間隔2.12mm (1/12インチ) エリートフォント)
印刷文字サイズ (縦×横、単位はmm)	[日本語モード] 全角文字 標準 (3.81mm (3/20インチ)、5.08mm (1/5インチ)): 3.3×3.5 (22×22ドット) 標準 (4.23mm (1/6インチ)): 3.3×3.1 (22×22ドット) 横2倍 (3.81mm (3/20インチ)、5.08mm (1/5インチ)): 3.3×7.0 (22×44ドット) 横2倍 (4.23mm (1/6インチ)): 3.3×6.2 (22×44ドット) 縦横2倍 (3.81mm (3/20インチ)、5.08mm (1/5インチ)): 6.7×7.0 (44×44ドット) 縦横2倍 (4.23mm (1/6インチ)): 6.7×6.2 (44×44ドット) 半角文字 標準 (3.81mm (3/20インチ)、5.08mm (1/5インチ)): 3.3×1.6 (22×10ドット) 標準 (4.23mm (1/6インチ)): 3.3×1.5 (22×10ドット) 横2倍 (3.81mm (3/20インチ)、5.08mm (1/5インチ)): 3.3×3.2 (22×20ドット) 横2倍 (4.23mm (1/6インチ)): 3.3×2.9 (22×20ドット) 縦横2倍 (3.81mm (3/20インチ)、5.08mm (1/5インチ)): 6.7×3.2 (44×20ドット) 縦横2倍 (4.23mm (1/6インチ)): 6.7×2.9 (44×20ドット) • 印刷文字サイズは、インクのにじみがあるため若干大きくなります。 基本ドット構成については、94ページを参照してください。 [英数カナモード] パイカHDフォント標準:2.4×2.1 (16×13ドット) パイカHDフォント横2倍:2.4×4.2 (16×26ドット) エリートフォント標準:2.4×1.7 (16×11ドット) エリートフォント横2倍:2.4×3.5 (16×22ドット) OCR-B相当フォント標準:2.7×2.1 (18×13ドット) OCR-B相当フォント横2倍:2.7×4.2 (18×26ドット) • エリートフォントはエミュレーションして印刷しているため、印刷品質が多少悪くなります。
印刷文字間隔	[日本語モード] 全角文字 標準: 3.81mm (10.8P相当)、3.81mm (3/20インチ) 幅 4.23mm (12P相当)、4.23mm (1/6インチ) 幅 5.08mm (14.4P相当)、5.08mm (1/5インチ) 幅 横2倍、縦横2倍: 7.62mm (21.6P相当)、7.62mm (3/10インチ) 幅 8.47mm (24P相当)、8.47mm (1/3インチ) 幅 10.16mm (28.8P相当)、10.16mm (2/5インチ) 幅

	半角文字 標準: 1.91mm (5.4P相当)、1.91mm (3/40インチ) 幅 2.12mm (6P相当)、2.12mm (1/12インチ) 幅 2.54mm (7.2P相当)、2.54mm (1/10インチ) 幅 横2倍、縦横2倍: 3.81mm (10.8P相当)、3.81mm (3/20インチ) 幅 4.23mm (12P相当)、4.23mm (1/6インチ) 幅 5.08mm (14.4P相当)、5.08mm (1/5インチ) 幅 [英数カナモード] パイカHDフォント・OCR-B相当フォント 標準: 2.54mm (7.2P相当)、2.54mm (1/10インチ) 幅 横2倍: 5.08mm (14.4P相当)、5.08mm (1/5インチ) 幅 エリートフォント 標準: 2.12mm (6P相当)、2.12mm (1/12インチ) 幅 横2倍: 4.23mm (12P相当)、4.23mm (1/6インチ) 幅
行間隔	8行/2.54mm、6行/25.4mm、4行/25.4mm、3行/25.4mm および1～255ドットラインが指定可
改行時間	1～16ドットライン送り: 約8.5ミリメートル秒 連続送り: 最大約508ミリメートル秒 (20インチ/秒)
改行方向	順方向および逆方向
水平タブ時間	印刷速度に同じ
用紙送り方式	トラクタフィーダ (ブルトラクタ)
混在印刷	同一行における文字の混在も可能
印刷用紙	用紙幅88.9mm～406.4mm (3.5～16インチ) 用紙長101.6mm～304.8mm (4～12インチ)
複写枚数	最大8枚 (オリジナルを含む)
用紙厚調整	手動7段 (用紙厚セットレバーによる)
インクリボン	カートリッジ方式 サブカセット方式 (交換用)
インタフェース	• N1153-001互換でご使用の場合 IEEE1284準拠双方向パラレル • N5263-71A (またはN7860-03A) 互換でご使用の場合 ネットワークプリンタ接続ボードを使用したBRANCH (TCP/IP) 接続 (オプション 必須)
使用コード	JIS8単位
拡大文字	[日本語モード] 横2倍、縦横2倍 [英数カナモード] 横2倍 (文字単位で指定可能)
フォーマットコントロール	ESCシーケンスによって設定します。 HT (水平タブ)、LM (レフトマージン)、RM (ライトマージン): 1～136の印刷可能範囲の任意桁位置に設定可 (印刷モードにかかわらず2.54mm (1/10 インチ) ごと) FF (フォームフィード): 99行以下任意長に設定可 VT (垂直タブ): FF行数内任意位置に設定可

印刷開始コード	本プリンタは次に示すタイミングで印刷を開始します。 • CRコードを受信したとき
テスト機能	固定データのテスト印刷
環境条件 ^{*1}	動作温度：5～38℃ 保管温度：-25～60℃ 動作湿度：10～85%（結露しないこと） 保管湿度：0～90%（結露しないこと） 塵埃量、ガス成分：一般事務室程度
電源	AC100V±10%、50/60Hz
定格電流	13A
消費電力	動作時最大：1100W（1149VA） 動作時平均：710W（430VA） 待機時（スタンバイ時）：28W（60VA）以下 ^{*2} 電源スイッチOFF時：0W（電源スイッチはメカニカルスイッチを使用しています）
騒音	動作時：約51dB以下（A補正）（測定はISO7779による） 待機時：約42dB以下
冷却方式	ファン強制空冷方式
接地方式	単独第三種
所要コンセント	125V、15A（JIS C 8303による） 定格接地形三極差し込み接続器
寸法	横幅686mm×奥行700mm×高さ1050mm
質量	約115kg
有寿命部品（有償） ^{*3}	

部品名	推奨交換周期（交換の目安） ラインカウント数	部品名	推奨交換周期（交換の目安） ラインカウント数
トラクタL	14,000	リボンセパレータ	7,000
トラクタR	14,000	フリクションプレート	14,000
ハンマキコウブ	21,000	プラテン	21,000
ハンマケーブル	14,000	タイミングベルト	28,000

ペーバスタッカ容量	約2000枚（坪量64g/m ² （連量55kg）用紙1P）
インクリボン寿命	漢字 約500万字
電源寿命	5年間（条件：通電時間480h/月）または約30,000hで到達の早い方
装置寿命	5年間またはソウチカウンタ値で約40,320カウントで到達の早い方
対応OS	「ソフトウェアマニュアル」参照

*1 温湿度条件は、使用する用紙によって若干異なる場合があります。

*2 5分以上、印刷動作やスイッチ動作が行われなかった場合は、待機モードに入ります。

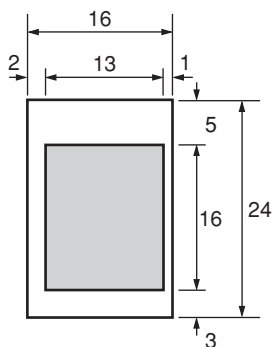
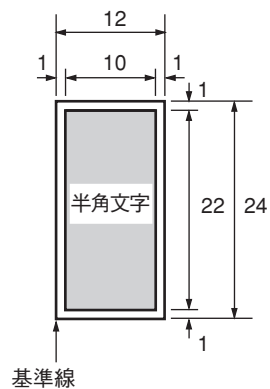
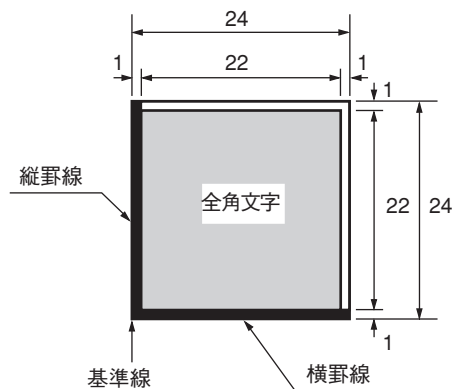
*3 有寿命部品の推奨交換周期（交換の目安）は、使用環境や使用状況により、多少異なる場合があります。



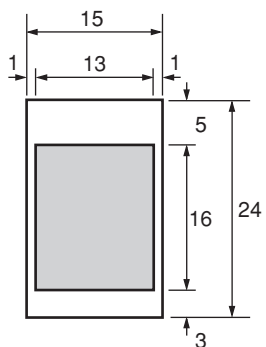
文字構造（基本ドット構成）

備考：網部分は印刷文字領域を示します。

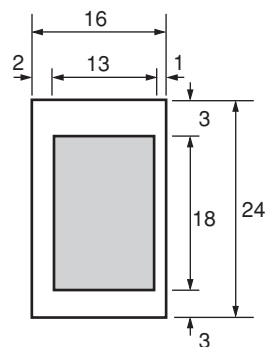
標準



パイカ HD フォント

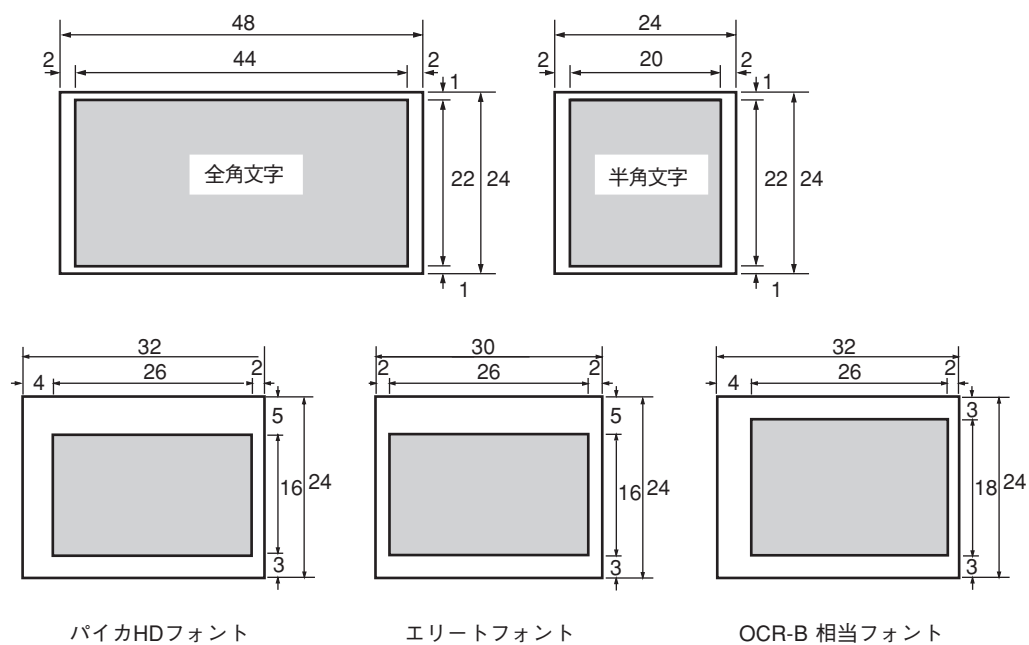


エリートフォント

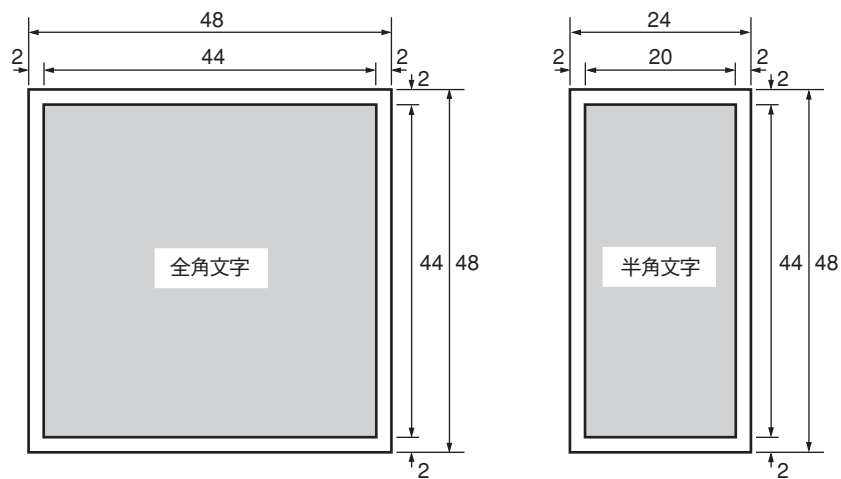


OCR-B相当フォント

横 2 倍



縦横 2 倍



備考：網部分は印刷文字領域を示します。

用紙規格

用紙サイズ

用紙幅：88.9～406.4mm（3.5～16インチ）
折りたたみ長さ：101.6～304.8mm（4～12インチ）

用紙の種類と複写枚数

使用できる連続紙の種類および最大の複写枚数を次に示します。

用紙の種類	坪量 g/m ² （連量 kg）	複写枚数（オリジナルを含む）
一般用紙	64～127.9（55～110）	1
感圧紙	34.9～39.5（30～34）	8
	52（45）	3
裏カーボン紙	34.9～39.5（30～34）	8
	52（45）	3
ワнтаイムカーボン紙	34.9（30）	4
	39.5（34）	4
	52（45）	3



チェック

- 最上層紙（1枚目）はインクリボンのインクを吸収し、かつインクのにじみの少ないものを使用してください。
- 段差用紙、最上下端用紙を除く、中間層紙で、0.1mm以下にしてください。
- 同一ページ内で用紙厚が違うところを印刷すると、印刷品質が悪くなる場合があります。
- 用紙上にしわや折り目、破れなどがある用紙は使用しないでください。印刷障害が発生する場合があります。

単位：g/m² / 下段カッコ内（kg）

複写枚数	1	2	3	4	5	6	7	8
1枚目	64～127.9 （55～110）	34.9～39.5 （30～34）	34.9～39.5 （30～34）	34.9～39.5 （30～34）	34.9～39.5 （30～34）	34.9～39.5 （30～34）	34.9～39.5 （30～34）	34.9～39.5 （30～34）
2枚目		50.0～81.4 （43～70）	34.9～39.5 （30～34）	34.9～39.5 （30～34）	34.9～39.5 （30～34）	34.9～39.5 （30～34）	34.9～39.5 （30～34）	34.9～39.5 （30～34）
3枚目			39.5～50 （34～43）	34.9～39.5 （30～34）	34.9～39.5 （30～34）	34.9～39.5 （30～34）	34.9～39.5 （30～34）	34.9～39.5 （30～34）
4枚目				39.5～50 （34～43）	34.9～39.5 （30～34）	34.9～39.5 （30～34）	34.9～39.5 （30～34）	34.9～39.5 （30～34）
5枚目					39.5～50 （34～43）	34.9～39.5 （30～34）	34.9～39.5 （30～34）	34.9～39.5 （30～34）
6枚目						39.5～50 （34～43）	34.9～39.5 （30～34）	34.9～39.5 （30～34）
7枚目							39.5～50 （34～43）	34.9～39.5 （30～34）
8枚目								39.5～50 （34～43）

* 下段のカッコ内の数値は連量であり、参考データです（「連量」とは、一般的に四六判（788 x 1091mm）の用紙 1000 枚あたりの質量（kg）です）。



チェック

- 複写紙の坪量は、製紙メーカーによって異なる場合がありますが、その場合は上の数値に近いものを選んでください。
- 複写用紙の途中に厚紙を挿入した場合は、それより下層の用紙への印刷濃度は薄くなりますので注意してください。
- 2枚複写用紙は用紙ジャムが発生する場合がありますので、2枚目は1枚目より厚い用紙をお使いください。

用紙設計に関する注意事項

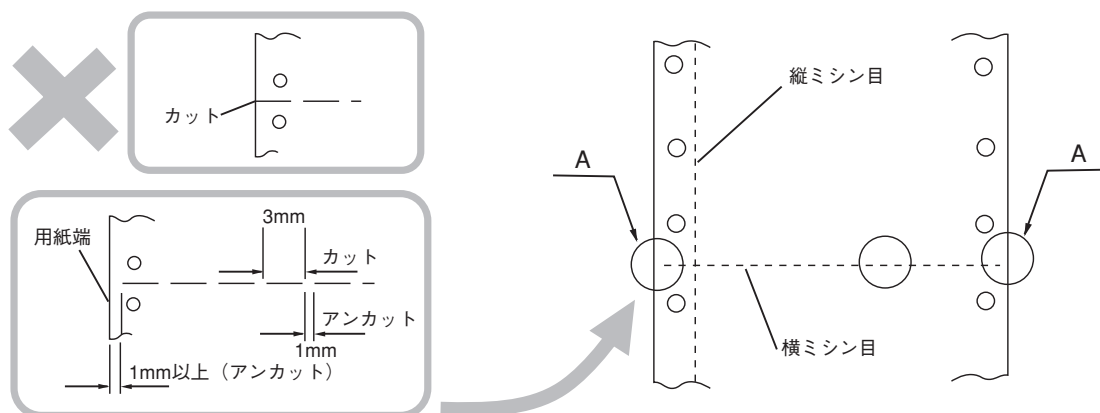
連続紙に関する注意

普通紙について

ミシン目の入れ方によって、用紙走行経路に悪影響を与える場合がありますので、次の事項に注意してください。

- ✓ チェック
- ミシン目を強く入れすぎたり、ミシン目のアンカットとカットの比が大きすぎると用紙取り扱い時および用紙走行時に、ミシン目から破れて用紙走行障害が発生することがあります。
 - 縦、横ミシン目の寸法は、1部紙および複写用紙ともにアンカットとカットの比を約1:3にしてください。

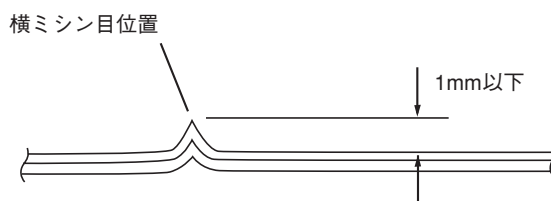
注：ミシン目の両端部については、下の寸法を守ってください。



付
録

複写式の連続紙について

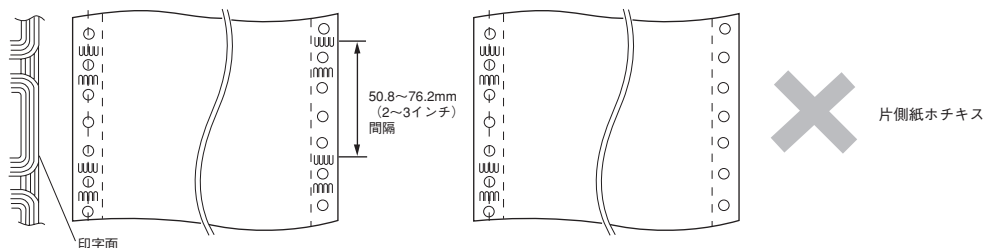
複写式の連続紙はフィードホール付近で必ずとじてください。また、とじられた複写用紙の横ミシン目部に盛り上がりがあると、用紙づまりや故障の原因となりますので、用紙を平らな場所に広げたときに横ミシン目部の盛り上がり量が1mm以下になるように加工してください。



用紙のとじ方について

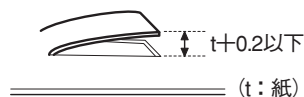
用紙のとじ方はいろいろありますが、次の3種類をお勧めします。

① 両側紙ホチキス

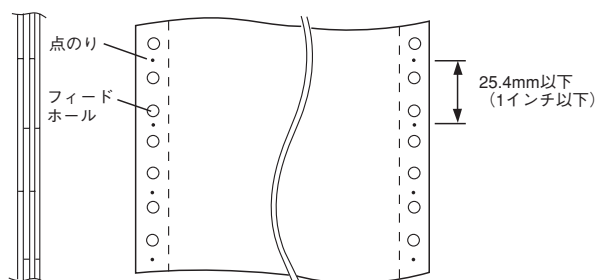


チェック

- 片側紙ホチキスや片側とじは使用できません。
- ミシン目の後 12.7mm (1/2 インチ) 以内の紙ホチキスは避けてください。
- 紙ホチキスの加工部は右の図のようにしてください。
- 印刷面には紙ホチキスは出ないようにしてください。



② 両側点のり (千鳥)



チェック

両側点のり方式は、保管状態にもよりますが、経時変化が激しく、のりの硬化による凸凹状のしわが発生することがあります。この状態で使用すると、用紙走行不良が発生することがありますので、用紙の加工方法および保管方法に十分ご注意ください。

③ 紙ホチキスと点のりの併用

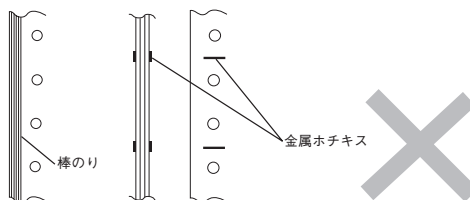
一方を紙ホチキス、他方を点のりを用いる。用紙のとじ方には、上記のほかに次の方法がありますが、それぞれの理由により使用はできません。

① 棒のり

用紙のしなやかさが失われ、固くなって用紙づまりの原因になり、動作を保証できません。

② 金属ホチキス

用紙走行経路に引っかかり、用紙づまりおよび故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

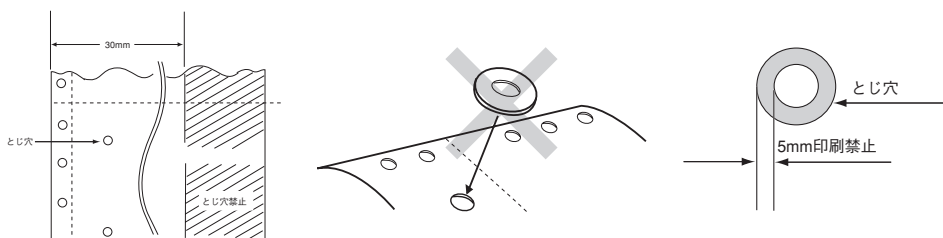


用紙のとじ穴について

用紙のとじ穴については、次の事項に注意してください。

✓チェック

- 用紙の左側から30mm（1.2インチ）を越える位置にとじ穴を配置しないでください。用紙左側から30mmを越える位置にとじ穴加工をした用紙を使用した場合、とじ穴を用紙切れと誤検出するおそれがあります。
- とじ穴を補強した用紙は使用しないでください。
- とじ穴の周囲5mm以内には、印刷しないでください。リボンフィード障害、印刷ヘッドおよびその周辺に障害が発生する場合があります。

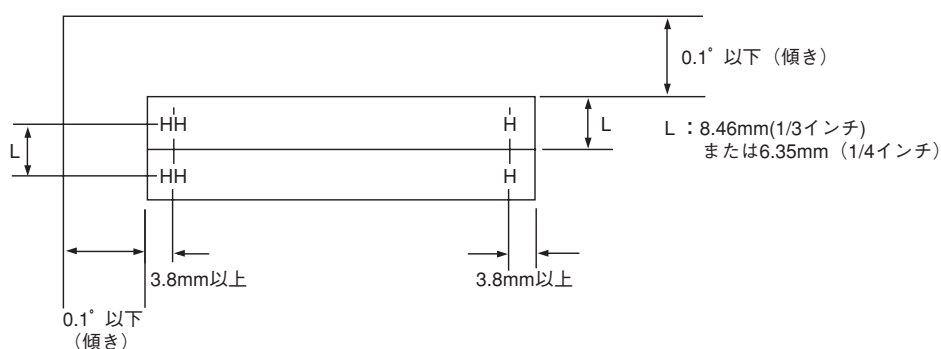


縦、横罫線の印刷（プレ印刷）

プリンタには改行時の誤差と、湿度による用紙の伸縮がありますので、以下の条件に合うように縦、横罫線の印刷（プレ印刷）を行ってください。

✓チェック

- 横罫線の印刷は原則として8.46mm（1/3インチ）または6.35mm（1/4インチ）間隔とし、文字は行間の中心に印刷するようにしてください。
- 横罫線の傾きは、用紙の上端を基準として0.1°以下、縦罫線の傾きは用紙の左端を基準として0.1°以下とします。
- 縦罫線は文字の中心から3.8mm（0.15インチ）以上離してください。
- 行間を4.23mm（1/6インチ）にした場合は、文字が横罫線にかかる場合があります。

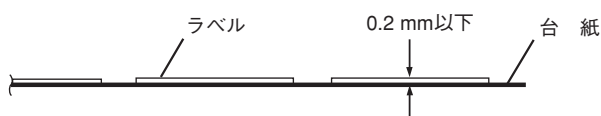


タック紙（ラベルシール）に関する注意

このプリンタに使用できるタック紙の寸法は、一般の連続紙と同じです。タック紙を使用する場合は、次の注意事項を守ってください。これらの条件を満たさない用紙を使用すると、装置の用紙走行経路に貼り付いて、用紙が送れなくなることがあります。

タック紙の紙質と紙厚

名称	紙質	紙厚	
ラベル	上質紙	0.1mm以下	坪量81.4g/m ² （連量70kg）以下に相当する。
台紙	グラシン紙またはクラフト紙	0.1mm以下	



チェック

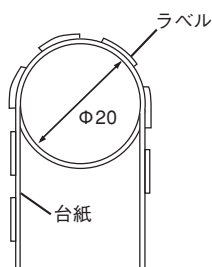
- ラベルと台紙の厚さの合計を0.2mm以下にしてください。
- ラベルと台紙の紙厚の組み合わせは、ラベル≦台紙となるようにしてください。

タック紙の寸法

使用できるタック紙の寸法は、一般用紙と同じです。

ラベルの貼り付け強度

直径20mmの円筒にラベルを表にして、180°巻き付けたとき、ラベルが台紙からはがれないタック紙を使用してください。この条件を満たさないタック紙を使用した場合は、装置の用紙走行経路に貼り付いて、用紙走行不能となることがあります。



再剥離ラベルはラベルが台紙からめくれたりはがれる場合がありますので、お使いになる前に確認してください。

タック紙の形態

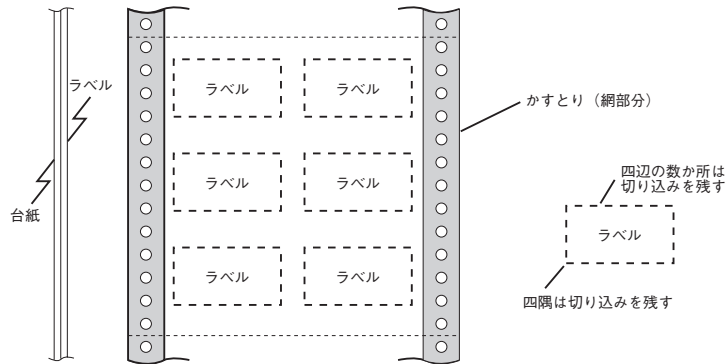
“かすとり”加工をしていないタック紙は使用できません。

“かすとり”とは、台紙全体に貼り付けられたラベルを必要な部分だけを残してはぎ取ることをいいます。

① 用紙フィードホール付近のみ“かすとり”したタック紙

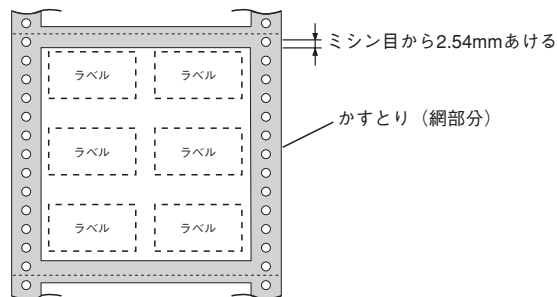
ラベルの四隅は、下図のように切り込みを残してください（切り込みはラベルのみとします）。

このようなタック紙は、横ミシン目部にもラベルが貼られているため、盛り上がりおよびしわが発生しやすいので、フォーム加工の際は注意する必要があります。



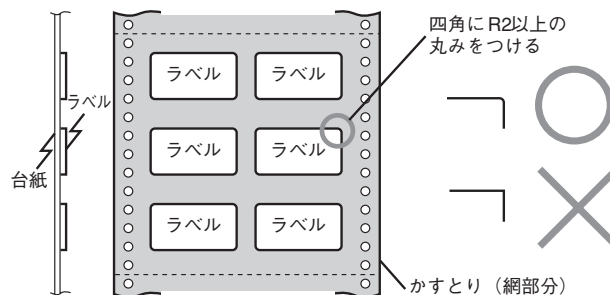
チェック

横ミシン目部の盛り上がりおよびしわの防止対策として、横ミシン目部の“かすとり”加工したタック紙をお勧めします。



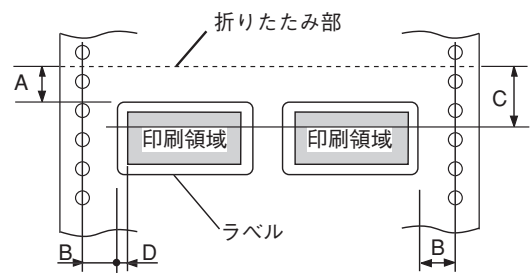
② アイランド（島）状に貼られたタック紙

四辺の交わる四隅には丸みを付けてください。



印刷範囲

印刷はラベルの貼ってある箇所のみとし、ラベルからはみ出して印刷しないように注意してください。
ラベルからはみ出した所に印刷しますと、印刷ヘッドのヘッドピンが折れてしまうことがあります。



記号	寸法 (mm)
A	2.54以上 (1/10インチ)
B	6.35以上 (1/4インチ)
C	23.6以上 (文字中心)
D	3.18以上 (1/8インチ)

縦、横罫線の印刷（プレ印刷）

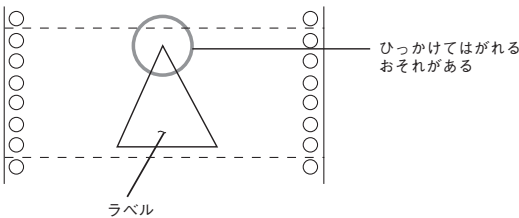
一般用紙と同じです（99ページ参照）。

タック紙の設計上の留意点

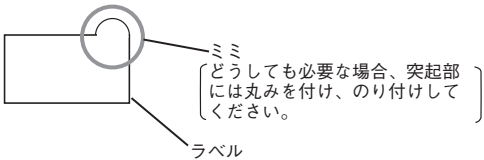
タック紙を設計するときは、以下のことに注意してください。

✓ チェック

- ラベルの角には、必ず丸み（R2以上）を付けてください。エッジになっていると、用紙取り扱い時にコーナーを引っ掛けたり、用紙走行経路中においてラベルの角がぶつかってはがれたりするおそれがあります。
- 用紙走行方向に、三角形の頂点のようなエッジのある形状のラベルは、設計しないください。



- 縦コーナや端面にのり付けをしないなど、ラベルをはぎ取りやすくする設計はしないでください。ミミは原則として禁止します。



- のりがラベルの端部よりはみ出さないように加工してください。
- ミシン目での盛り上がりやしわが発生しないように加工してください。

封筒用紙の規格

紙質と連量

項目	上紙	中紙	下紙
紙質	一般紙	感圧紙	一般紙
坪量：g/m ² (連量：kg)	34.9～39.5 (30～34)	81.4 (70)	81.4 (70)

上紙



中紙



のり付け部

下紙



のり付け部

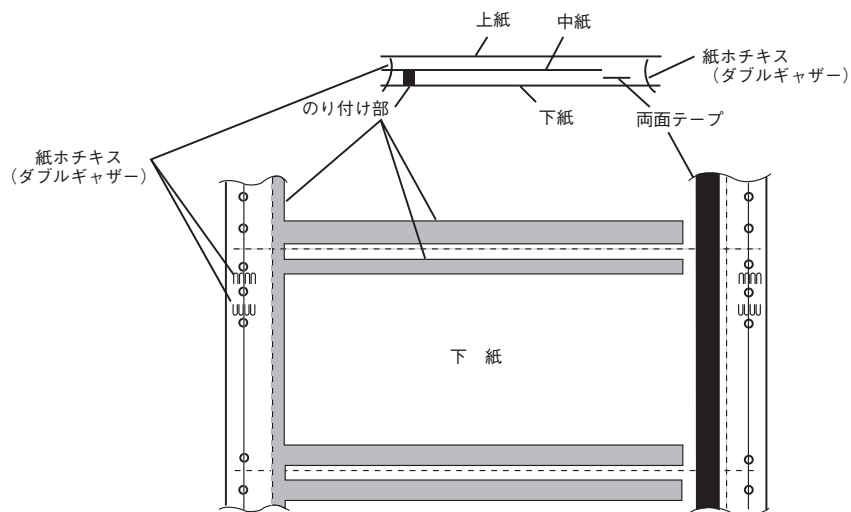
両面テープ (表)

用紙の寸法

使用できる封筒用紙の寸法は、一般用紙と同じです。

用紙のとり方

項目	上紙／下紙	中紙／下紙
とじ方の種類	両側紙ホチキス	棒のり
位置左右両端	左右両端	下図グレーの部分



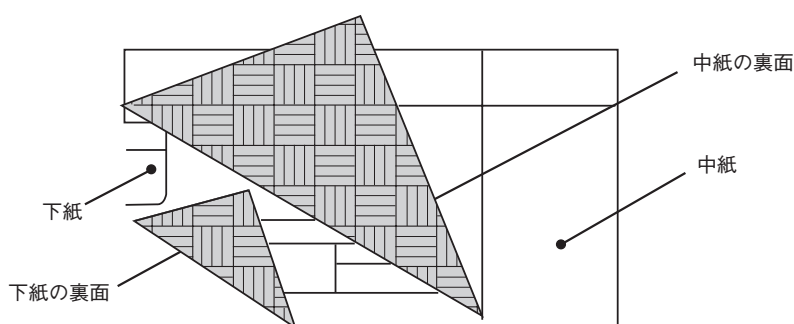
縦、横罫線の印刷（プレ印刷）

一般用紙と同じです（99ページ参照）。

設計上の留意点

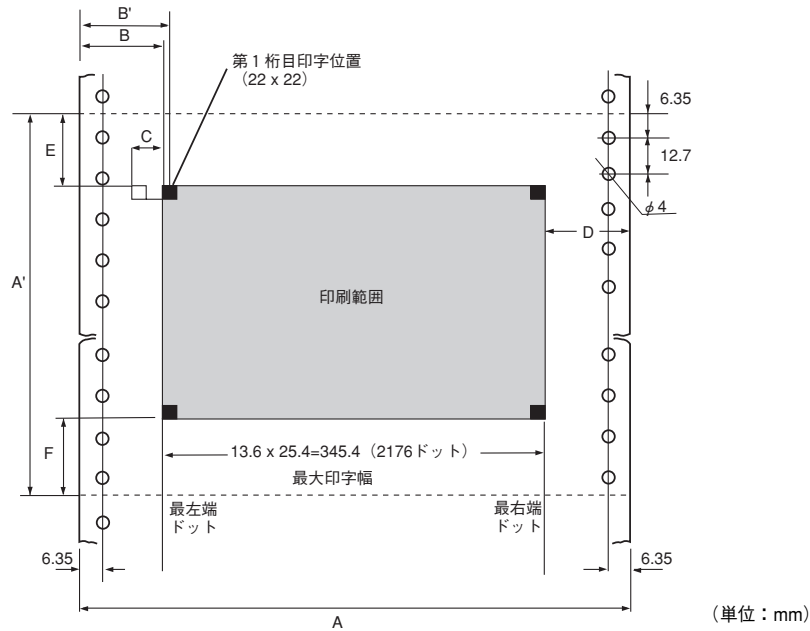
封筒用紙を設計するときは、以下のことに注意してください。

-
- ✓ チェック
- のり付けの幅は、4.23mm（1/6 インチ）以下とします。横ミシン目部には、のり付けをしないようにしてください。のりの影響で、横ミシン目部での折りたたみに盛り上がりやしわが発生し、用紙走行障害の原因となります。また、のり付けによる厚み増加は、0.1mm以下にしてください。
 - フィードホルルのずれは、0.2mm以下にしてください。
 - 両面テープは、印刷中にはがれないような接着強度が十分なものにしてください。
 - のり付け部および両面テープ貼り付け部には、印刷をしないように用紙設計をしてください。
 - 給与明細書などの場合は、外部から印刷内容がわからないように、下図のような中紙、下紙の裏面加工を配慮することをお勧めします。



印刷範囲

このプリンタで使用できる用紙のサイズと印刷範囲について説明します。

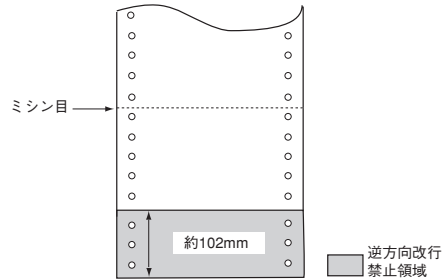


符号	項目	寸法 (mm)
A	用紙幅	88.9~406.4 (3.5~16インチ)
B	トラクタを最左端に寄せた場合の第1印刷位置	58
B'	トラクタを最左端に寄せた場合の第1印刷位置の中心	60
C	381mm (15インチ) 幅用紙を使用した場合に第1印刷位置の動かせる距離 406.4mm (16インチ) 幅用紙を使用した場合に第1印刷位置の動かせる距離	42 17
D	トラクタを最右端に寄せた場合の最終印刷位置	30
E	ミシン目の影響による汚れを避けるためおよび良好な印刷を得るために印刷しないことが望ましい範囲	25.4
F	用紙折りたたみ不良に起因する用紙づまりを防止するため印刷してはならない範囲	8.5
A' *1	縦寸法	101.6~304.8 (4~12インチ)

* 1 縦寸法が 177.8mm (7インチ) 以下の用紙は、折りたたみ性を向上させるため 2 ページ分を折りたたみ長さとしてください。

チェック

- 用紙幅両端から 12.7mm の範囲は通常印刷しないでください。
- 連続伝票用紙規格は、JISX6195によります。
- 用紙最終ページの右図にグレーの部分で示す領域での逆改行はできません。
- 最終ページの用紙下端から8mmは印刷できません。
- 最終ページの用紙下端から約30mmの間で印刷すると、多少印刷が乱れますので注意してください。



初期状態

電源をONにしたとき、ソフトウェアリセットしたとき、およびインタフェース信号INPUT PRIMEを受信したときの初期状態を次に示します。INPUT PRIMEでは〈 〉内の項目だけは初期状態になりません。

項目	初期状態	備考
〈用紙長〉	66行（279.4mm（11インチ）） ^{*1} または設定値	パラメータ設定による
〈ボトム領域〉	なし	
〈垂直タブセット位置〉	チャンネル2：第7、13、19、25、31、43、49、55、61行目	
	チャンネル3～6：なし	
用紙行位置	現在行をTOF位置とする	
レフトマージン値	000	
ライトマージン値	136 ^{*1}	
水平タブセット値	なし	
行メモリ	クリア	
行メモリアドレス	最左端相当位置	
改行幅	4.23mm（1/6インチ）	
キャラクタモード	カタカナモード（8ビットコード） ^{*1} または英数モード（7ビットコード）	メモリスイッチ2-6による
グラフィックモード	ネイティブモードまたはコピーモード	メモリスイッチ2-3による
印刷モード	HDバйка ^{*1}	
〈セレクト/ディセレクト〉	セレクト	ただしPE信号がHIGHのときはディセレクトになる
改行方向	順方向改行	
拡大印刷	解除	
強調印刷	解除	
ラインの指定	アンダライン	
ラインの太さの指定	細線	
ライン印刷モード	解除	
外字登録	登録エリアすべてにわたり未登録状態	
ダウンロード文字登録	プリンタ内蔵文字印刷モード、登録エリアはすべて未登録状態	
半角縦印刷	解除	
半角組文字縦印刷	解除	
漢字文字幅	3.81mm（3/20インチ）	
漢字文字サイズ	3.7mm（10.5ポイント）	
スクリプト文字	解除	
1バイト系文字フォント	標準 ^{*1} 、イタリック、クーリエ、ゴシック、OCR-B	パラメータ設定による
固定ドットスペース	解除	
倍率設定	解除	
縮小組文字縦印刷	解除	
文字修飾	解除	

*1 工場設定

索引

英数字

HEXダンブ	46
LANインターフェース	20
LANボード	66
N1154-030	65
N1154-033	65
N5263-71A/N7860-03A互換モード	65
OS	90, 93
PC-CA205	63
PC-PRCA-01	63
PR750/360-01	64
PR750/360-02	64
PrinterSignalStation	vi

ア

アウトラインフォント	
MultImpact 750/560	49
N1153-001互換モード	52
アラームランプ	42
安全上のご注意	3
安全にかかわる表示	ii
イーサネット	89
イメージ処理機構	65
インクリボン	39
交換表示	80
処理	39
インクリボン（黒）	14, 64
取り付け	23
「インクリボン交換」スイッチ	43
インクリボン交換ランプ	42
インクリボンづまり	85
「印刷可」スイッチ	43
印刷可ランプ	42
印刷桁数	88, 91
印刷速度	88, 90
印刷範囲	102, 105
印刷ハンマ	22
印刷不良	79
印刷ヘッドピン	87, 90
印刷方式	87, 90
「印刷モード選択」スイッチ	43
インストール	38
インタフェース	89, 92
運搬	40
液晶ディスプレイ	44
エラー表示	81
エラーメッセージ	
上位装置から	82
お知らせ表示	
MultImpact 750/560	49
N1153-001互換モード	52
オプション	
MultImpact 750/560	63
N1153-025	65

カ

カールコレクタ	14, 15, 18, 20
改行時間	89, 92
改行数切り替え	
N5263-71A/N7860-03A互換モード	55
改行幅	89
改行ピッチ切り替え	
N5263-71A/N7860-03A互換モード	55
改行方向	89, 92
解像度	87, 90
「改頁」スイッチ	43
各部の名称	20
紙づまり	83
カラムアジャストノブ	21
カラムスケール	22
環境条件	89, 93
漢字コード選択	49
N1153-001互換モード	52
漢字書体選択	49
N1153-001互換モード	52
「機能選択」スイッチ	43
キャスト	19
強制リセット	46
警告ラベル	1
罫線の印刷	99, 102, 104
交換用インクリボン（黒）	64
交換	73
高速ランプ	42
高品位ランプ	42
故障	79
混在印刷	89
コンピュータに接続する	34
コンフィグレーション印刷	38

サ

最小改行量	89
サイドドア	20
質量	89, 93
修理	10
寿命	10, 90, 93
仕様	
MultImpact 750/560	87
N1153-025	90
使用コード	89, 92
消費電力	89, 93
情報サービス	11
消耗品	
MultImpact 750/560	64
N1153-025	65
初期状態	106
所要コンセント	89, 93
スイッチ	43
スタックフェンス	14, 15, 20
ステータス表示	44
寸法	89, 93
清掃	71
設置	13, 19
スペース	16
接地方式	89, 93
「設定」スイッチ	43

設定値印字	
N5263-71A/N7860-03A互換モード	55
設定内容を印刷する	62
騒音	89, 93
操作パネル	20, 41
ソフトウェア	38
ソフトウェアのご使用条件	14, 15

タ

タック紙	28, 100
通気孔	20
定格電流	89, 93
テスト印刷	33, 45
電源	89, 93
電源コード	14, 15, 26
電源スイッチ	20
電源ランプ	42
特長	vi
トップカバー	20
トラクタ	21, 29
トラクタカバー	29
トラクタピン	29
トラクタロックレバー	29

ナ

ネットワークプリンタ接続ボード	65, 66
[濃度選択] スイッチ	43
濃度ランプ	42

ハ

廃棄	39
パラレル	38, 89, 92
パラレルインターフェース	20
半角文字ピッチ切り替え	
N5263-71A/N7860-03A互換モード	55
ハンマピン	22
フィルタ	19
封筒用紙	28, 103
フェンス	14, 15
フォント選択	49
N1153-001互換モード	52
複写式連続紙	28, 97
付属品	14
普通紙	97
プラテン開閉レバー	21
プリンタケーブル	34, 63
プリンタソフトウェアCD-ROM	14, 15
プリンタの設定を変更する	47
プレ印刷	99, 102, 104
フロントドア	20
ペーパスタッカ部	18
ペーパスタッカ容量	89, 93
ペーパプレスホルダ	22
補修用部品	11
保守カウンタの表示	49, 52
保証	9
保証書	14, 15

マ

マニュアルフィードノブ	22
メニューモード	
MultImpact 750/560	47
N1153-025	50
メモリスイッチ	57
文字構造	94

ヤ

ユーザズマニュアル (本書)	14, 15
有寿命部品	11, 90, 93
有寿命部品表示	81
用紙	
サイズ	96
種類	96
セット	28
とじ穴	99
とじ方	98, 103
用紙厚セットレバー	21
用紙厚調整	89, 92
用紙送り方式	89, 92
用紙規格	96
用紙長	
MultImpact 750/560	49
N1153-001互換モード	52
N5263-71A/N7860-03A互換モード	55
用紙のセット	29
[用紙微調] スイッチ	43
用紙ランプ	42

ラ

ラインマーク	29
ラベルシール	28, 100
ランプ	42
リアドア	20
リセット	61
リボンカートリッジ	15, 65
取り付け	23
リボンカセット	22
リボンサブカセット	65
リボンセパレータ	22, 78
リボンフィードノブ	21
リモートパネル	vi
冷却方式	89, 93
レベルフット	19
連続紙	28, 97

高調波電流規格JIS C 61000-3-2適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第3-2部：限度値—高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策に基づく表示）

海外でのご使用について

本装置は、日本国内仕様のため海外でご使用になる場合、NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、当社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

電気通信事業法について

LANインターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者（ADSLモデムやCATVなど）へ直接接続することは許可されていません。

